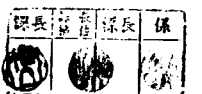


ドーム型多目的スポーツ施設建設工事（建築工事）

久米設計・梓設計 設計共同企業体

1994年12月 日



（施 築）（表紙共 105枚）

01. 工事特記仕様書 NO.1	29. 2階・3階床伏図
02. 工事特記仕様書 NO.2	30. 天井伏図
03. 工事特記仕様書 NO.3	31. アリーナ天井伏図
04. 工事特記仕様書 NO.4	32. 標準詳細図-1
05. 工事特記仕様書 NO.5	33. 標準詳細図-2
06. 工事特記仕様書 NO.6	34. 標準詳細図-3
07. 工事特記仕様書 NO.7	35. 標準詳細図-4
08. 工事特記仕様書 NO.8	36. 標準詳細図-5
09. 工事特記仕様書 NO.9	37. 標準詳細図-6
10. 設計概要	38. 標準詳細図-7
11. 内部仕上表	39. 標準詳細図-8
12. 平均地盤面・排煙面積・面積算定図	40. 屋根詳細図-1
13. 配置図	41. 屋根詳細図-2
14. ビット平面図	42. 屋根詳細図-3
15. 1階平面図	43. 建具詳細図-1
16. 2階・3階平面図	44. 建具詳細図-2
17. 立面図-1	45. 建具詳細図-3
18. 立面図-2	46. 煙感システム図-1
19. 断面図	47. 煙感システム図-2
20. 矩計図-1	48. 1階建具キープラン
21. 矩計図-2	49. 2・3階建具キープラン
22. 矩計図-3	50. 建具表-1
23. 矩計図-4	51. 建具表-2
24. 矩計図-5	52. 階段詳細図-1
25. 矩計図-6	53. 階段詳細図-2
26. 矩計図-7	54. 階段詳細図-3
27. 矩計図-8	55. 平面詳細図-1・展開図-1
28. 1階床伏図	56. 平面詳細図-2・展開図-2

57. 展開図-3	85.
58. 平面詳細図-3・展開図-4	86.
59. 平面詳細図-4・展開図-5	87. E L V詳細図-1
60. 展開図-6	88. E L V詳細図-2
61. 平面詳細図-5・展開図-7	89. E L V詳細図-3
62. 平面詳細図-6・展開図-8	90. E L V詳細図-4
63. 平面詳細図-7・展開図-9	91.
64. 平面詳細図-8 展開図-10	92.
65. 平面詳細図-9 展開図-11	93.
66. 平面詳細図-10	94.
67. 平面詳細図-11	95.
68. 放送室詳細図	96.
69.	97.
70.	98.
71.	99.
72. 天井構構図-1	100.
73. 天井構構図-2	101.
74. 天井構構図-3	102.
75. 天井構構図-4	103.
76. 天井構構図-5	104. 撤去図
77. 天井構構図-6	105. 材料積注図
78. 天井構構図-7	
79. 天井構構図-8	
80. 天井構構図-9	
81. 天井構構図-10	
82. 天井構構図-11	
83.	
84.	

（構 造）（82枚）

01. 鉄筋コンクリート構造規準図1	29. P C段床版階段配筋配置図・P C段床配筋図（1）
02. 鉄筋コンクリート構造規準図2	30. P C段床版断面配筋配置図・P C段床配筋図（2）
03. 鉄筋コンクリート構造規準図3	31. P C段床版各部詳細図
04. 土質柱伏図	32. 玄関入口庇詳細図
05. 杭伏図・基礎伏図	33. 補詳細図
06. 基礎伏図	34. 金属屋根上・下弦面伏図
07. 1階床・梁伏図	35. 金属屋根下弦面伏図
08. 2階床・梁伏図	36. 屋根軸組図1
09. 軸組図	37. 屋根軸組図2
10. 基礎リスト・P H C抗リスト	38. 屋根軸組図3
11. 基礎梁リスト・基礎小梁リスト	39. 屋根軸組図4
12. 地下外壁リスト・鋼管抗リスト	40. 屋根軸組図5
13. 柱リスト・柱キープラン	41. 屋根断面図
14. 大梁リスト・片持ち梁リスト	42. 金属屋根上弦面符号図
15. 小梁リスト・片持ち小梁リスト	43. 金属屋根下弦面符号図
16. 18通りラーメン配筋詳細図	44. 金属屋根折版受材梁伏図
17. プレストレストコンクリート工事特記仕様書	45. 金属屋根断面図
18. 基礎P S梁キープラン	46. 金属屋根面腹材及び束材符号図
19. 2階P S梁キープラン	47. 金属屋根面腹材及び束材符号図
20. P S地中梁リスト	48. 接点座標
21. P S梁リスト1	49. 溶接基準図
22. P S梁リスト2	50. 鋼管溶接基準図（1）
23. P S梁リスト3	51. 鋼管溶接基準図（2）
24. 緊要部詳細図	52. 鋼管溶接基準図（3）
25. P C段床版配置図（1）	53. 鋼管溶接基準図（4）
26. P C段床版配置図（2）	54. 鋼管溶接基準図（5）
27. P C段床版配置図（3）	55. 中間断面詳細図（1）
28. P C段床版断面図	56. 中間断面詳細図（2）

57. 3通断面詳細図（1）	79. 梁貫通図1
58. 3通断面詳細図（2）	80. 梁貫通図2
59. 屋根部分詳細図（1）	81. 梁貫通図3
60. 屋根部分詳細図（2）	82. 梁貫通図4
61. 屋根部分詳細図（3）	
62. 接点変位・支点反力（D L時）	
63. キャットウォーク伏図	
64. キャットウォーク断面図	
65. キャットウォーク詳細図（1）	
66. キャットウォーク詳細図（2）	
67. カーテンウォール軸組図（1）	
68. カーテンウォール軸組図（2）	
69. カーテンウォール軸組図（1）	
70. カーテンウォール詳細図（2）	
71. 放送室鉄骨詳細図	
72. 恒久裏材設計概要書	
73. 屋根根詳細図1	
74. 屋根根詳細図2	
75. 屋根根詳細図3	
76. 屋根根詳細図4	
77. 屋根根詳細図5	
78. 支承部詳細図	

【特記仕様取扱い事項】
特記仕様取扱い事項については下記による。
1) 番号で示した項目は適用する。
2) 特記事項は記載された事項および、印で○印で囲み、○印を付したものを適用する。
3) 特記事項の欄に○印で示されている場合は、標準仕様の適用する事項を適用する。
4) その他の事項、印で○印で付したものは、それぞれ特記した事項を適用する。

【工事区分】
設計図による、下記を工事区分とする。○印を適用する。
1) 電気設備工事
2) 機械設備工事
3) 衛生設備工事
4) 空調設備工事
5) 給排水設備工事
6) 消防設備工事
7) 防犯設備工事
8) 情報通信設備工事
9) その他

【指定製造者および専門業者リスト】
指定製造者および専門業者リスト

工事特記仕様書

総則

工事概要

仕様書

重要事項

注記

1章 一般共通事項

2章 仮設工事

3章 土工事

4章 地業工事

5章 鉄筋工事

工事設計図

工事特記仕様書

7章 鉄骨工事

8章 ブロック及びALCパネル工事

6章 コンクリート工事

工事設計図

特記仕様書No.2

久米設計・梓設計 設計共同企業体

トーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

工事特記仕様書 No. 3

1940

工事特記仕様書

項目 特記事項

21章 植栽工事

- 21.1.1
・植込み用土
・土壌改良材
- 21.1.2
・支柱丸太及び
・添木丸太
- 21.1.4
・枯損樹木、芝
等の植替え
- 21.2.1~21.2.2
・芝
- ・吹付けは種

※現場用土の品質土

・客土 (購入土)

※土壌改良剤及び肥料 (別表による)

※防雨用塗料

・地き丸太

※引越しの日から1年

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

・芝

22.4.1 ・ブラインド材料

22.5.1 ・砂利敷き材料 及び 種類

22.6.1~22.6.4 ・開知石及び コンクリート 開知ブロック積み

22.7.1 ・敷地境界石

・アコーディオン ド

・スライディング ド

・ガラスブロック

○点検口

○ステンレス流し台

○コンロ台

○つり戸だな

○水切だな

・室名札他サイン

○壁紙スクリーン

形 状 (※横型ブラインド ・縦型ブラインド)
ス ラ ッ ト (※アルミニウム合金 ・)
開 閉 方 式 (※ギア式 ・コード式)
スラットの成形幅 (※ 25 ・ 80 ・ 100)

種類 (※A種 ・B種) (22.5.1項)
通 路 (※A種 ・B種)
地物周囲 (・A種 ・B種)

開知石の材質
※ 花こう岩
コンクリート開知ブロック
面の形状 (・長方形 ・正方形 ・円形 ・六角形)
JISによる質量区分 (※ブロックA ・ブロックB)
地盤の材料
※4.3.1による
※4.7.1による
コンクリートの種類
基礎コンクリート
※Fo=180kg/cm²
高圧コンクリート
※Fo=180kg/cm²
舗装の工法 (※客積み ・切積み ・寄積み)
目張り (・行う ・行わない)
伸縮調整目地材の材質 ()
伸縮調整目地材の厚さ ()

種類 (・A種 ・B種) (22.7.1項)
表面材 (※ビニールレザー張り (耐食加工)
形 式 (・両面 ・片面)
張りたみ幅 (mm) (※約 230 ・約 120)
製造所 ()

パネル厚さ (mm) ()
表面仕上げ ()
嵌合、嵌床調整 (・有 ・無)
製造所 ()
JIS A5212の規格品とする。
形状寸法 ・正方形 ()
・長方形 ()
ガラスの色 ・無色 ・着色 ()
規格による種類 ・強化ガラスブロック ・複層ガラスブロック

取付箇所	材 質	寸 法 (mm)	形 式	製 造 所
天 井	⑤アルミニウム	⑤ 450角 ・ 600角	・ 縦型タイプ ⑤ 目地タイプ	昭和ロック ダイケン 大建工業 ナカ工業 マンテン 昭和アルミ建材
床	⑤アルミニウム	⑤ 450角 ⑤ 600角		カネソウ ダイケン 第一機材 中部工業 ナカ工業
床 (体育館用)	アルミニウム			

(・B.L製品 ・システム ・既製品) ⑤ 図示
(・B.L製品 ⑤ 図示)
(・B.L製品 ⑤ 図示)
⑤ ステンレス製
⑤ 図示

○天井見切縁

・既製笠木

・くつきマット

・フェンス

・旗ざお受金物

・旗ざお

・丸 旗

・旗 助 旗

・旗旗マンホール

○視覚障害者用
誘導床材
(別途1項)
・車止めさく

項目 追記事項

17章 塗装工事

○内装付込塗装仕様

材 質	⑤ 塩化ビニル製	⑥ アルミニウム合金 A・BE	)
材 質	(・ アルミニウム製	・ ステンレス製	)

施 工 箇 所	材 質	寸 法(mm)	要 求

形 式	高 さ	間 隔	備 考

材 質	⑤ ステンレス鋼 (SUS304)
製造所	()
形 式	(・ テーパー式 ・ 同一断面式)
長 さ	(・ 1m)
材 質	(※ アルミニウム合金 ・)
製造所	()
材 質	(※ ステンレス鋼 (SUS304)
形 式	(※ 斜溝式 ・ 直溝式)
形 式	(・ 角形 ・ 丸形)
呼称寸法	(※ 550mm)
材 質	(・ 鋼板製 ・ 鋼板めっき製)
材 質	・ 塩化ビニル系 ・ レジンコンクリート系 厚さ (mm) ⑤ 30 ⑤ SUS鋼板製 厚さ (mm) ⑤ 12.5

工程	塗料種類	現 場	塗 厚
下 塗	アクリル樹脂系下塗り	JIS-5625 2種	35μ
中 塗	長油性アクリル樹脂系中塗り	JIS-K-5516 2種	30μ
上 塗	長油性アクリル樹脂系上塗り	JIS-K-5516 2種	25μ

○観音舟椅子 ※シワアウトは 2階平面図参照

○エントランス階段

4688番 (固定) 16番 (移動) 計 4704 番
1. 4711番 : 長さ 3700mm以内 ⑤ 462.5 ~ 450
2. 4712番 : 高さ 400mm以内、アルミ製 階段用
3. 4713番 : アルミ製、階段用、固定式 (700mm以内)
4. 4714番 : 鋼製、階段用、固定式 (700mm以内)
5. 4715番 : アルミ製
6. 4716番 : アルミ製、階段用、移動式 (700mm以内)
7. 4717番 : アルミ製、階段用、移動式 (700mm以内)
8. 4718番 : アルミ製、階段用、移動式 (700mm以内)
9. 4719番 : アルミ製、階段用、移動式 (700mm以内)
10. 4720番 : アルミ製、階段用、移動式 (700mm以内)

○一般事項

a 型枠を撤去した後、エントランス用階上を3層目まで仕上げる。
b エントランス階上を3層目まで仕上げる。
c エントランス階上を3層目まで仕上げる。
d エントランス階上を3層目まで仕上げる。

○施工計画

a 施工計画は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
b 施工計画は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
c 施工計画は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
d 施工計画は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。

○材料

a エントランス階上を3層目まで仕上げる。
b エントランス階上を3層目まで仕上げる。
c エントランス階上を3層目まで仕上げる。
d エントランス階上を3層目まで仕上げる。

○結 算

a 結算は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
b 結算は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
c 結算は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
d 結算は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。

○仕様

a 仕様は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
b 仕様は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
c 仕様は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。
d 仕様は、エントランス階上を3層目まで仕上げる。

○エントランス階段
a 300mm以内、階段用、固定式 (700mm以内)
b 300mm以内、階段用、固定式 (700mm以内)
c 300mm以内、階段用、固定式 (700mm以内)
d 300mm以内、階段用、固定式 (700mm以内)

工事設計図

特記仕様書No.7	図 1 : 設計図	図 2 : 設計図	図 3 : 設計図	図 4 : 設計図	図 5 : 設計図
図 1 : 設計図	図 2 : 設計図	図 3 : 設計図	図 4 : 設計図	図 5 : 設計図	図 6 : 設計図
図 7 : 設計図	図 8 : 設計図	図 9 : 設計図	図 10 : 設計図	図 11 : 設計図	図 12 : 設計図

四日市市都市計画部建築課 1 階 建築課 1 階 建築課 1 階 建築課 1 階 建築課 1 階 建築課 1 階

工事特記仕様書

項 目	特 記 事 項															
13章 屋根及びとい工事																
13.1.1～13.1.3 ・長尺亜鉛めっき鋼板等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>屋根ふき形式</th> <th>材 質</th> <th colspan="2">板の厚さ (mm)</th> <th>下 ぶ き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・かわら神ぶき (心木なし)</td> <td>※建築用亜鉛めっき鋼板</td> <td>一般部分 ※ 0.4</td> <td>谷部分 ※ 0.4</td> <td>※アスファルトルーフィング 940</td> </tr> <tr> <td>・平ぶき</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	屋根ふき形式	材 質	板の厚さ (mm)		下 ぶ き	・かわら神ぶき (心木なし)	※建築用亜鉛めっき鋼板	一般部分 ※ 0.4	谷部分 ※ 0.4	※アスファルトルーフィング 940	・平ぶき	・	・	・	・
屋根ふき形式	材 質	板の厚さ (mm)		下 ぶ き												
・かわら神ぶき (心木なし)	※建築用亜鉛めっき鋼板	一般部分 ※ 0.4	谷部分 ※ 0.4	※アスファルトルーフィング 940												
・平ぶき	・	・	・	・												
13.2.1～13.2.3 ◎断 板 等	図 示 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>型による区分</th> <th>材 質</th> <th>板の厚さ (mm)</th> <th>山の高さ (呼称寸法mm)</th> <th>山のピッチ (呼称寸法mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※重ね型</td> <td>◎建築用亜鉛めっき鋼板</td> <td>◎ 0.8</td> <td>※ 約85</td> <td>※ 200</td> </tr> <tr> <td>・はげ補め型</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 150</td> <td>・ 250</td> </tr> </tbody> </table>	型による区分	材 質	板の厚さ (mm)	山の高さ (呼称寸法mm)	山のピッチ (呼称寸法mm)	※重ね型	◎建築用亜鉛めっき鋼板	◎ 0.8	※ 約85	※ 200	・はげ補め型	・	・	・ 150	・ 250
型による区分	材 質	板の厚さ (mm)	山の高さ (呼称寸法mm)	山のピッチ (呼称寸法mm)												
※重ね型	◎建築用亜鉛めっき鋼板	◎ 0.8	※ 約85	※ 200												
・はげ補め型	・	・	・ 150	・ 250												
◎フラットルーフ+折板屋 によるダブルバ、2工法	断板の厚さ (mm) (APDF) 115、220M ◎ 上層材 断板の厚さ (mm) 220M、115M、100M、90M、80M、70M、60M、50M、40M、30M、20M、15M、10M、5M、3M、2M、1M、0.5M、0.2M、0.1M、0.05M、0.02M、0.01M、0.005M、0.002M、0.001M、0.0005M、0.0002M、0.0001M、0.00005M、0.00002M、0.00001M、0.000005M、0.000002M、0.000001M、0.0000005M、0.0000002M、0.0000001M、0.00000005M、0.00000002M、0.00000001M、0.000000005M、0.000000002M、0.000000001M、0.0000000005M、0.0000000002M、0.0000000001M、0.00000000005M、0.00000000002M、0.00000000001M、0.000000000005M、0.000000000002M、0.000000000001M、0.0000000000005M、0.0000000000002M、0.0000000000001M、0.00000000000005M、0.00000000000002M、0.00000000000001M、0.000000000000005M、0.000000000000002M、0.000000000000001M、0.0000000000000005M、0.0000000000000002M、0.0000000000000001M、0.00000000000000005M、0.00000000000000002M、0.00000000000000001M、0.000000000000000005M、0.000000000000000002M、0.000000000000000001M、0.0000000000000000005M、0.0000000000000000002M、0.0000000000000000001M、0.00000000000000000005M、0.00000000000000000002M、0.00000000000000000001M、0.000000000000000000005M、0.000000000000000000002M、0.000000000000000000001M、0.0000000000000000000005M、0.0000000000000000000002M、0.0000000000000000000001M、0.00000000000000000000005M、0.00000000000000000000002M、0.00000000000000000000001M、0.000000000000000000000005M、0.000000000000000000000002M、0.000000000000000000000001M、0.0000000000000000000000005M、0.0000000000000000000000002M、0.0000000000000000000000001M、0.00000000000000000000000005M、0.00000000000000000000000002M、0.00000000000000000000000001M、0.000000000000000000000000005M、0.000000000000000000000000002M、0.000000000000000000000000001M、0.0000000000000000000000000005M、0.0000000000000000000000000002M、0.0000000000000000000000000001M、0.00000000000000000000000000005M、0.00000000000000000000000000002M、0.00000000000000000000000000001M、0.000000000000000000000000000005M、0.000000000000000000000000000002M、0.000000000000000000000000000001M、0.0000000000000000000000000000005M、0.0000000000000000000000000000002M、0.0000000000000000000000000000001M、0.00000000000000000000000000000005M、0.00000000000000000000000000000002M、0.00000000000000000000000000000001M、0.000000000000000000000000000000005M、0.000000000000000000000000000000002M、0.000000000000000000000000000000001M、0.0000000000000000000000000000000005M、0.0000000000000000000000000000000002M、0.0000000000000000000000000000000001M、0.00000000000000000000000000000000005M、0.00000000000000000000000000000000002M、0.00000000000000000000000000000000001M、0.000000000000000000000000000000000005M、0.000000000000000000000000000000000002M、0.000000000000000000000000000000000001M、0.0000000000000000000000000000000000005M、0.0000000000000000000000000000000000002M、0.0000000000000000000000000000000000001M、0.00000000000000000000000000000000000005M、0.00000000000000000000000000000000000002M、0.00000000000000000000000000000000000001M、0.000000000000000000000000000000000000005M、0.000000000000000000000000000000000000002M、0.000000000000000000000000000000000000001M、0.0000000000000000000000000000000000000005M、0.0000000000000000000000000000000000000002M、0.0000000000000000000000000000000000000001M、0.005M、0.002M、0.001M、0.0005M、0.0002M、0.00000000000															

14章 金 属 工 事																					
14.2.1 ○ステンレスの 表 面 仕 上 げ	表面仕上げの種類 ⑤ ヘアーライン仕上げ程度 H120 施工箇所 (図示) ○ パフH800 ○ タル仕上 (YUS220M防酸被覆仕上 AP DF 仕様) 防酸性能 試験データ Bがサンプル提出等 処理の種類 (14.2.1表)																				
14.2.2 ○アルミニウム及び アルミニウム合金 の 表 面 処 理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1種</td><td></td></tr> <tr> <td>・A-2種</td><td></td></tr> <tr> <td>○B-1種</td><td>シルバ-アルマイト 外部は 9μ+12μ以上</td></tr> <tr> <td>・B-2種</td><td></td></tr> <tr> <td>・C-1種</td><td></td></tr> <tr> <td>・C-2種</td><td></td></tr> <tr> <td>・D 種</td><td></td></tr> </tbody> </table> 皮膜の品質試験 ○行う ※行わない (14.2.2表~14.2.4表)	種 別	施 工 箇 所	・A-1種		・A-2種		○B-1種	シルバ-アルマイト 外部は 9μ+12μ以上	・B-2種		・C-1種		・C-2種		・D 種					
種 別	施 工 箇 所																				
・A-1種																					
・A-2種																					
○B-1種	シルバ-アルマイト 外部は 9μ+12μ以上																				
・B-2種																					
・C-1種																					
・C-2種																					
・D 種																					
14.2.3 ○鉄の亜鉛めっき	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th><th>亜鉛めっきの種類</th><th>付 着 量 の 種 別</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>玄関庇等</td><td>○ A 類</td><td>○A種 ・ B種 ※C種 (14.2.3表)</td></tr> <tr> <td>外部手摺等</td><td>○ B 類</td><td>○A種 ・ B種 ・ C種 (14.2.4表)</td></tr> </tbody> </table> 試験 ○溶融亜鉛めっきの付着量試験 ○電気亜鉛めっきの皮膜厚さ及び塩水噴霧試験 (14.2.2表~14.2.4表)	施 工 箇 所	亜鉛めっきの種類	付 着 量 の 種 別	玄関庇等	○ A 類	○A種 ・ B種 ※C種 (14.2.3表)	外部手摺等	○ B 類	○A種 ・ B種 ・ C種 (14.2.4表)											
施 工 箇 所	亜鉛めっきの種類	付 着 量 の 種 別																			
玄関庇等	○ A 類	○A種 ・ B種 ※C種 (14.2.3表)																			
外部手摺等	○ B 類	○A種 ・ B種 ・ C種 (14.2.4表)																			
14.4.1 ○軽量鉄骨天井地下 材 料	野縁などの種類 (14.4.1表) 屋内 ⑤19形 屋外 ⑤25形																				
14.5.2 ○軽量鉄骨壁地下 材 料	スタッド、ランナーなどの種類 (14.5.1表) ○65形 ○80形 ・100形 ○表14.5.1による																				
14.6.1 ○手 す り	材料の種類 ○ステンレス (SUS304) ・アルミニウム及びアルミニウム合金 ○鉄 表面処理の種類 (14.2.1~14.2.3) ○鉄 (亜鉛めっき) ・アルミニウム及びアルミニウム合金																				
14.6.2 ○グ ラ ッ プ	材料の種類 ⑤ ステンレス (SUS304) ・ 鉄 表面処理の種類 ・鉄の亜鉛めっきは14.2.2表のA類、14.2.3表のC種																				
14.7.1 ・金属成形板張り 材 料 及 び 工 法	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>種 別</td><td>・アルミニウム合金製</td></tr> <tr> <td>製 法</td><td>・押出材 ・ ロール材 ・ プレス</td></tr> <tr> <td>寸法 (mm)</td><td>板幅 板厚 ・1.0</td></tr> <tr> <td>形 状</td><td></td></tr> <tr> <td>表面処理</td><td>・B-1種 ・B-2種</td></tr> <tr> <td>取付用下地</td><td>・屋内19形 ・屋外25形 野縁間隔・360mm ・300mm ・455/2mm</td></tr> <tr> <td>取付け仕様の種</td><td>※ステンレス(SUS305)製・</td></tr> <tr> <td>温度変化に 対する伸縮補手</td><td>・有り ・無し</td></tr> <tr> <td>シーリング</td><td>※A種 (9.4.1表)</td></tr> <tr> <td>施 工 箇 所</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種 別	・アルミニウム合金製	製 法	・押出材 ・ ロール材 ・ プレス	寸法 (mm)	板幅 板厚 ・1.0	形 状		表面処理	・B-1種 ・B-2種	取付用下地	・屋内19形 ・屋外25形 野縁間隔・360mm ・300mm ・455/2mm	取付け仕様の種	※ステンレス(SUS305)製・	温度変化に 対する伸縮補手	・有り ・無し	シーリング	※A種 (9.4.1表)	施 工 箇 所	
種 別	・アルミニウム合金製																				
製 法	・押出材 ・ ロール材 ・ プレス																				
寸法 (mm)	板幅 板厚 ・1.0																				
形 状																					
表面処理	・B-1種 ・B-2種																				
取付用下地	・屋内19形 ・屋外25形 野縁間隔・360mm ・300mm ・455/2mm																				
取付け仕様の種	※ステンレス(SUS305)製・																				
温度変化に 対する伸縮補手	・有り ・無し																				
シーリング	※A種 (9.4.1表)																				
施 工 箇 所																					

14.8.2 ・アルミニウム製 笠 本 の 材 料	種 類 表面処理 ・250形 ※B-1種 ・A-1種	・350形 ・	(14.8.1表)																																																																
15章 左 官 工 事																																																																			
○防 火 材 料 など	※ 屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ・ 次の箇所を除き防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 ()																																																																		
15.3.5 ○防水モルタル塗り	防水剤は下記製造所の製品とする。 小野田 (ユニオン防水一般用) シフカー建設工業 (シフカー種B号) セントラル工業 (シーアイシー防水剤) 東京ボース工業社 (ボース防水剤) 日本セメント防水剤製造所 (ウェ・タイトB号) マノール (マノール防水剤)																																																																		
15.5.1 ・ALCパネル用特 殊プラスター塗り	種 別	・ A 種	※ B 種 (15.5.1表)																																																																
15.6.1~15.6.4 ・仕上塗材の種類 及 び 工 法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>種 類</th><th>仕 上 げ</th><th>工 法</th><th>上 塗 り 材</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">・厚付け仕上 塗材 (JIS A6909)</td><td>・外装薄塗材C</td><td rowspan="2">/</td><td rowspan="2">吹付け</td><td rowspan="8"></td></tr> <tr> <td>・内装薄塗材C</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材E</td><td rowspan="2">・砂 壁 状</td><td colspan="2" rowspan="2">※吹付け ・ローラー</td></tr> <tr> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材E</td><td rowspan="2">・着色骨材 砂 壁 状</td><td colspan="2" rowspan="2">吹付け</td></tr> <tr> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td><td>・砂 壁 状 ジュラク</td><td>※吹付け ・ローラー</td></tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td><td>/</td><td colspan="2">※吹付け ・ローラー</td></tr> <tr> <td rowspan="4">・厚付け仕上 塗材 (JIS A6915)</td><td rowspan="2">・外装厚塗材C</td><td>・模様吹き</td><td>吹付け</td><td rowspan="4"></td></tr> <tr> <td>・凸部処理</td><td>※吹付け ・こて</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材E</td><td>・模様吹き</td><td>吹付け</td></tr> <tr> <td>・凸部処理</td><td>吹付け</td></tr> <tr> <td rowspan="8">・塗層仕上 塗材 (JIS A6910)</td><td rowspan="3">・塗層塗材C E</td><td>・ゆず風</td><td>吹付け</td><td rowspan="8"> (トップコート) ・アクリル樹脂エナメル ※ウレタン樹脂エナメル ・水性エマルジョン系 ・ (色彩) ・光沢(※1色・2色) ・メタリック </td></tr> <tr> <td>・凸部処理</td><td>※吹付け</td></tr> <tr> <td>・凹凸模様</td><td>・ローラー</td></tr> <tr> <td>・塗層塗材Si</td><td>・ゆず風</td><td>吹付け</td></tr> <tr> <td>・塗層塗材E</td><td rowspan="3">・凸部処理</td><td colspan="2" rowspan="3">※吹付け</td></tr> <tr> <td>・塗層塗材R E</td></tr> <tr> <td>・塗層塗材R S</td></tr> <tr> <td>・塗層塗材 (可とう形)</td><td>・凹凸模様</td><td>・ローラー</td></tr> <tr> <td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>			名 称	種 類	仕 上 げ	工 法	上 塗 り 材	・厚付け仕上 塗材 (JIS A6909)	・外装薄塗材C	/	吹付け		・内装薄塗材C	・外装薄塗材E	・砂 壁 状	※吹付け ・ローラー		・内装薄塗材E	・着色骨材 砂 壁 状	吹付け		・内装薄塗材E	・砂 壁 状 ジュラク	※吹付け ・ローラー	・内装薄塗材Si	/	※吹付け ・ローラー		・厚付け仕上 塗材 (JIS A6915)	・外装厚塗材C	・模様吹き	吹付け		・凸部処理	※吹付け ・こて	・外装厚塗材E	・模様吹き	吹付け	・凸部処理	吹付け	・塗層仕上 塗材 (JIS A6910)	・塗層塗材C E	・ゆず風	吹付け	(トップコート) ・アクリル樹脂エナメル ※ウレタン樹脂エナメル ・水性エマルジョン系 ・ (色彩) ・光沢(※1色・2色) ・メタリック	・凸部処理	※吹付け	・凹凸模様	・ローラー	・塗層塗材Si	・ゆず風	吹付け	・塗層塗材E	・凸部処理	※吹付け		・塗層塗材R E	・塗層塗材R S	・塗層塗材 (可とう形)	・凹凸模様	・ローラー		・	・	・	・
名 称	種 類	仕 上 げ	工 法	上 塗 り 材																																																															
・厚付け仕上 塗材 (JIS A6909)	・外装薄塗材C	/	吹付け																																																																
	・内装薄塗材C																																																																		
	・外装薄塗材E	・砂 壁 状	※吹付け ・ローラー																																																																
	・内装薄塗材E	・着色骨材 砂 壁 状	吹付け																																																																
	・内装薄塗材E	・砂 壁 状 ジュラク	※吹付け ・ローラー																																																																
	・内装薄塗材Si	/	※吹付け ・ローラー																																																																
・厚付け仕上 塗材 (JIS A6915)	・外装厚塗材C	・模様吹き	吹付け																																																																
		・凸部処理	※吹付け ・こて																																																																
	・外装厚塗材E	・模様吹き	吹付け																																																																
		・凸部処理	吹付け																																																																
・塗層仕上 塗材 (JIS A6910)	・塗層塗材C E	・ゆず風	吹付け	(トップコート) ・アクリル樹脂エナメル ※ウレタン樹脂エナメル ・水性エマルジョン系 ・ (色彩) ・光沢(※1色・2色) ・メタリック																																																															
		・凸部処理	※吹付け																																																																
		・凹凸模様	・ローラー																																																																
	・塗層塗材Si	・ゆず風	吹付け																																																																
	・塗層塗材E	・凸部処理	※吹付け																																																																
	・塗層塗材R E																																																																		
	・塗層塗材R S																																																																		
	・塗層塗材 (可とう形)	・凹凸模様	・ローラー																																																																
	・	・	・	・																																																															

・その他の吹付け	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">製 造 所</th> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 40%;">そ の 他</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	製 造 所	名 称	そ の 他															
製 造 所	名 称	そ の 他																	
○炭 水 剤	※図示による一コンクリート、モルタル面保護用一 承造性吸水防止剤(シラネ系吸水剤) エアークレール シロノガド同等以上																		
○F 地 調 整	セメント系下地調整塗材 ※JIS A6916規格品																		
15.7.1 軽量骨材仕上塗材 吹 付 け	種 類 ※吹付け用軽量骨材仕上塗材 色 彩 (※青色 ・ 原色) 厚 さ (mm) (・ 3 ※ 5 ・ 10) 仕上形状 (※吹きっぱなし ・ こて押え)																		
15.7.2 ・ロックウール 吹 付 け	種 別 (※ 一般用 ・) (15.7.1表) 色 彩 (※ 青色 ・ 原色) 厚 さ (・) 仕上形状 (・ こて押え ・ 吹きっぱなし ・)																		
・人 造 石 塗 り	(a) セメント、白色セメント、砂、石粉、水及び顔料は、15.3.1による。 (b) 顔料は、大理石、花こう岩その他の砕石及び砕砂で堅硬なものとし、5mmより通過分100/wt、1.5mmより通過分0/wtとする。 (c) 床用目地粉は、貫通型(4×12(mm))で鋼板製付きとし、足間隔300mm程度とする。 (d) 目 地 (・ 有り ・ 無し)																		
・人造石とぎ出し	(a) 顔料の種類 (・ A 種 ・ B 種 ※見本品提出のうえ決定) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">A 種</th> <th style="width: 50%;">B 種</th> </tr> <tr> <td>カナリヤの類</td> <td>寒水、ジャコウの類</td> </tr> </table> (b) 割合(容積比)は、セメント又は白色セメント1：顔料1.5に適量の顔料を混合したものとし、塗り厚7.5mmとする。 (c) 工 法 (i) 材料の混合 I セメント及び顔料は、密着のまま正確に計量し、十分混合しておく。 II 上塗り材料は、十分混合して整練りとする。 (ii) 塗付け I 壁の場合は、中塗りまで、節のモルタル塗りにより施工し、中塗り面の半乾燥時に下付けとして割合(容積比)セメント1：砂1のモルタルを薄くすり付けした後、上塗りを入念に塗付け、顔料面ののろを水だけでぬぐいとる。 II 床の場合は、15.2.1(b)(4)の地下地置後、割合(容積比)セメント1：砂3のモルタルで下塗りした後、上塗りを入念に塗付ける。 III 目地を除ける場合は、目地粉を目地割りに合わせ、モルタルで密付けした後、モルタル塗りを行う。 (3) 仕上げは、原則として機械とぎとし、上塗りの硬化程度を見計らい、#60と石で荒とぎ後、#120と石でとぎ、更に#180～200と石を用い、目つぶしのろ掛けを繰返して仕上げる。 (4) 化粧目地塗りの場合は、仕上げ終了後、人造石を欠かないように目地粉を密かに外し、目地をつくる。 目地には、割合(容積比)セメント1：石粉1に適量の顔料を混合したモルタルを十分押込み仕上げる。	A 種	B 種	カナリヤの類	寒水、ジャコウの類														
A 種	B 種																		
カナリヤの類	寒水、ジャコウの類																		
・モルタル着色床	製造所 ・																		
15.8.1～3 ・セルフベリング材塗り	※表15.8.1による <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">種 類</th> <th style="width: 20%;">厚 さ</th> <th style="width: 50%;">施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・石こう系</td> <td>※10</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・セメント系</td> <td>※10</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td> </td> </tr> </table>	種 類	厚 さ	施 工 箇 所	・石こう系	※10		・セメント系	※10		・	・							
種 類	厚 さ	施 工 箇 所																	
・石こう系	※10																		
・セメント系	※10																		
・	・																		
・釘打用下地モルタル	メーカー責任施工(施工管理) スカイモル(東邦レオ)																		

特記	訂正		94.12	ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)	194
		久米設計・梓設計 設計共同企業体	工事特記仕様書 No. 6	194	

工事特記仕様書
18章 内装工事
18.1.1 ビニル床シート
18.2.1 ビニル床タイル
18.3.1~18.3.3 合成樹脂張り床
18.4.1 石こうボード
18.4.2 フローリング
18.5.1~18.5.5 フローリング
19章 舗装工事
19.2.1~19.2.3 路床
19.3.1~19.3.3 路盤
19.4.1~19.4.4 アスファルト舗装
20章 排水工事
20.1.1 排水工事材料
工事設計図
特記仕様書No.6
久米設計・梓設計 設計共同企業体

工事特記仕様書 (別表)

ルーフドレン一覧表

アスファルト・シート防水用

	メーカー名	防水表面仕上	アスファルト・シート防水用					
			型		型		中	
			SGP	VP	SGP	VP	SGP	VP
鋼鉄板	カネソウ	保護モルタル	KROA	KRSA-VP	KXF		KRSDH-2	KRSDH-VP
		露出	KRSC-2	KRSC-VP	KXC		ESB-2	ESB-1
	第一機材	保護モルタル	RATC-K	RAPC-M-K	RA-2A-K		RVPB-K	RAPB-M-K
		露出	同上	同上	RL-2S-K		同上	同上
	中部工機		RAG-S	RAP-1S	HCS-SR		BSG-S	BSP-1S
ステンレス鋼板	丹村	保護モルタル	NTDC-2	NTDC	LFCD-2		NTBH-2	NTBH
	福西		RSG-9000	RACV-9000	RASJ-8000		RSG-10000	RACV-10000
ステンレス鋼板	カネソウ	露出	KBRC-2	KBRC-VP	KBXC			
		保護モルタル	KBRD-2	KBRD-VP			KBRDH-2	KBRDH-VP
	第一機材	保護モルタル	SRA-1DK	SRA-2DK			SRA-1BK	SRA-2BK
	中部工機	"	SRAG	SRAP	SHAGR		SBAG	SBAP
	丹村	"	NTDC-2S	NTDC-S	LFCD-2S		NTBH-2S	NTBH-S
ステンレス鋼板	福西	"	SF-SCS-9000	SF-SCS-9000 +パルプソケット			SF-SCS-10000	SF-SCS-10000 +パルプソケット
	カネソウ	"	KSOB	KSOB	KSCF		KSOH	KSOH
	ホクセイ	"	YVR-G	YVR	YHL		YVB-G	YVB

モルタル・塗膜防水用

	メーカー名	防水表面仕上	モルタル・塗膜防水用					
			型		型		中	
			SGP	VP	SGP	VP	SGP	VP
鋼鉄板	カネソウ	保護モルタル	KRSE-2	KRSE-VP	KXG		KRSH-2	KRSH-VP
	第一機材		RPC-K	RKCM-K			RPB-K	RKBM-K
	中部工機		RMG-S	RMP-1S	CM-SR		BMG-S	BMP-1S
	丹村		NTDE-2	NTDE	LUND-2		NTDH-2	NTDH
	福西		RG-9000	RC-9000	RMJ-7000		RG-10000	RC-10000
ステンレス鋼板	カネソウ	保護モルタル	KBRE-2	KBRE-VP	KBXG		KBRH-2	KBRH-VP
	第一機材	"	SRM-1CK	SRM-2CK			SRM-1BK	SRM-2BK
	中部工機	"		SRMP	SHMGR			SBMP
	丹村	"	NTDB-2S	NTDB-S			NTDH-2S	NTDH-S
	福西	"	SF-SCSMG-9000	SF-SCSMV-9000			SF-SCSMG-10000	SF-SCSMV-10000
ステンレス鋼板	カネソウ	"	KSSE	KSSE			KSSH	KSSH
	ホクセイ	"	YMR-G	YMR	YML		YMB-G	YMB

コンクリートの品質管理試験

	1回の打設量	供試体用 試料採取方法	試験の回数		供試体の組			JISの確認 (標準) 28日	その他																							
			スランブ・塩化物量 コンクリート温度・空気量	構造体推定 (現水) 28日	調合強度管理 (標準) 7日	型枠型等 任意																										
I	20㎡未満	監督員と協議を行う(必要な場合はIIによる)							・共に示される品質検査は、調合強度の管理、構造体強度の推定、型枠外し、養生打切りなど本来施工者側に必要な事項であり、施工者に於いて実施されるべきものであると考えられる。 しかし、試験の目的、主旨を十分に理解した上で生コン会社に代行協力を依頼することは、差支えない。 ・生コン会社に代行依頼した場合には、供試体の間違いのない様に下記の様な確認紙を採取時に付しておけば良いと考える。																							
II	20㎡以上 50㎡未満	任意の1車	1回	3本 (1回)	3本 (1回)	3本 (1回)	3本																									
III	50㎡以上 150㎡未満	任意の3車 A B C	} 1回	1本 } 1本 } 1本 } 3本 (1回)	1本 } 1本 } 1本 } 3本 (1回)	1本 } 1本 } 1本 } 3本 (1回)	3本																									
IV	150㎡以上 300㎡未満	任意の6車 A B C D E F	} 1回 } 1回 } 2回	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 6本 1本 } (2回)	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 6本 1本 } (2回)	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 6本 1本 } (2回)	} 3本 } 3本 } 6本 (2回)																									
V	300㎡以上 450㎡未満	任意の9車 A B C D E F G H I	1回 1回 1回 } 3回	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 9本 1本 } (3回)	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 9本 1本 } (3回)	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 9本 1本 } (3回)	3本 3本 3本 } 9本 (3回)																									
VI	450㎡以上 600㎡未満	任意の12車 A B C D E F G H I J K L	1回 1回 1回 1回 } 4回	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 12本 1本 } (4回)	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 12本 1本 } (4回)	1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 1本 } 12本 1本 } (4回)	3本 3本 3本 3本 } 12本 (4回)																									
VII	600㎡以上	監督員の指示による																														
1回の打設において、コンクリートの種類が異なる場合は監督員と協議すること。		供試体用試料は適切な間隔をあげた運搬車から採取。	I~IVのJISの検査ロットにおいて1回の判定で呼び強度以上とする。					確認紙 <table border="1"> <tr> <td>採取年月日</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>採取車両</td> <td colspan="3">車目</td> </tr> <tr> <td>スランブ</td> <td colspan="3">cm</td> </tr> <tr> <td>空気量</td> <td colspan="3">%</td> </tr> <tr> <td colspan="4">現場代理人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">〇〇建設株式会社 〇〇〇〇</td> </tr> </table>	採取年月日	年	月	日	採取車両	車目			スランブ	cm			空気量	%			現場代理人				〇〇建設株式会社 〇〇〇〇			
採取年月日	年	月	日																													
採取車両	車目																															
スランブ	cm																															
空気量	%																															
現場代理人																																
〇〇建設株式会社 〇〇〇〇																																

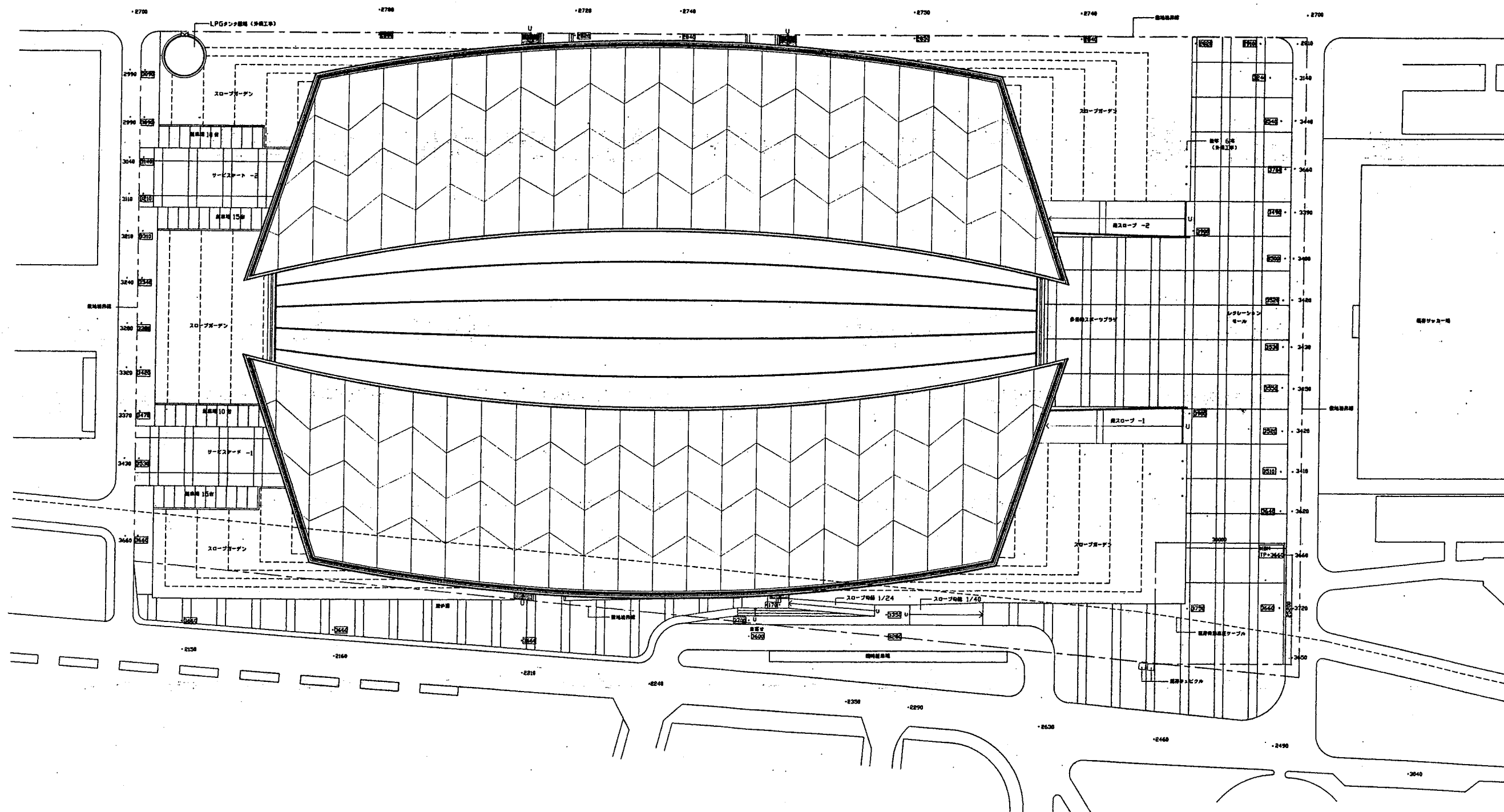
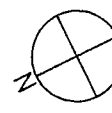
土壌改良剤及び施肥

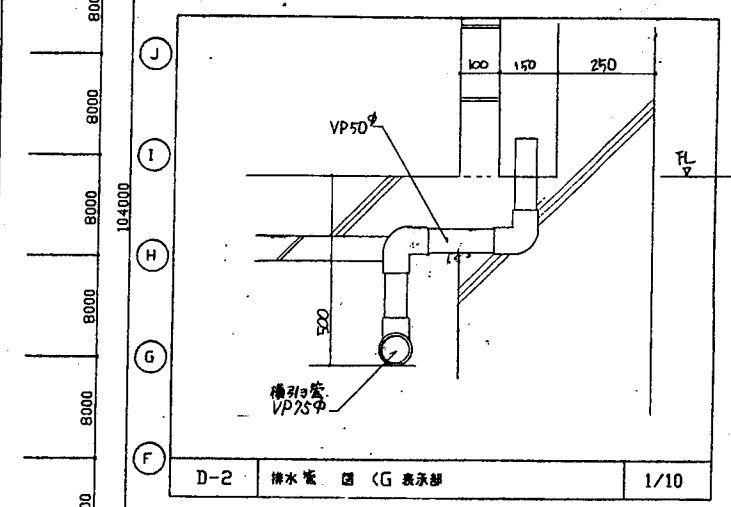
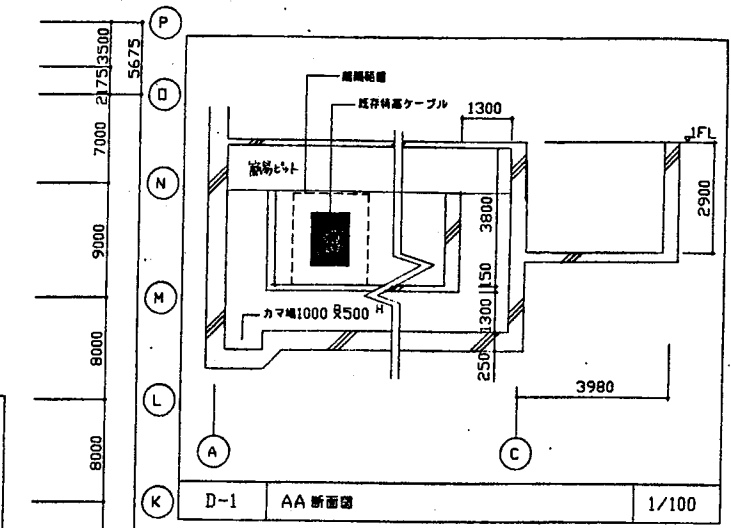
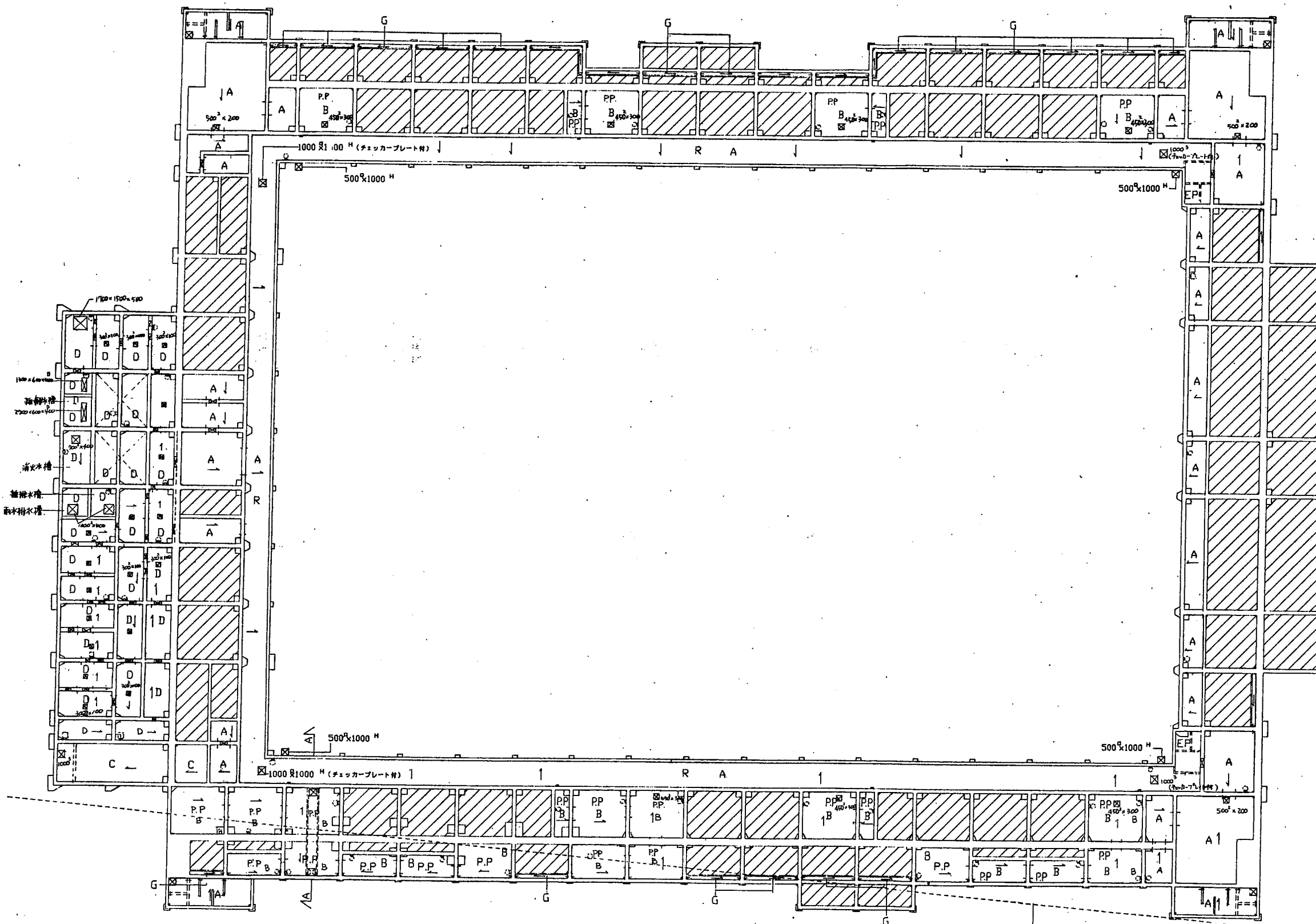
幹廻り	土壌改良剤		施肥	
	パーク堆肥	パーライト (黒よう石)	ウッドエース	固形肥料 (まらや3号)
10未満	3.65kg	7.30ℓ	100g	100g
10以上15未満	5.60	11.20	200	200
15以上20未満	10.45	20.90	200	200
20以上25未満	16.50	33.00	200	200
25以上30未満	24.00	48.00	300	300
30以上35未満	27.50	55.00	300	300
35以上45未満	47.00	94.00	300	300
45以上60未満	77.00	154.00	400	400
60以上75未満	119.00	238.00	400	400
75以上90未満	168.50	337.00	400	400
高さ				
30未満	0.70	1.40	45	45
30以上50未満	1.00	2.00	60	60
50以上80未満	1.30	2.60	60	60
80以上100未満	1.75	3.50	80	80
100以上150未満	2.45	4.90	80	80
150以上200未満	3.85	7.70	100	100
200以上250未満	5.55	11.10	100	100
250以上300未満	7.80	15.60	150	150

工事設計図

特記仕様書(別表)	図 1: 設計番号	図 2: 図面番号	図 3: 図面番号	図 4: 図面番号	図 5: 図面番号
図 6: 図面番号	図 7: 図面番号	図 8: 図面番号	図 9: 図面番号	図 10: 図面番号	図 11: 図面番号
四日市市都市計画部営繕課					

[illegible]

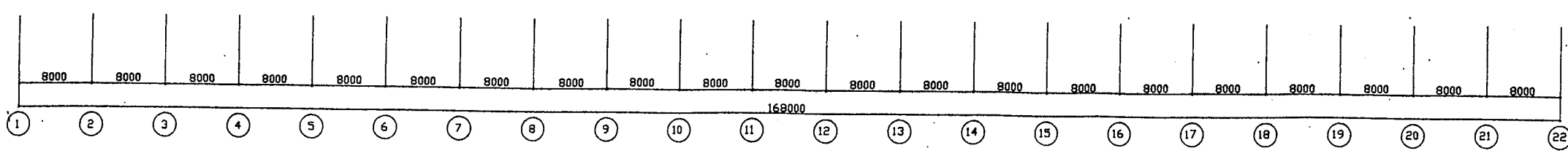


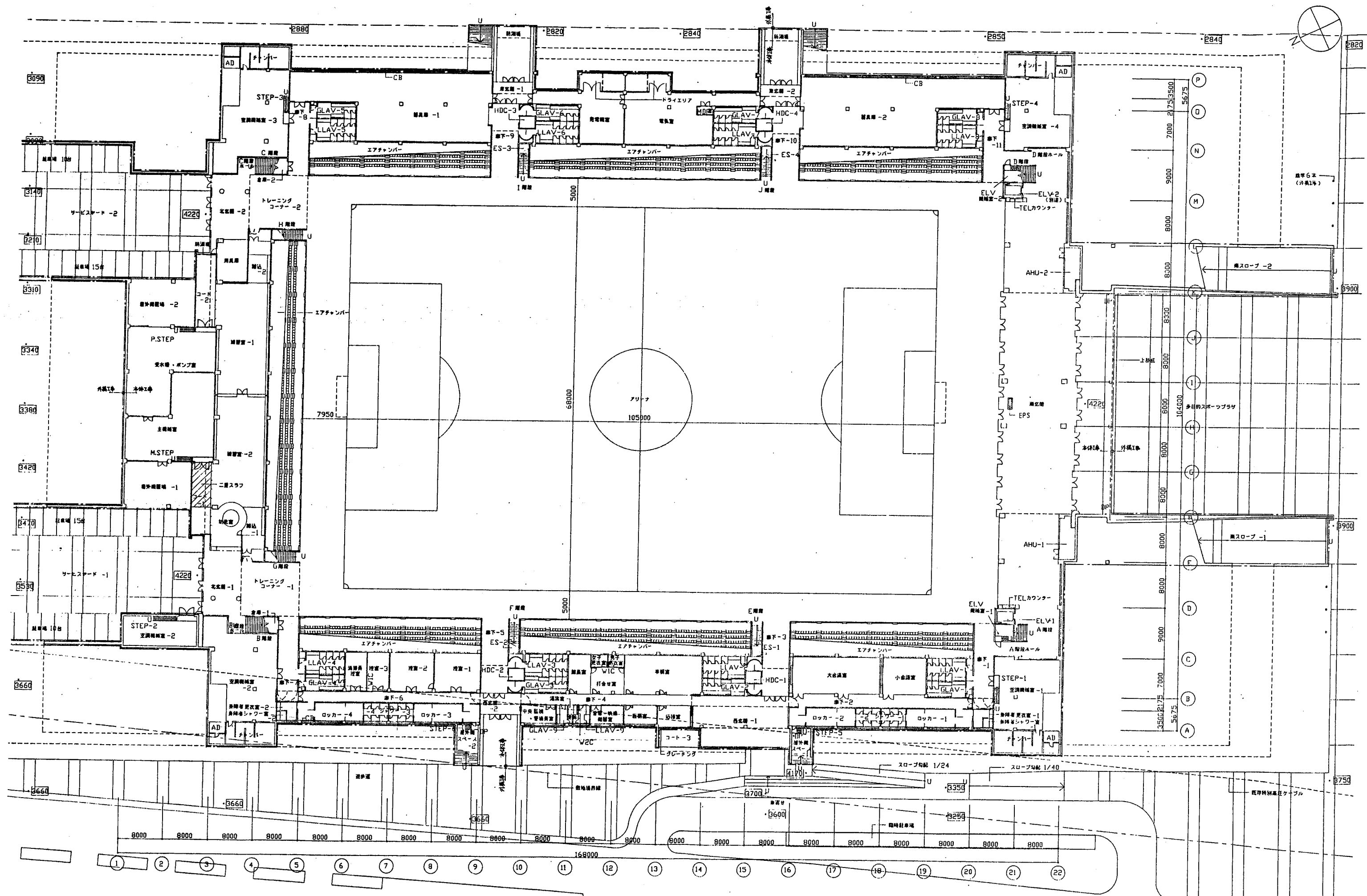


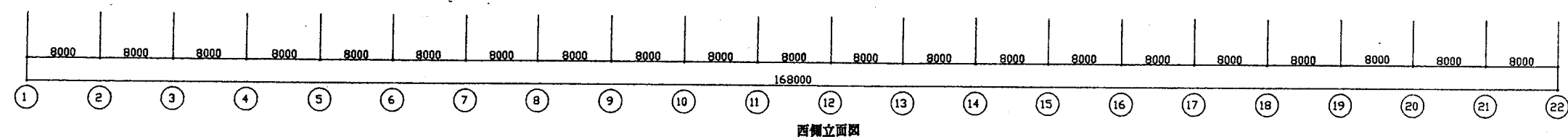
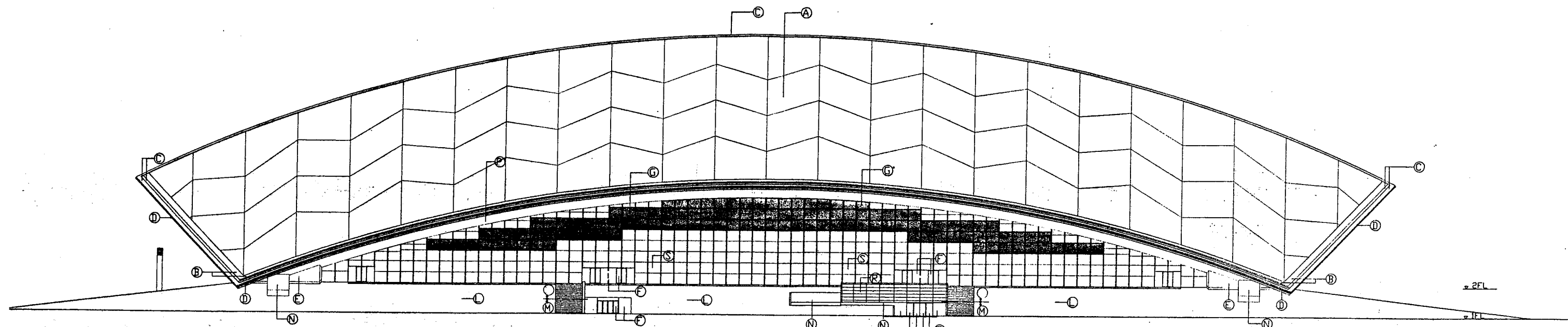
記号	説明
□	カマ場
○	上部マンホール 600φ
□	SUSタラップ 32φ D-11
□	人孔 500φ
---	上部通気管 VP150φ
---	下部通気管 VP200φ 半割
---	水勾配
EP	エレベーターピット IFL-1300
///	埋め戻し
R	リターンチャンバー
P.P	簡易ピット (捨てコン 50mm)
G	排水管

・水櫃は 壁、床、浸透性 塗布防水とする
・チェックプレートは 32φ D-14に示す

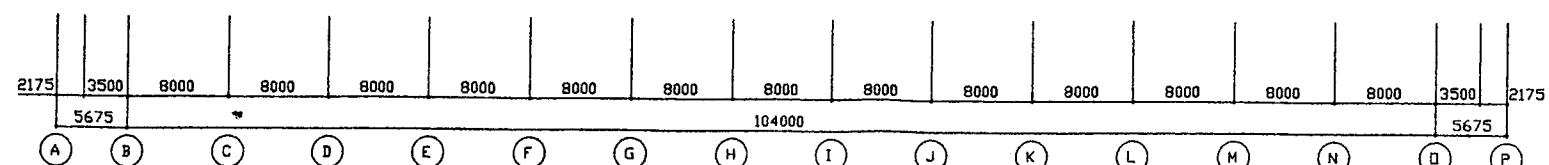
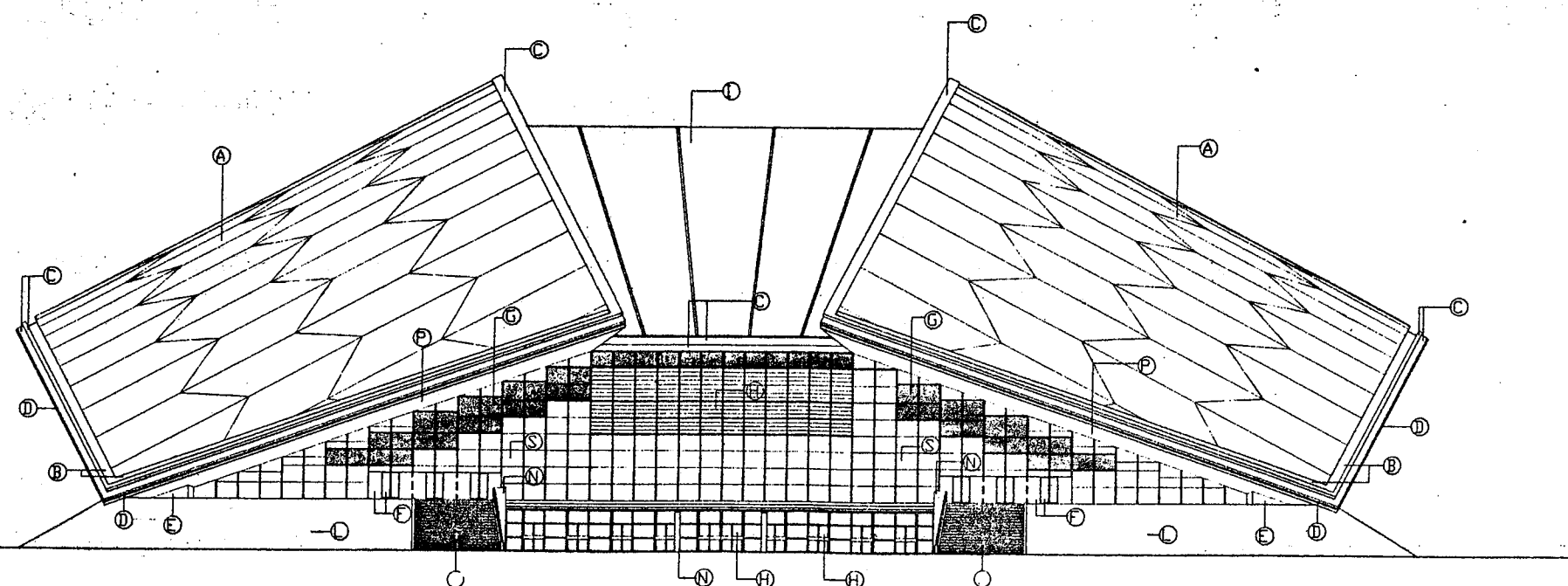
ピットスラブ天レベル	説明
A	IFL-2900
B	IFL-1800
C	IFL-4000
D	IFL-4800







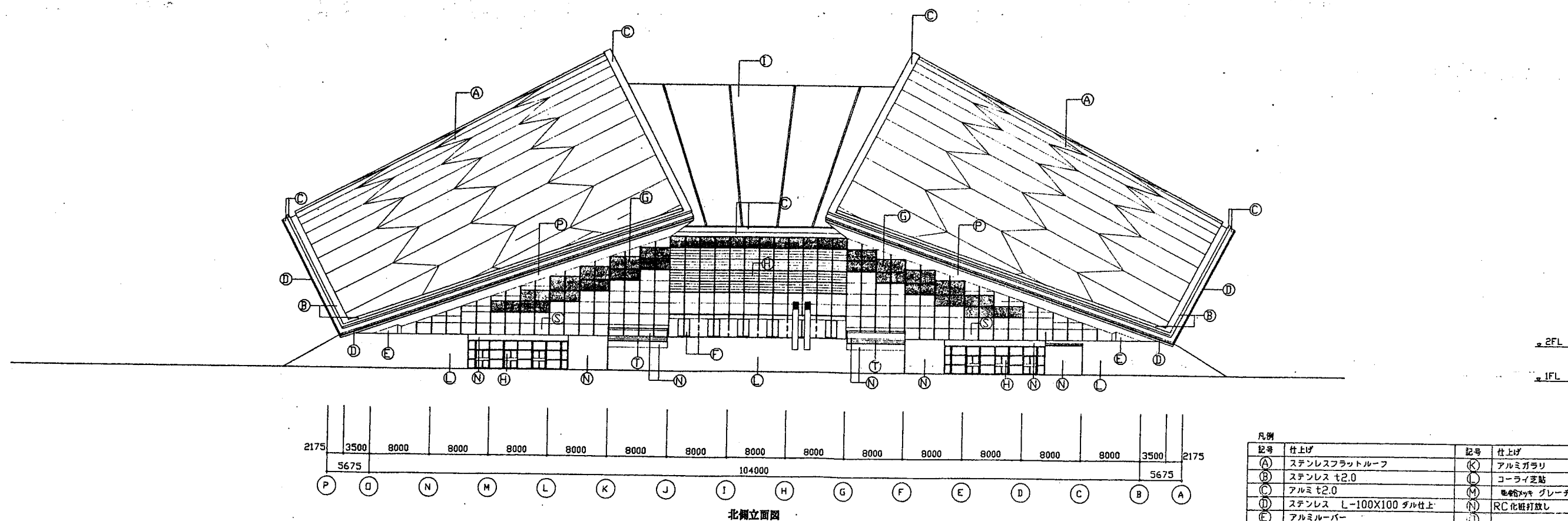
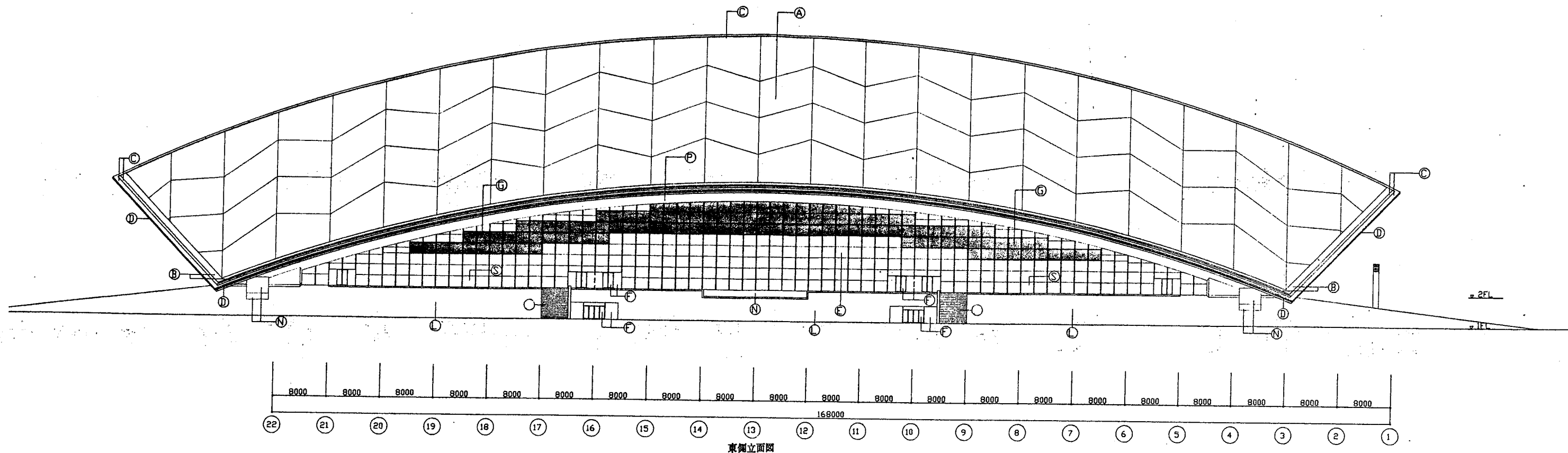
西側立面図



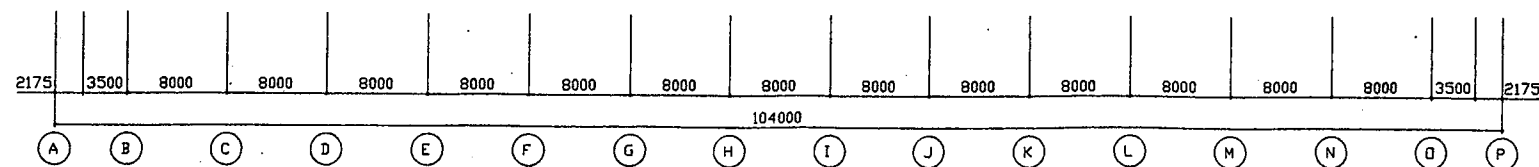
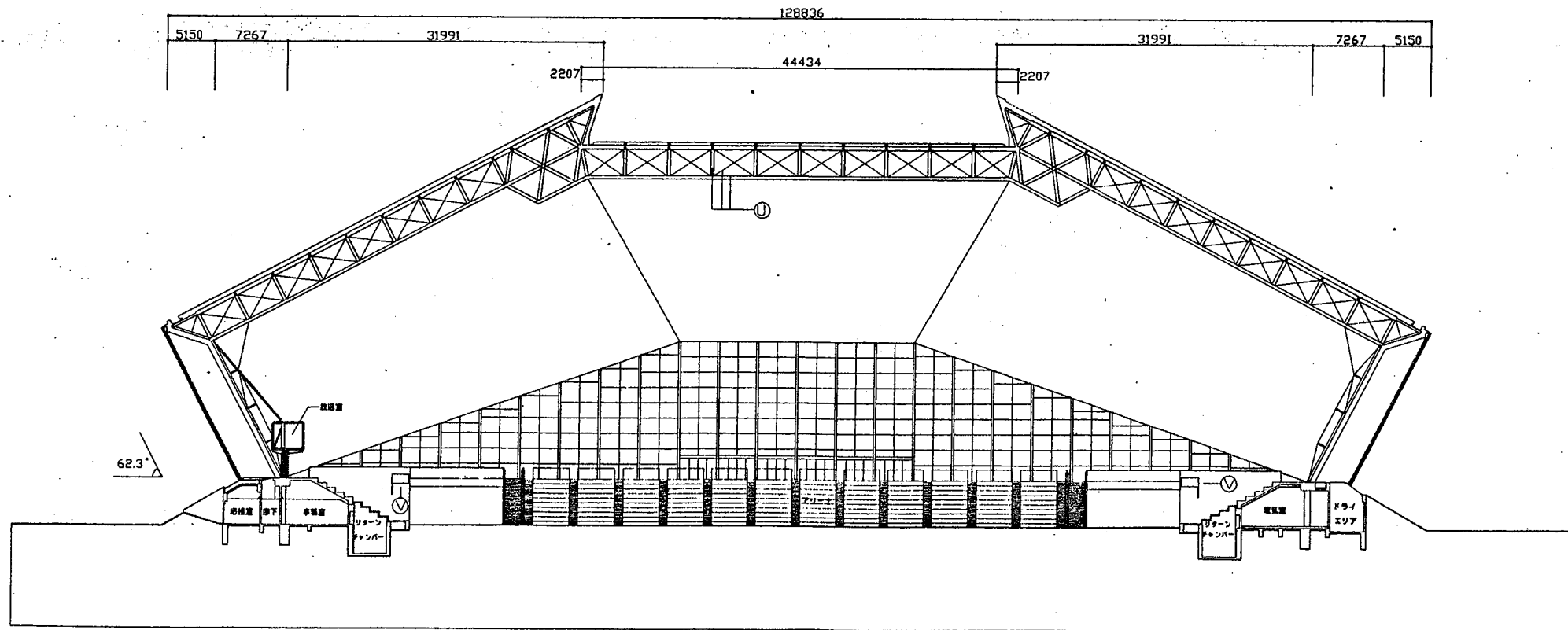
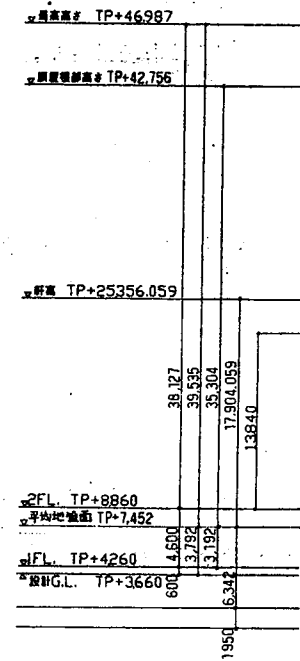
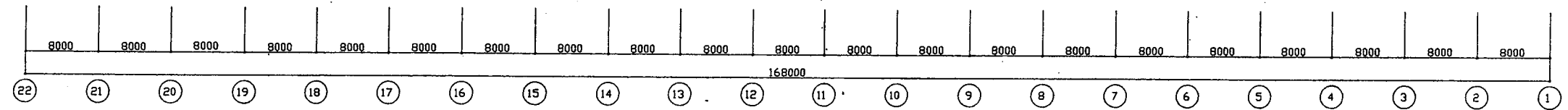
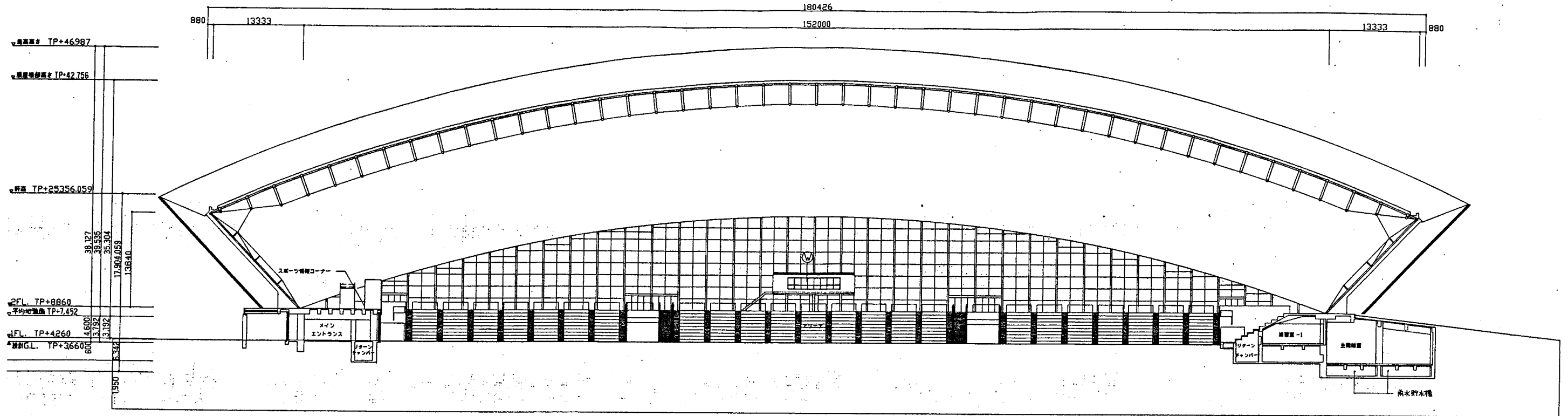
南側立面図

記号	仕上げ	記号	仕上げ
(A)	ステンレスフラットルーフ	(K)	アルミガラリ
(B)	ステンレス t2.0	(L)	コーライ芝貼
(C)	アルミ t2.0	(M)	鉄筋コンクリート グレーチング
(D)	ステンレス L-100X100 ダル仕上	(N)	RC化粧打放し
(E)	アルミルーバー	(O)	
(F)	透明強化ガラス	(P)	フッ素樹脂塗装鋼板 t0.9
(G)	透明ガラス t15	(Q)	スチール
(H)	ポリカーボネイトシート	(R)	フロストガラス
(I)	デフロン膜	(S)	透明ガラス t12
(J)	アルミスパンデル	(T)	ステンレスメッシュ

表 3

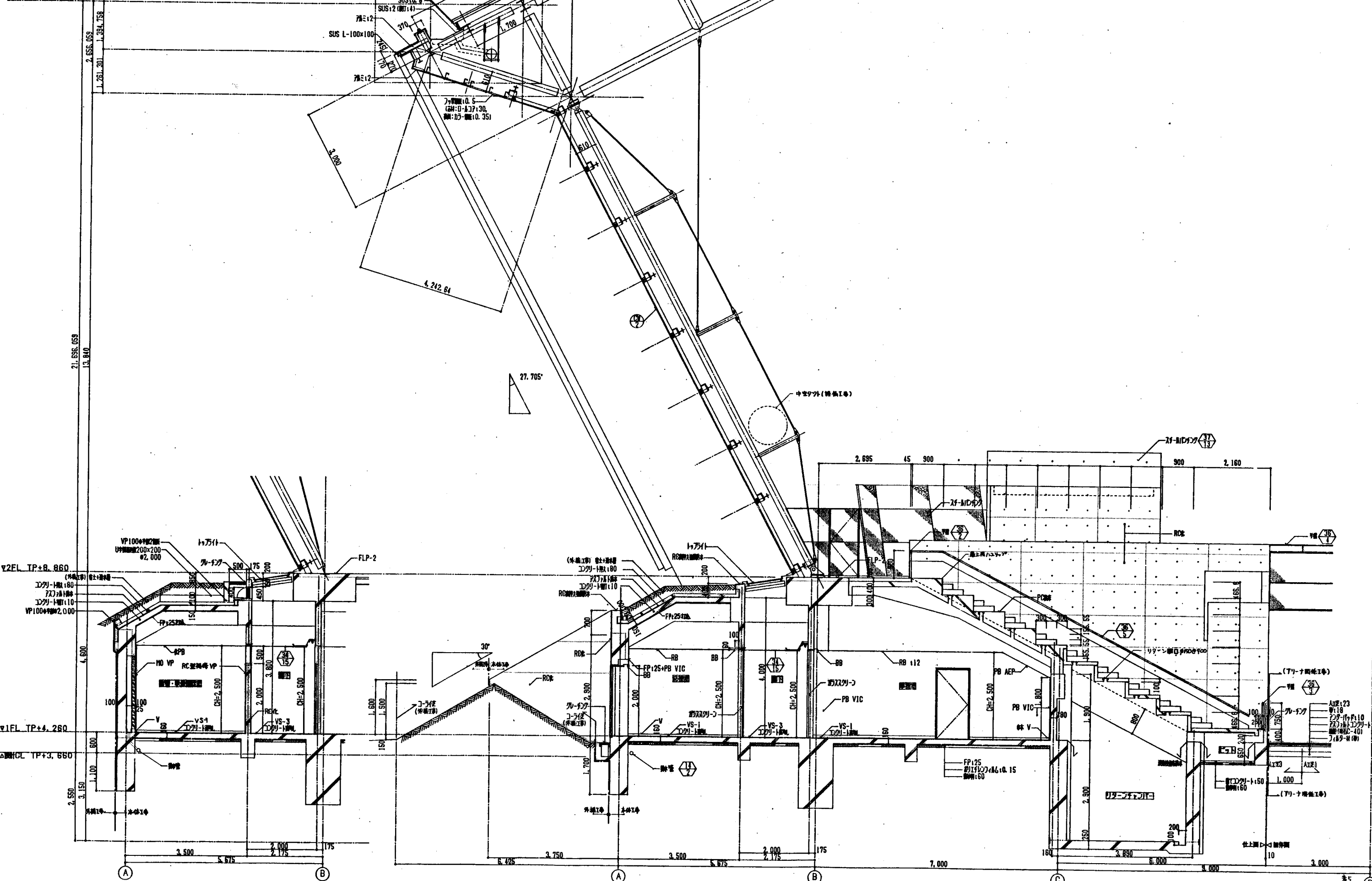


凡例	記号	仕上	凡例	記号	仕上
(A)	ステンレスフラットルーフ	(K)	アルミガラリ	(P)	ステンレス 仕上鋼板
(B)	ステンレス t2.0	(L)	コーライ芝貼	(Q)	ステンレス
(C)	アルミ t2.0	(M)	電線ダクト グレーチング	(R)	フロストガラス
(D)	ステンレス L-100X100 ダル仕上	(N)	RC化粧打放し	(S)	透明ガラス t12
(E)	アルミルーバー	(O)		(T)	ステンレス スリット
(F)	透明強化ガラス				
(G)	透明ガラス t15				
(H)	ポリカーボネイトシート				
(I)	テフロン膜				
(J)	アルミスパンデル				



凡例	記号	仕上	記号	仕上
①	○	スチール 長油性アクリルペイント	○	
②	○	コンクリート C	○	
③	○	透明ガラス	○	
④	○		○	
⑤	○		○	
⑥	○		○	
⑦	○		○	
⑧	○		○	
⑨	○		○	
⑩	○		○	

▽標高: TP+25, 358.059



久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12

トーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

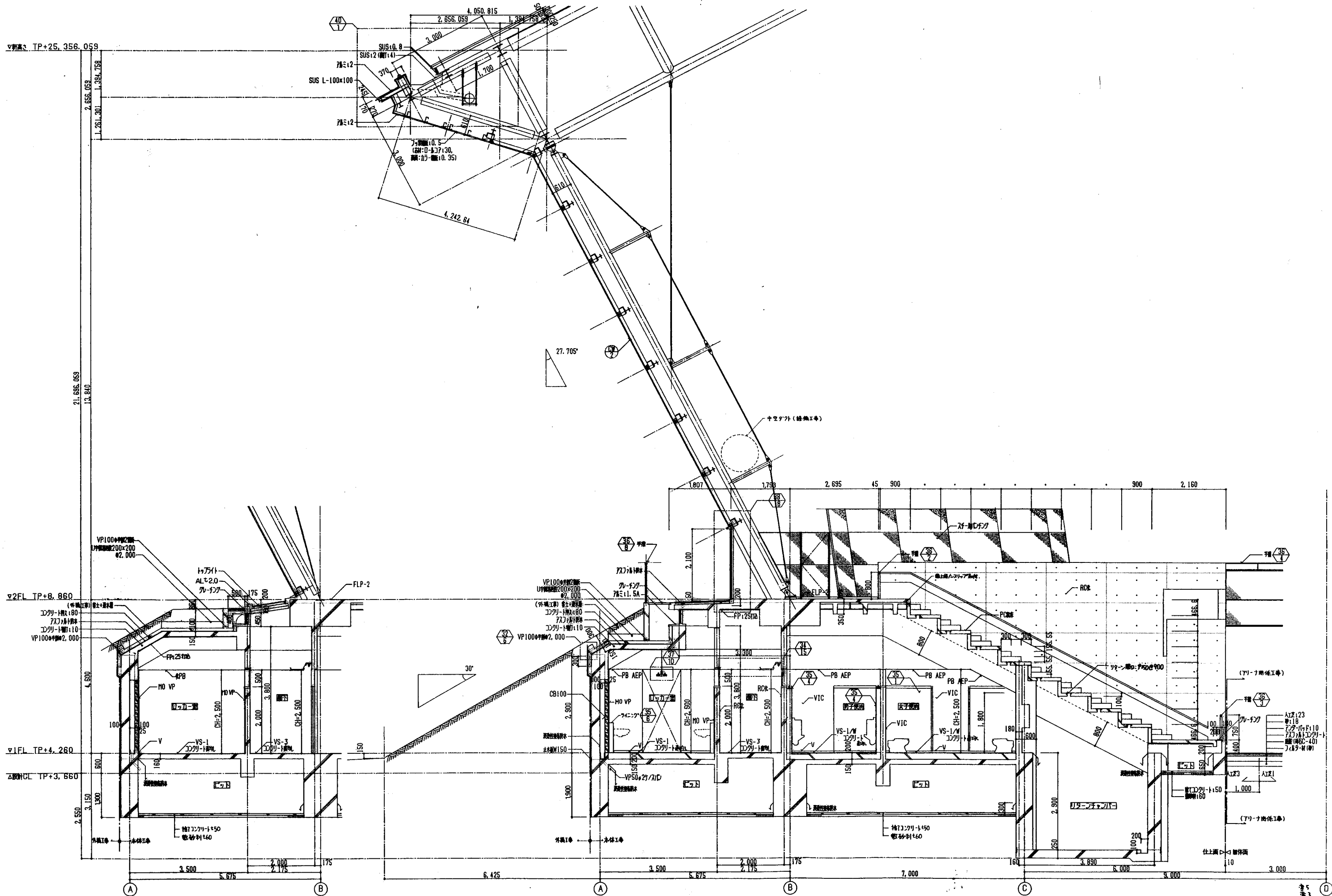
図号 20

概 計 図 - 1

1:50

194072

▽断面: TP+25,356.059



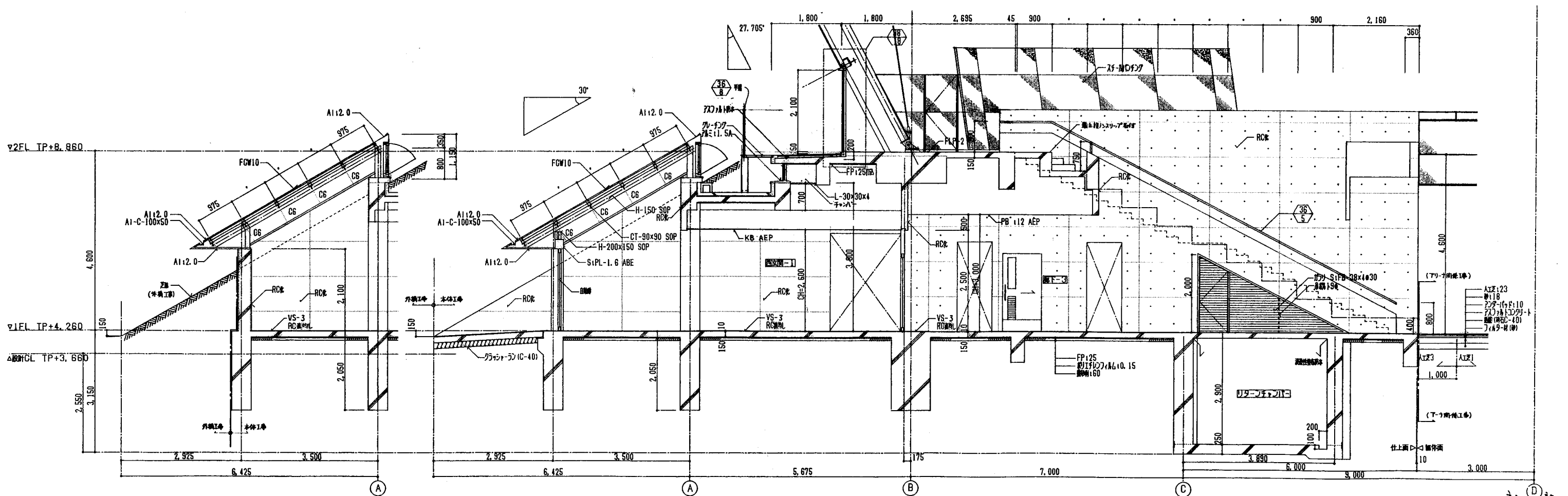
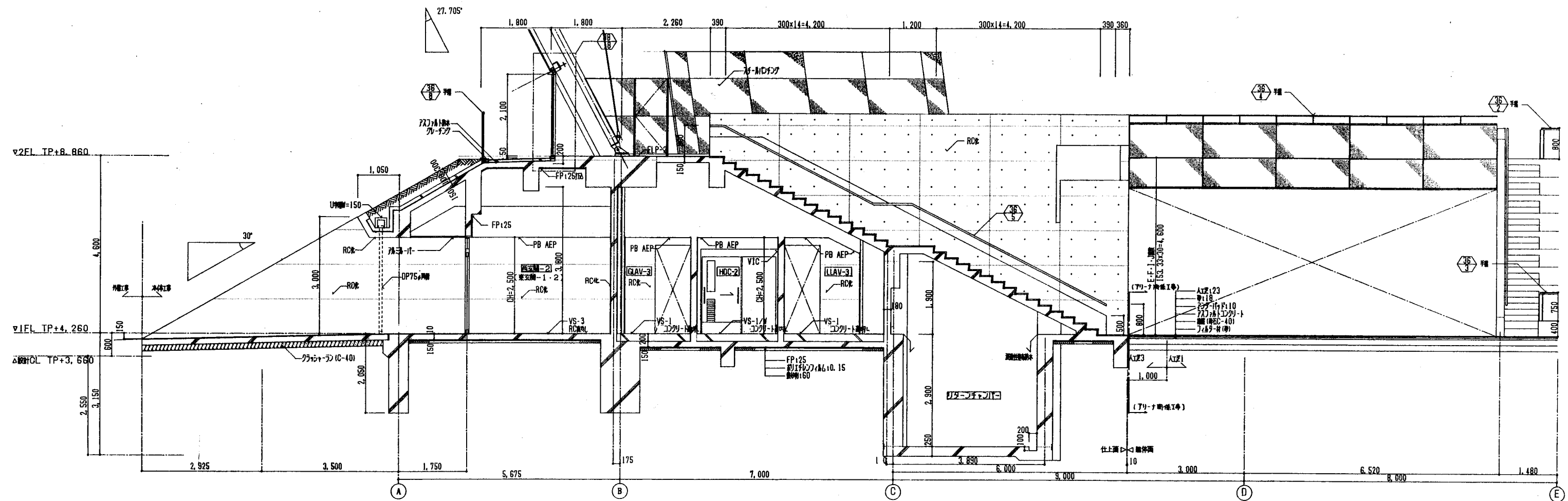
久米設計・梓設計 設計共同企業体

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

短計図-2

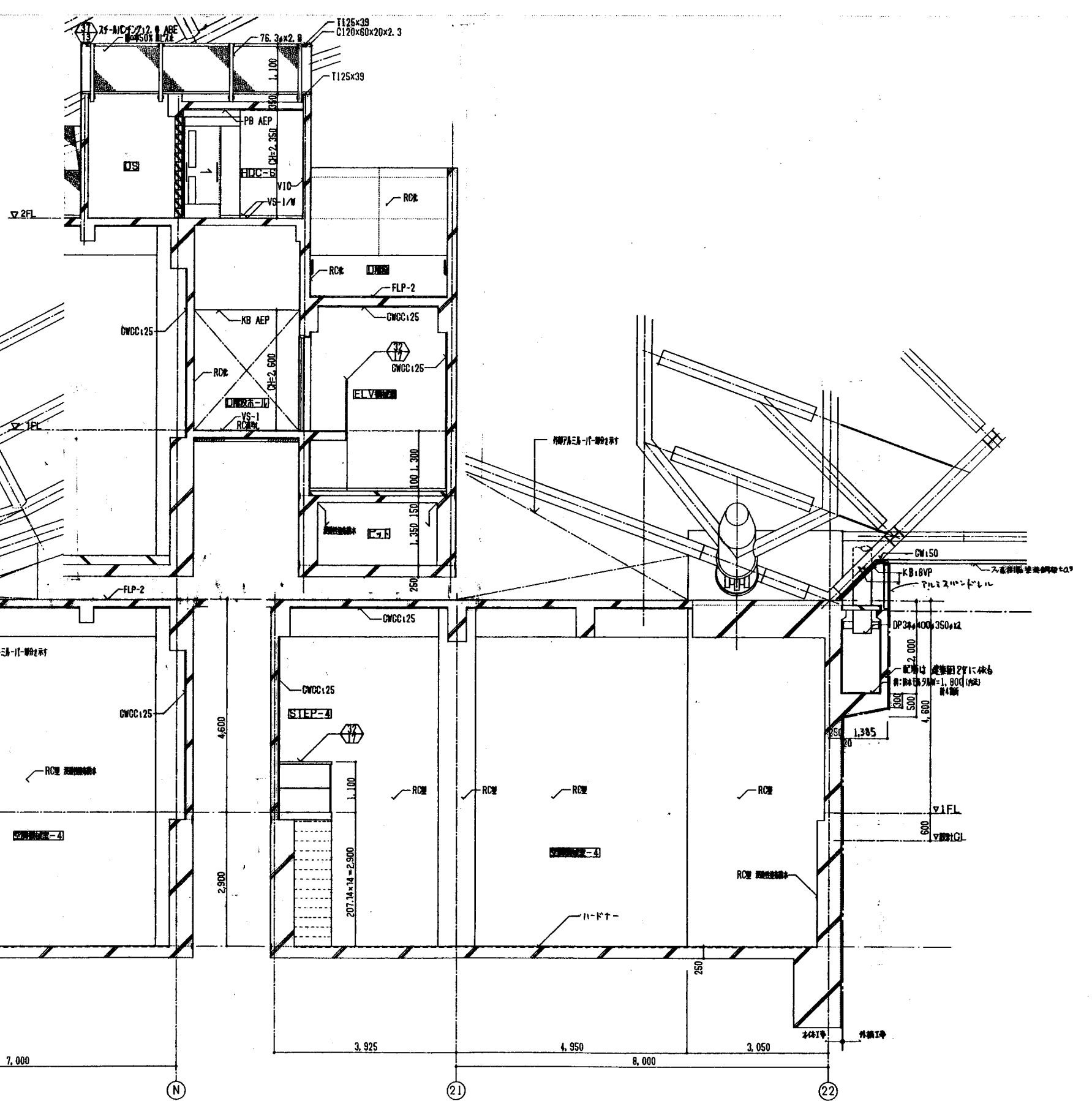
150

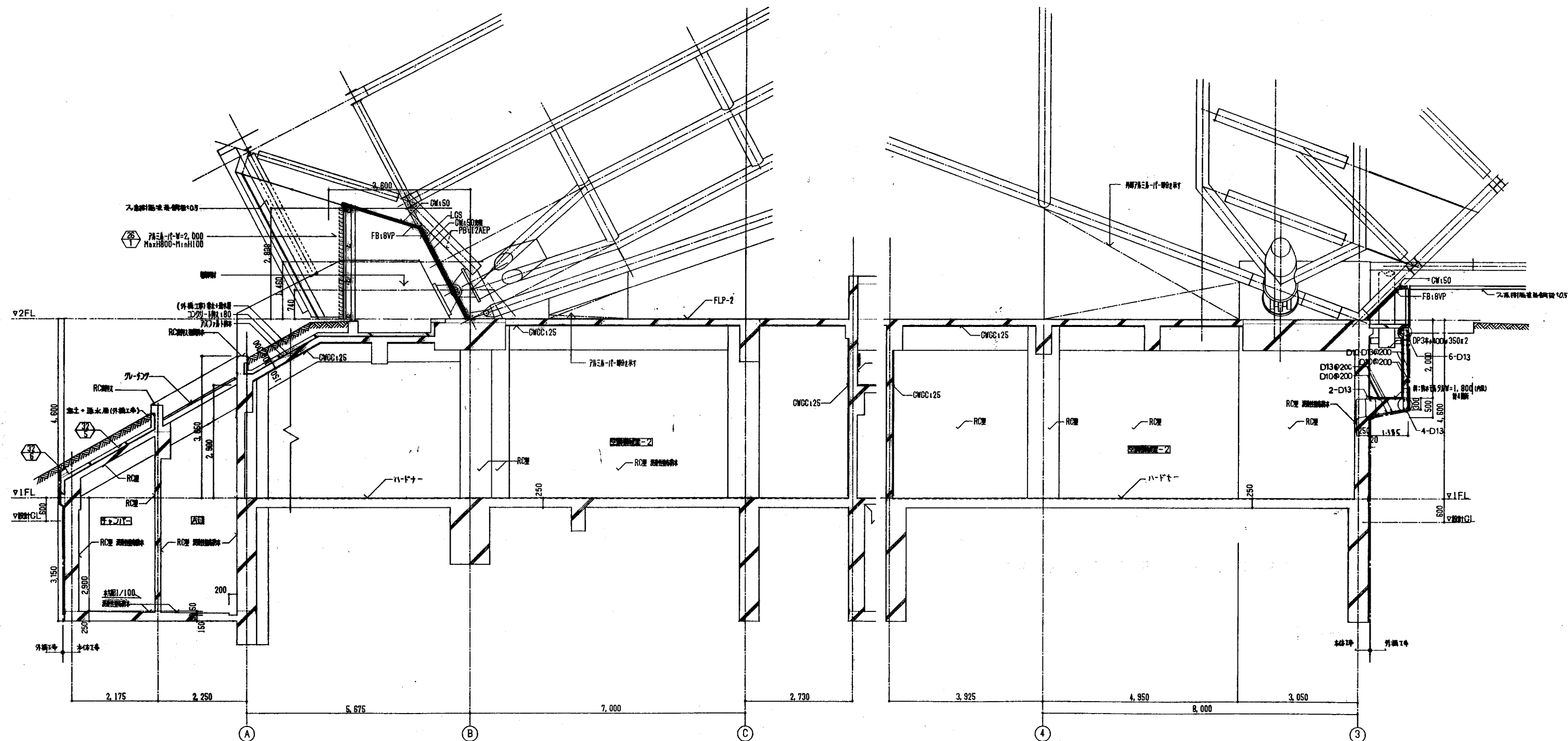
194072



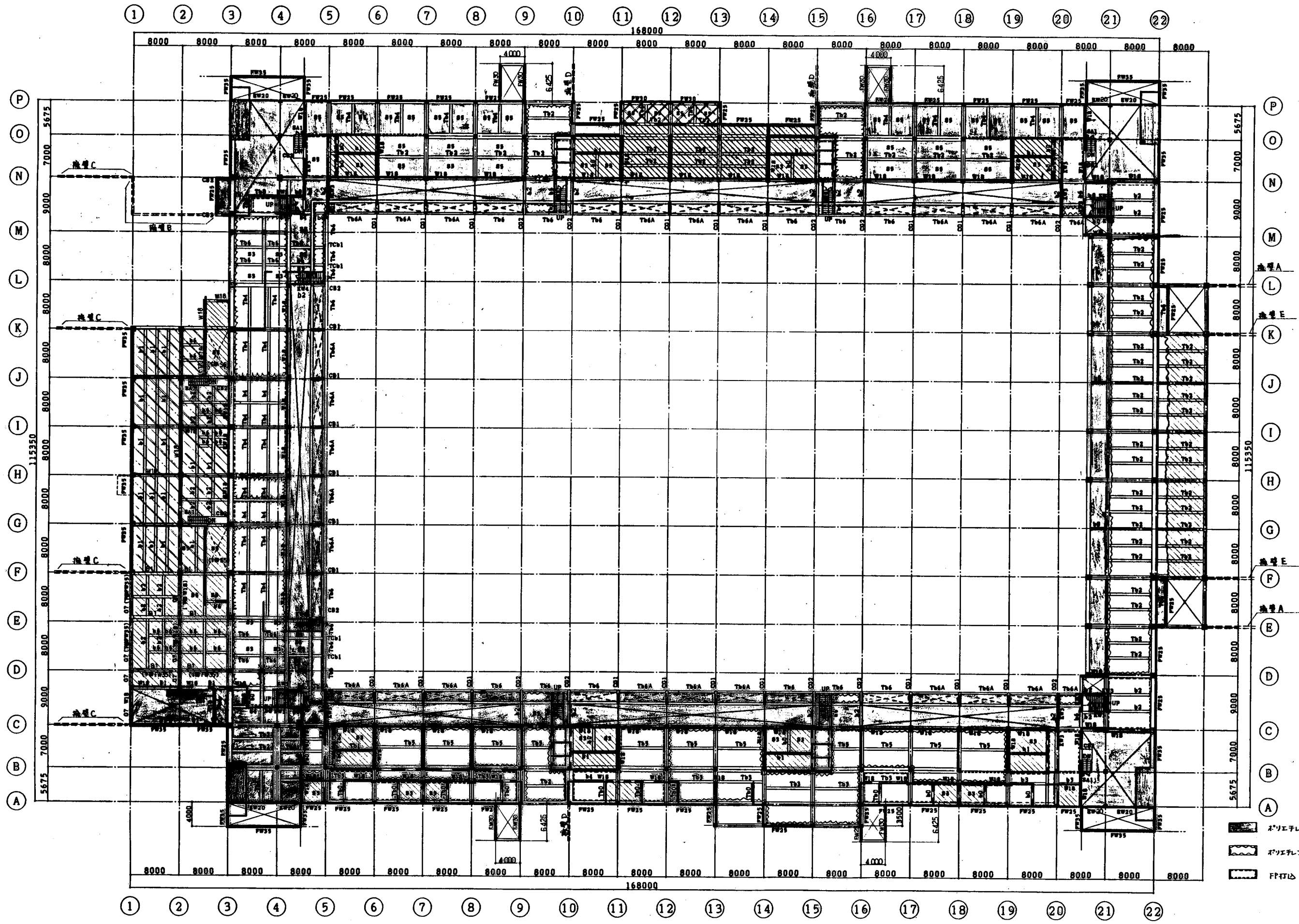
久米設計・梓設計 設計共同企業体

日付	2014.12	図名	フォーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)	図番	24
縮尺	1/50	設計者	矩計 岡一	図号	194072





		久米設計・梓設計 設計共同企業体	94.12 PA 94.12	ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事) 概 算 図 - 8 1:50	図 27 194072
--	--	-----------------------------	---	--	--



1階床・床伏図 S=1:300

久米設計・梓設計 設計共同企業体

'94.12

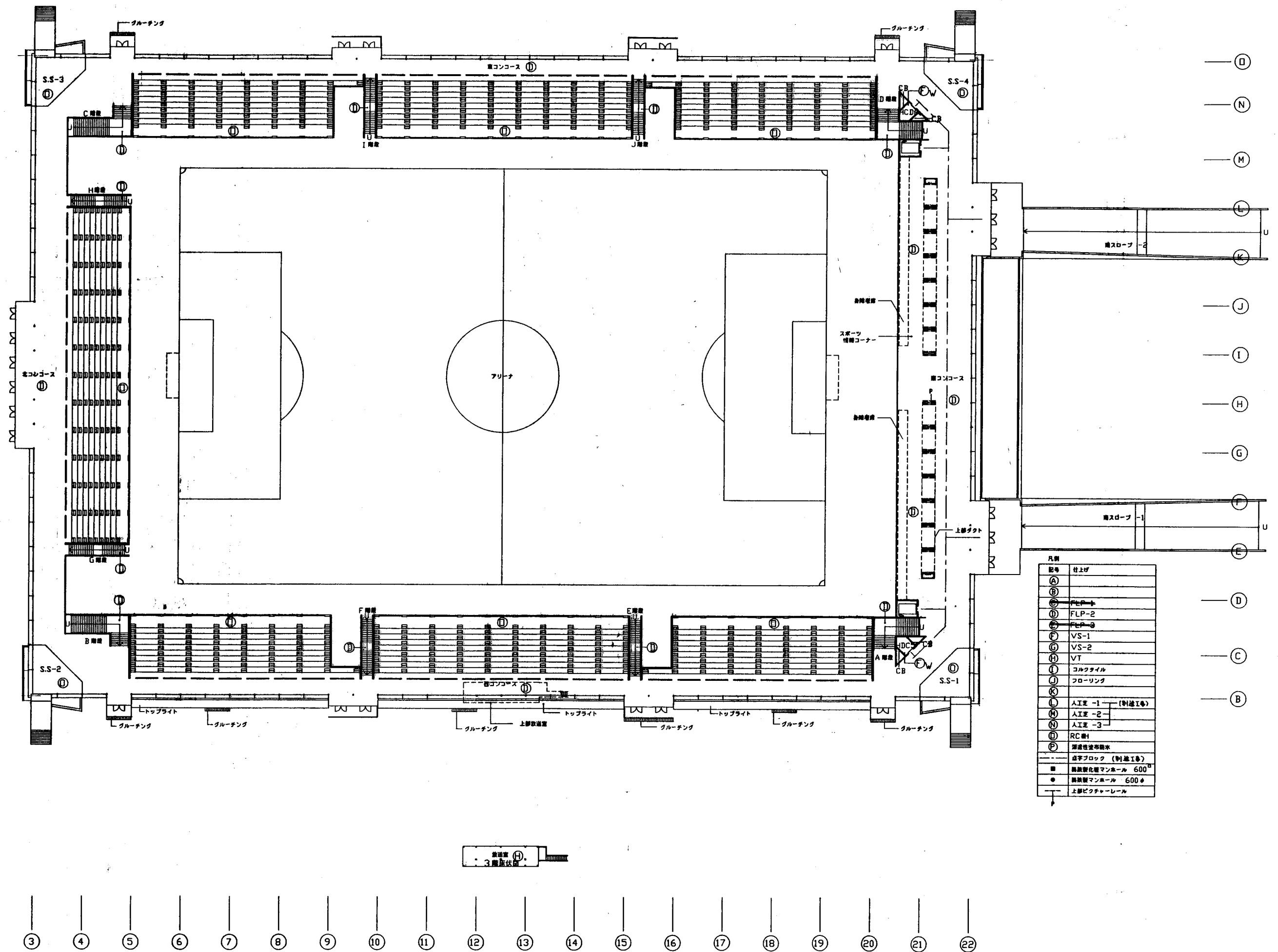
ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

建築28-1

1階床・断熱材使用区分図

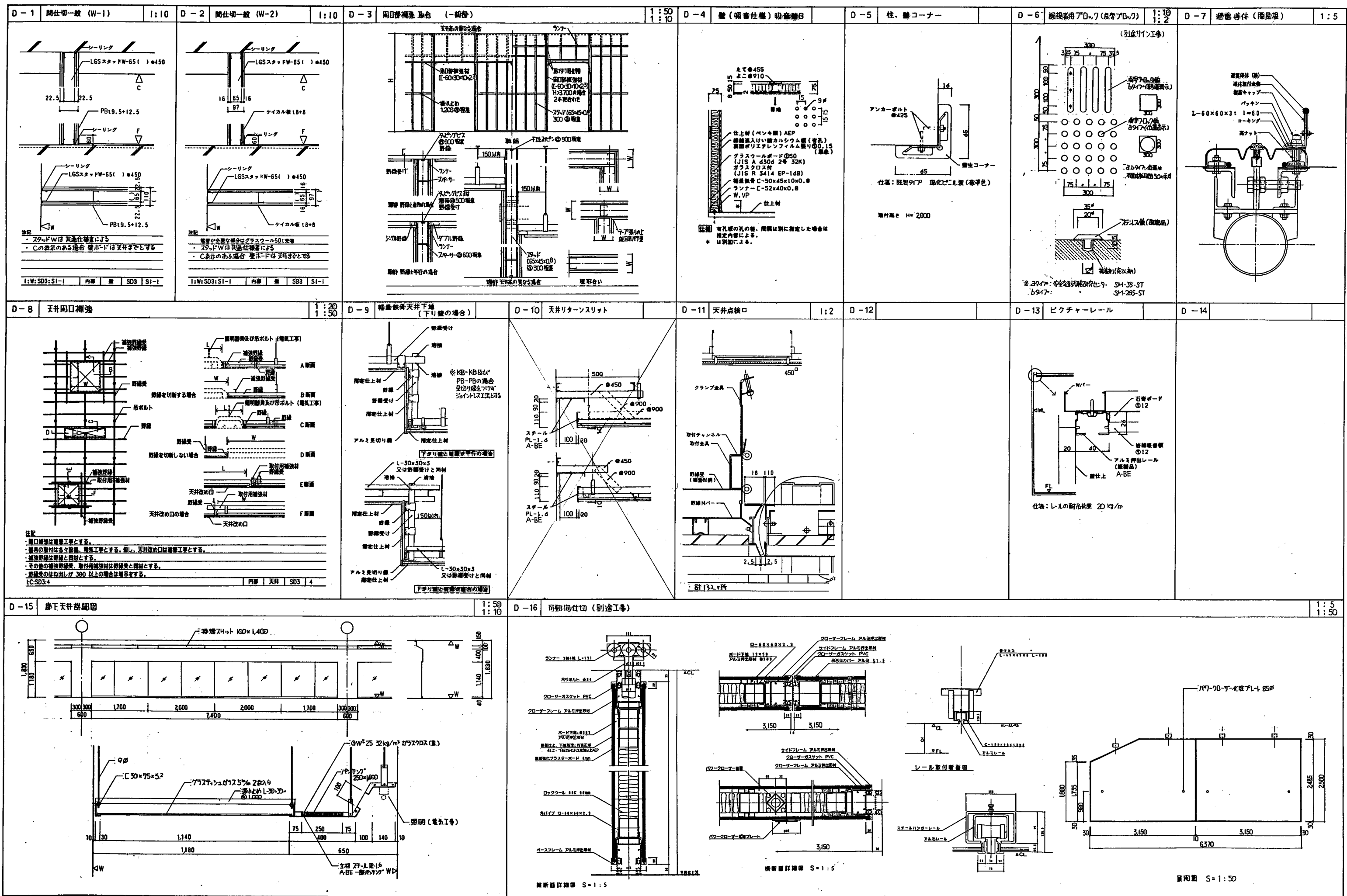
S=1:300

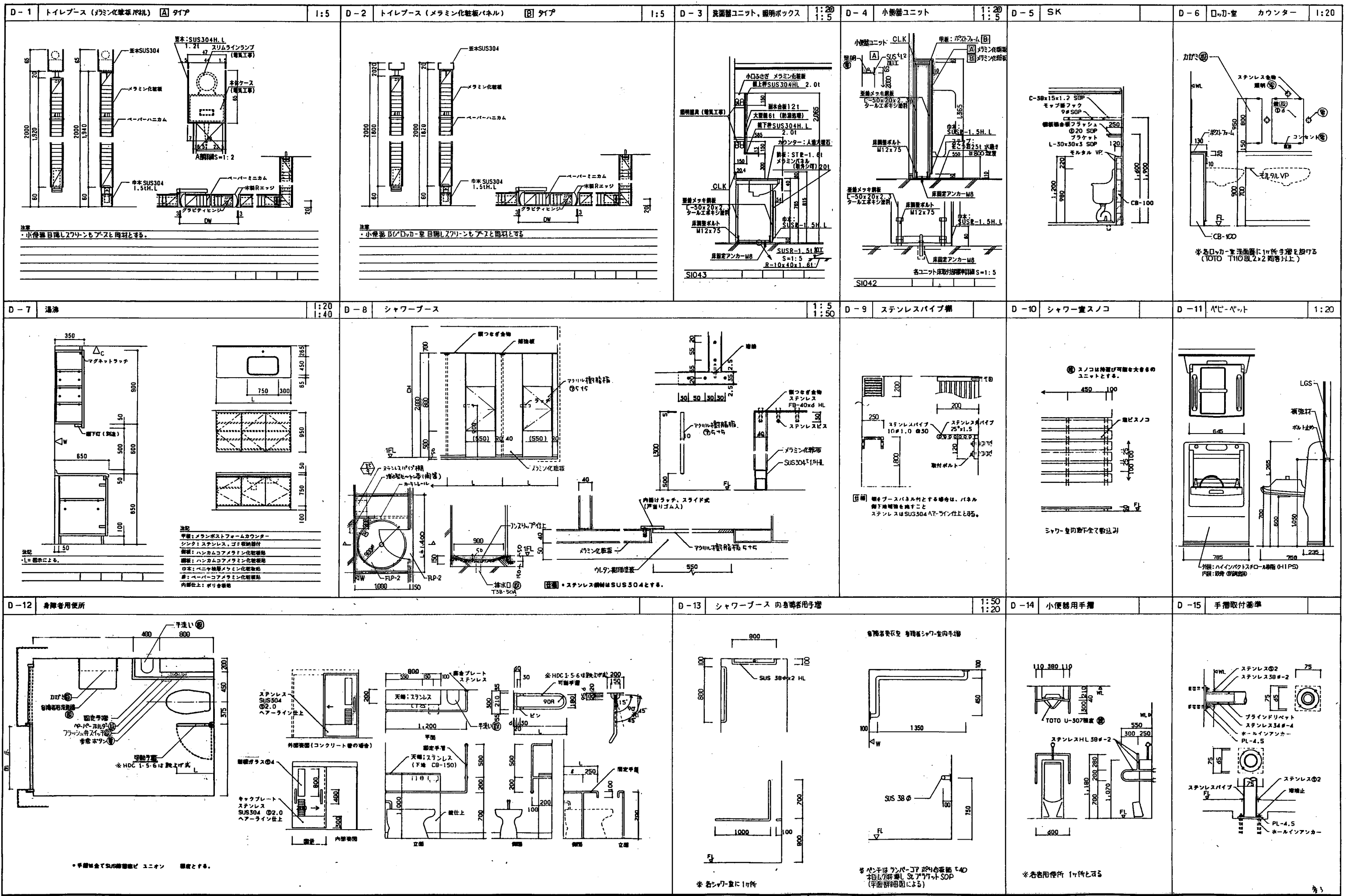
104072

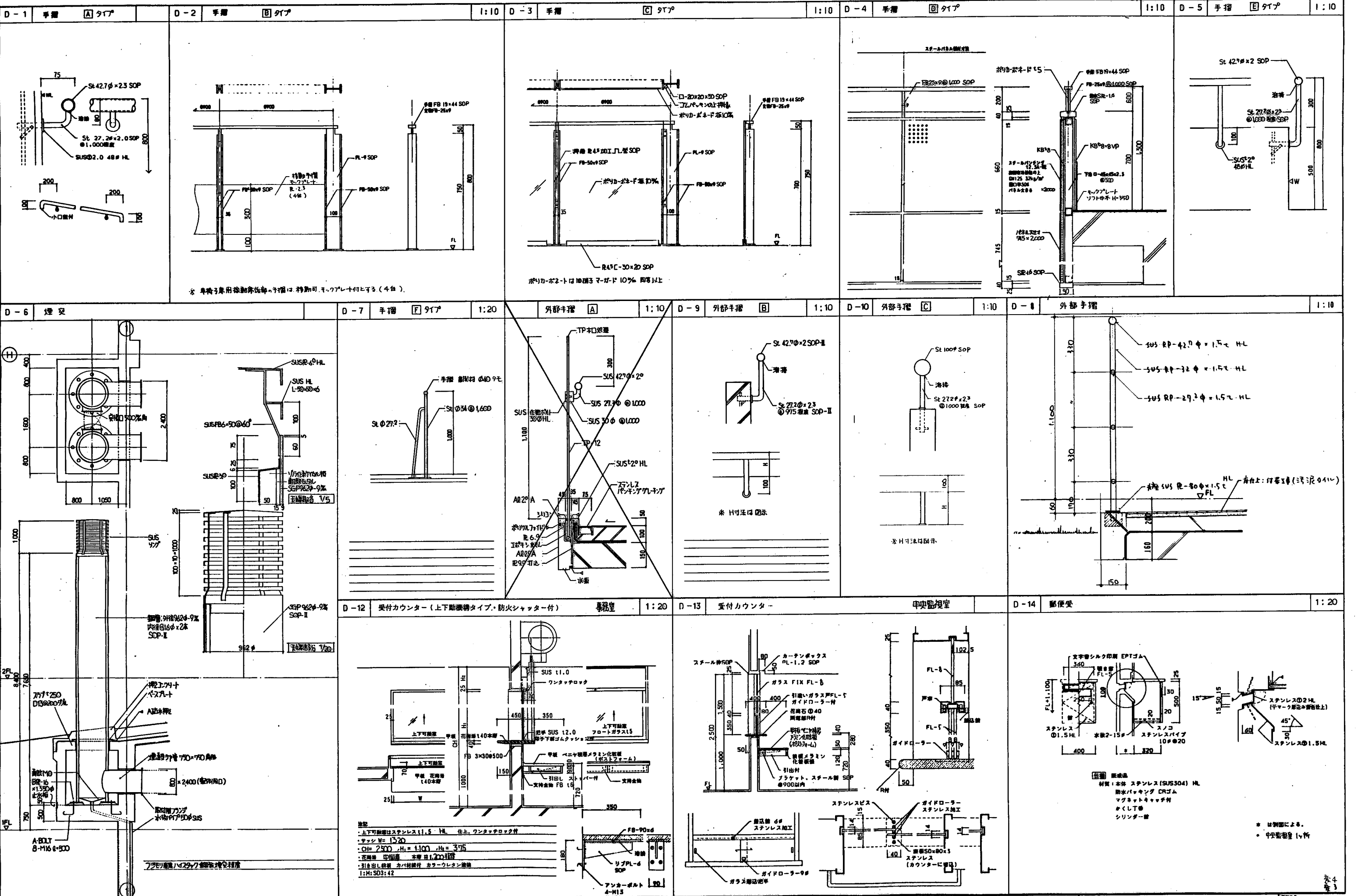


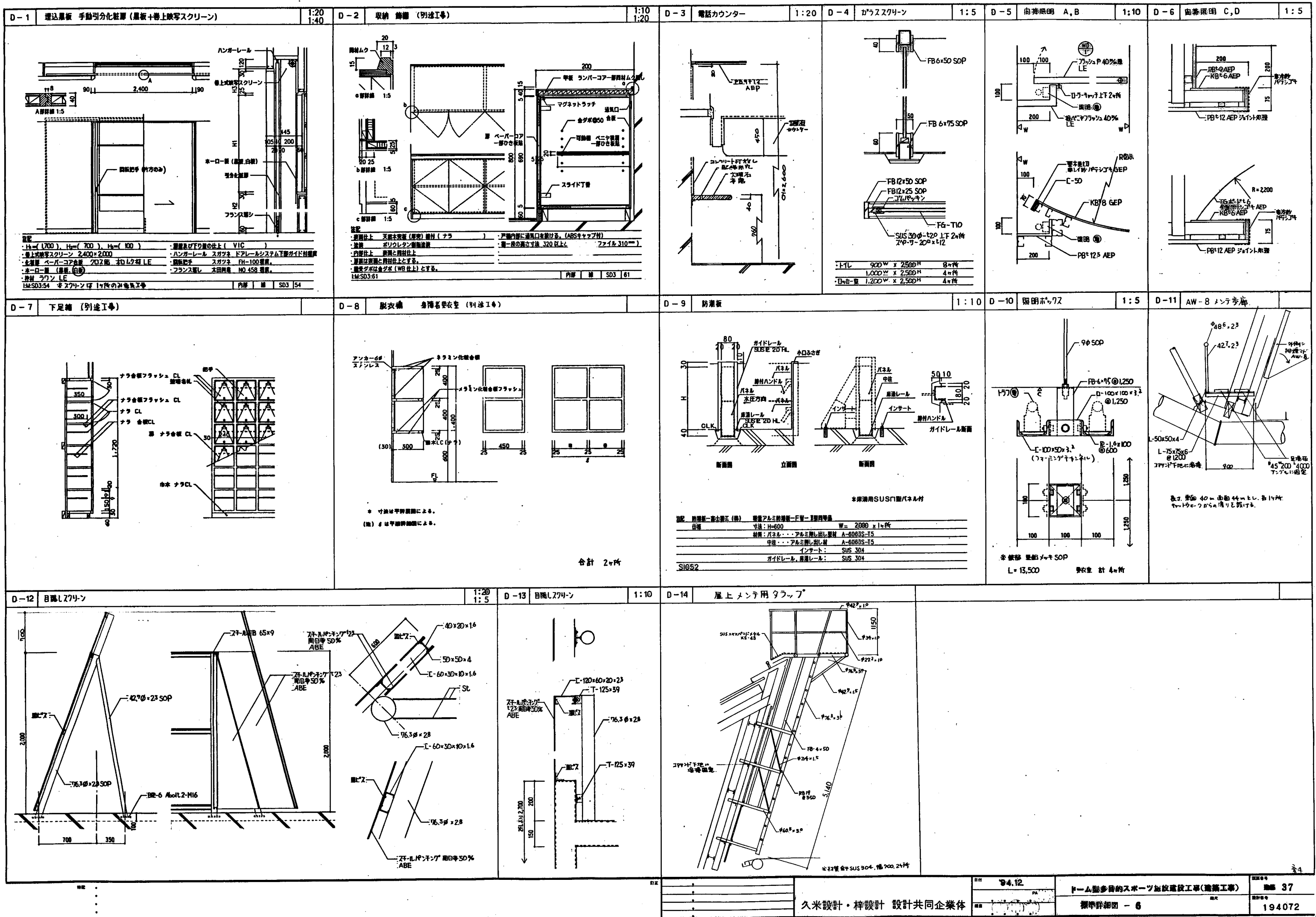
凡例	付上げ
(A)	
(B)	
(C)	F7P-1
(D)	F7P-2
(E)	F7P-3
(F)	VS-1
(G)	VS-2
(H)	VT
(I)	コルクタイル
(J)	フローリング
(K)	
(L)	入工費 -1 (別途工費)
(M)	入工費 -2
(N)	入工費 -3
(O)	RC 壁・
(P)	断熱性発布断水
---	点字ブロック (別途工費)
■	断熱製化粧マンホール 600 ^H
●	断熱製マンホール 600φ
○	上部ピクチャーレール

		日付 '94.12	ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)	図面番号 規格 33
		PA 67		
	久米設計・梓設計 設計共同企業体	数量 (蔵)車庫	標準詳細図 - 2	設計者 194072









194072

D-1 AW-1,2

※ 樹脂パッキン標準タイプ

D-2

D-3 AW-7

D-4 AW-10,11

D-5 AG 1:5

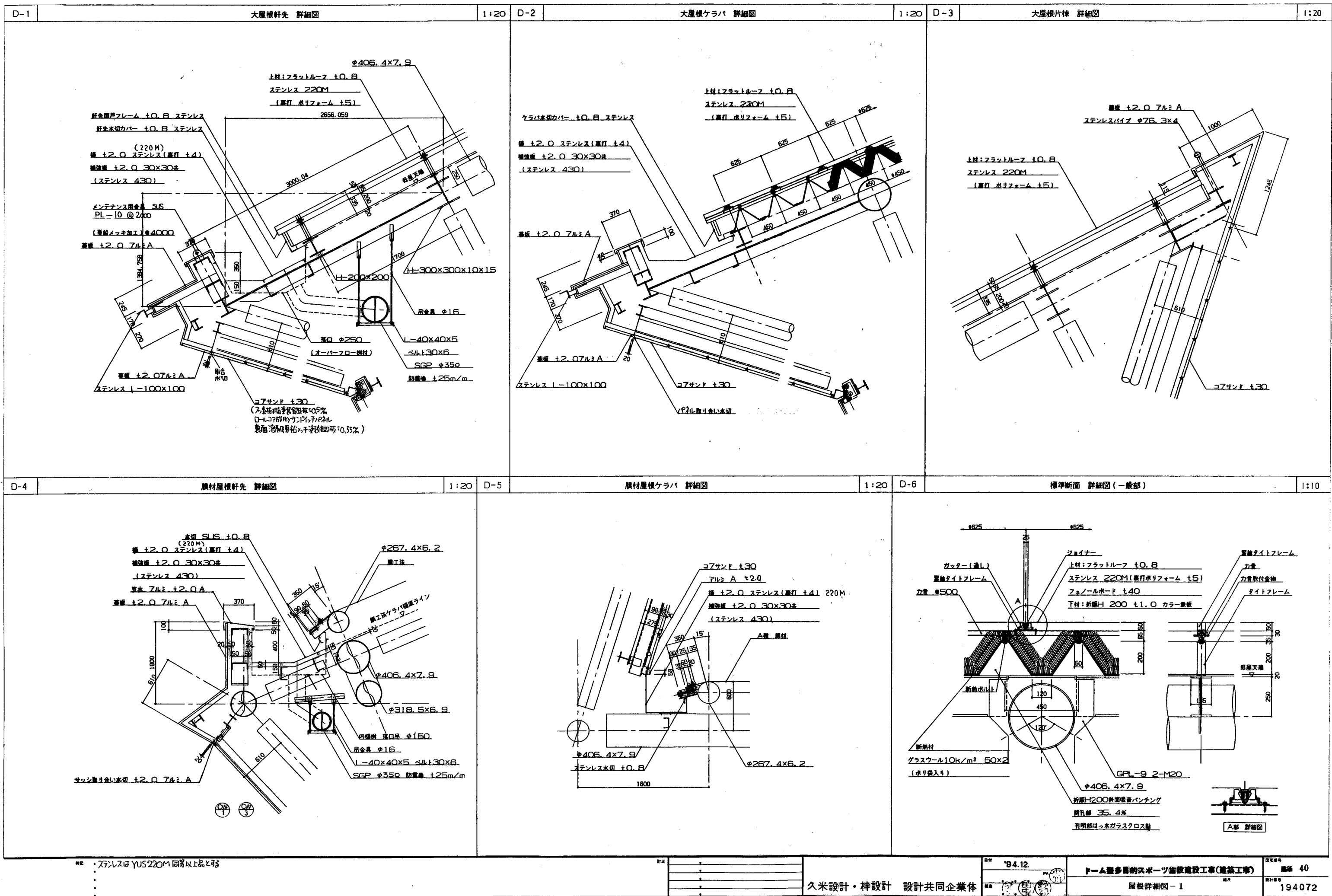
注記
 ・防鳥網は1.5φ、16φ タチヨコ SUS メッシュとする。
 ・サッシのW,H,Dは図面による。
 ・設備ダクトとの取合いアングルは電気工事。

O:W:SD3:2-1	外部	部	SD3	2-1
-------------	----	---	-----	-----

D-6

D-7

D-8 AW-3



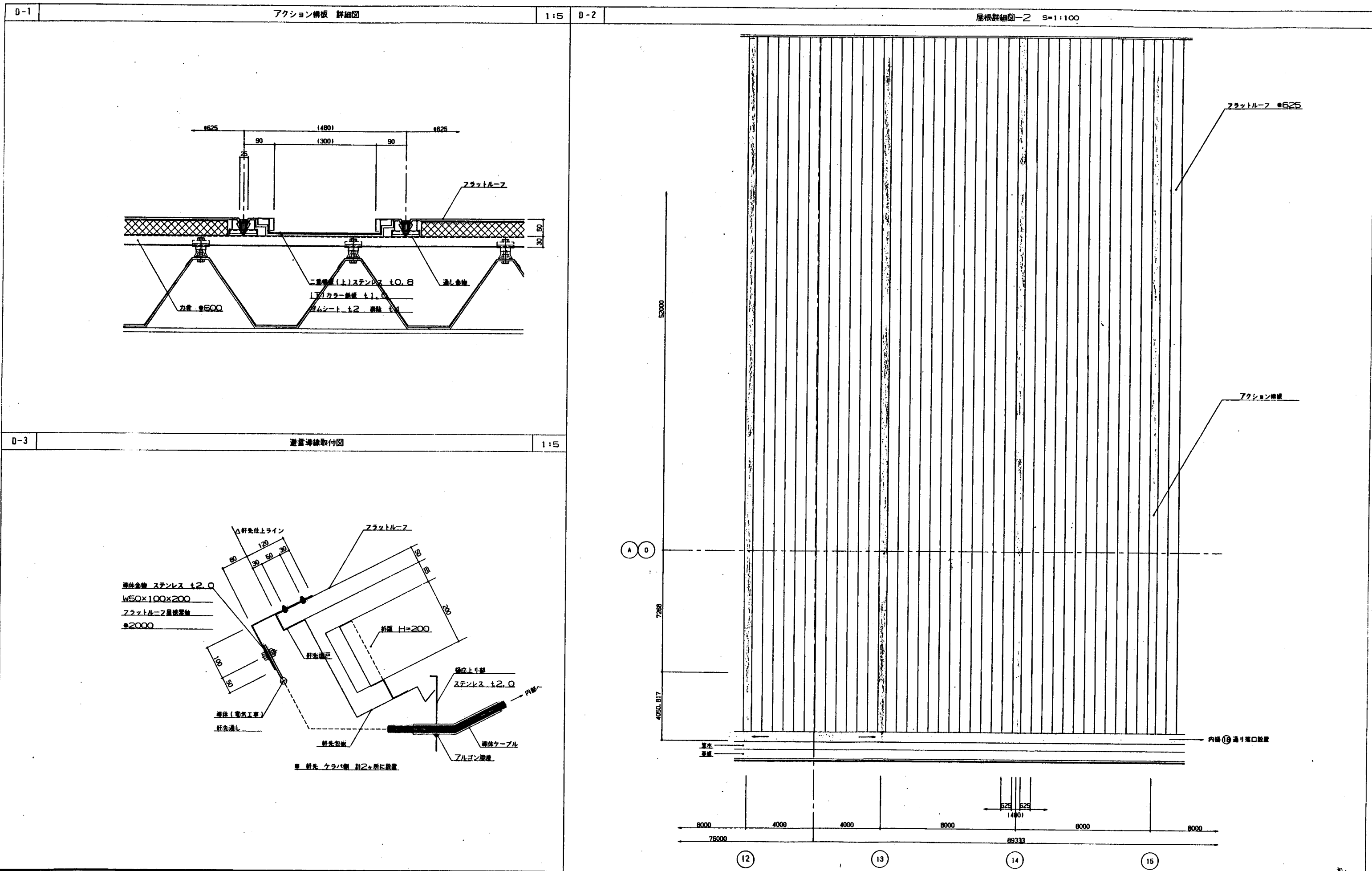
※ ステンレスは YUS220M 同等以上品とす

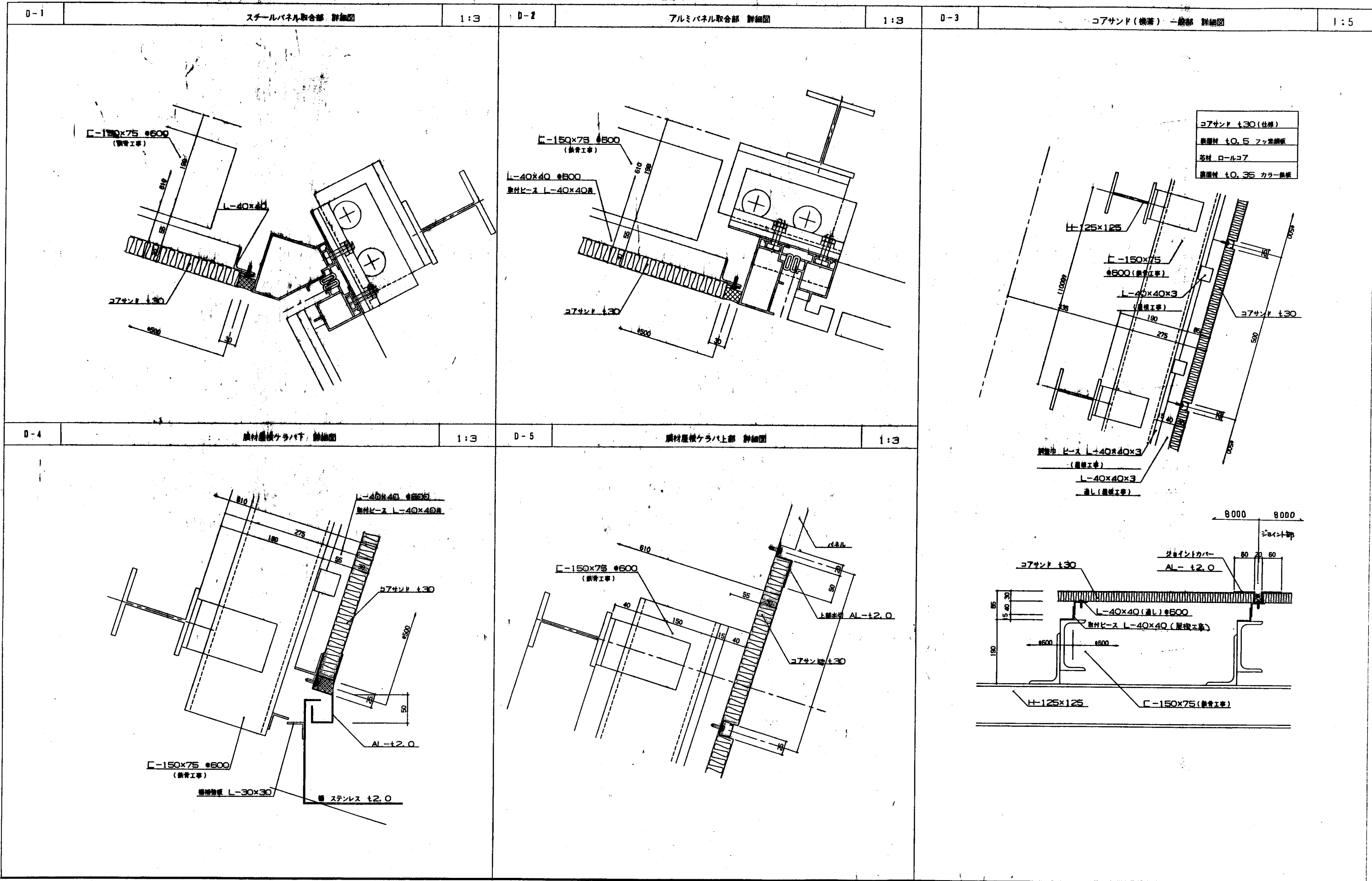
久米設計・梓設計 設計共同企業体

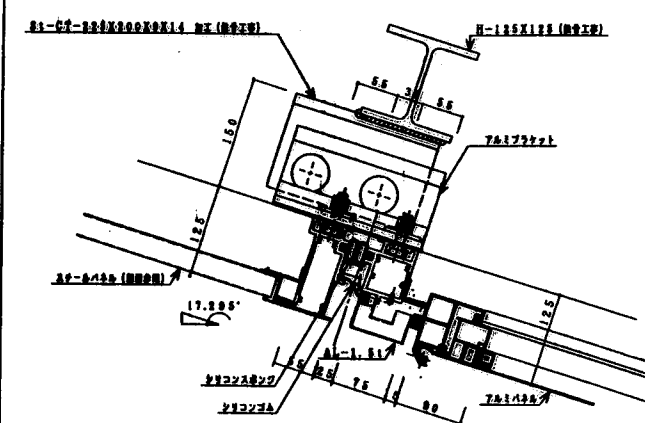
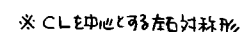
94.12

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)
屋根詳細図-1

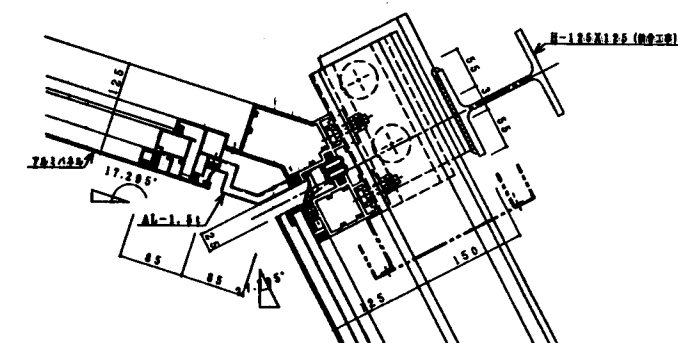
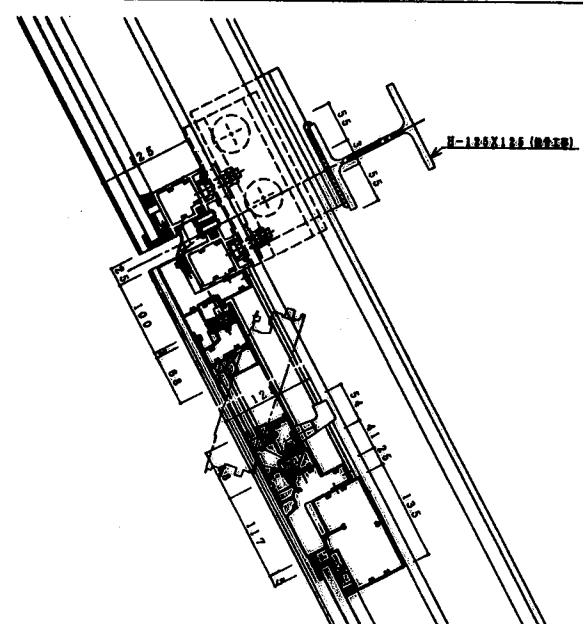
図面番号 40
194072

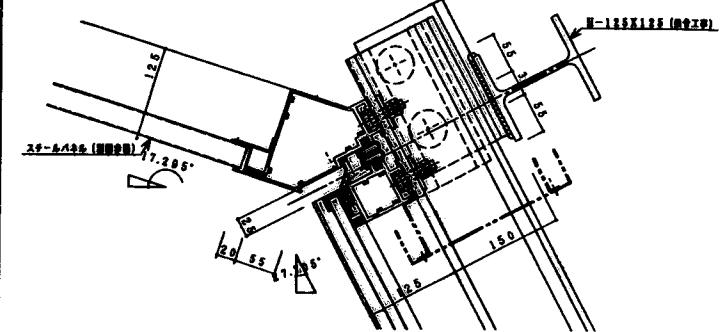
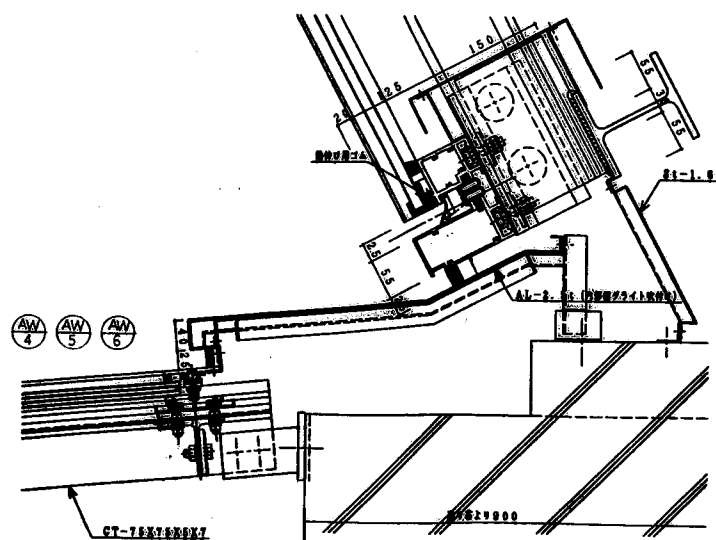
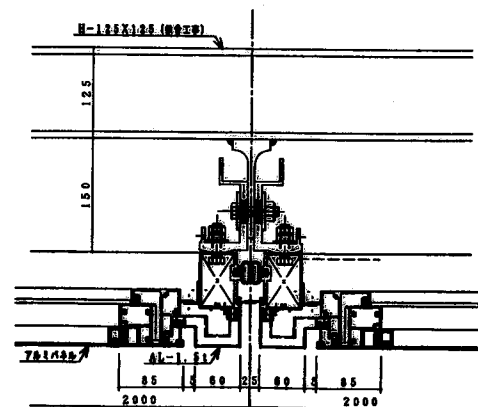


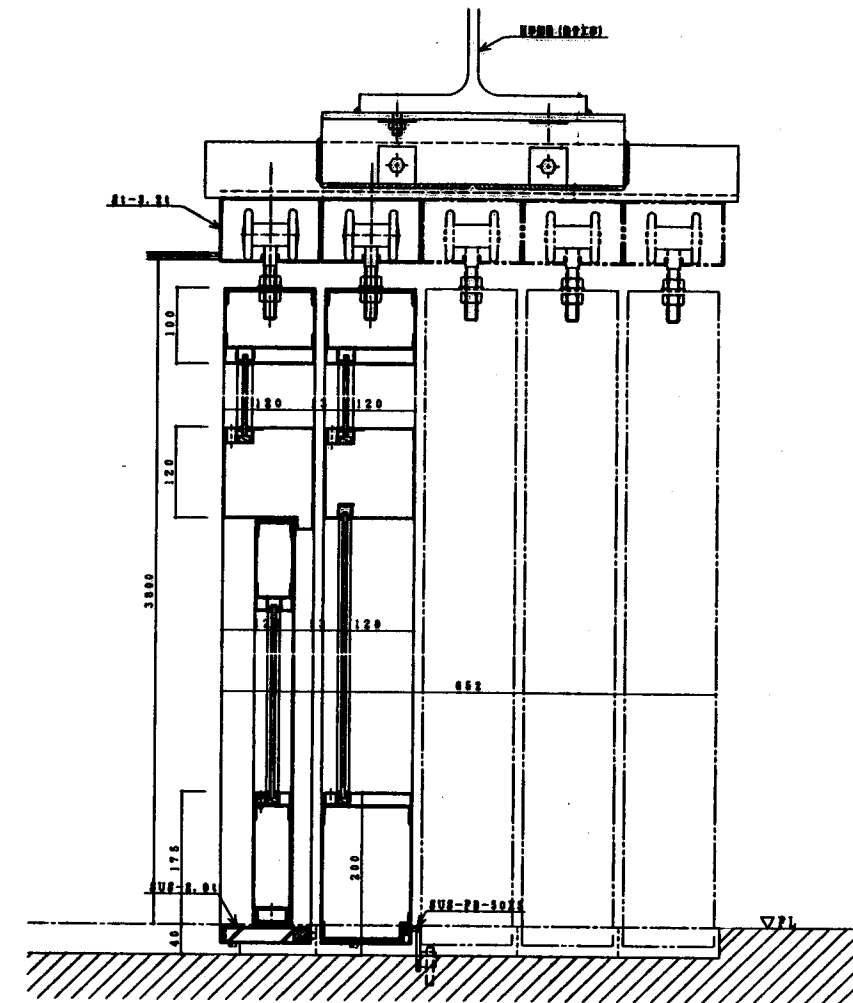
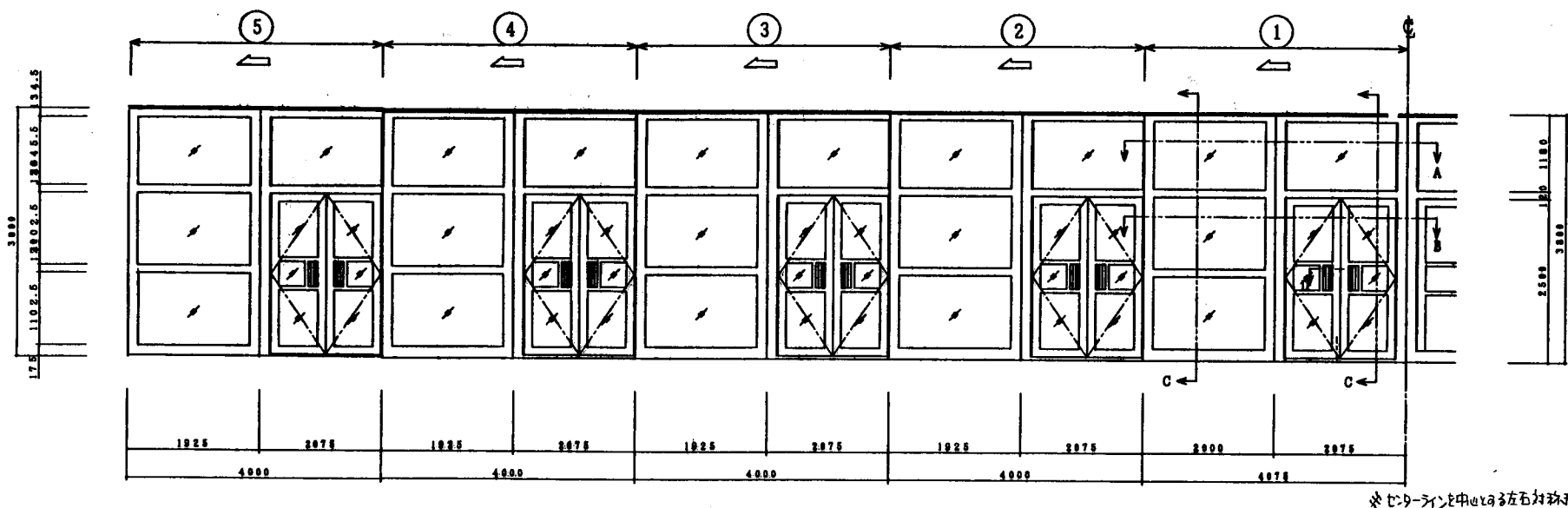




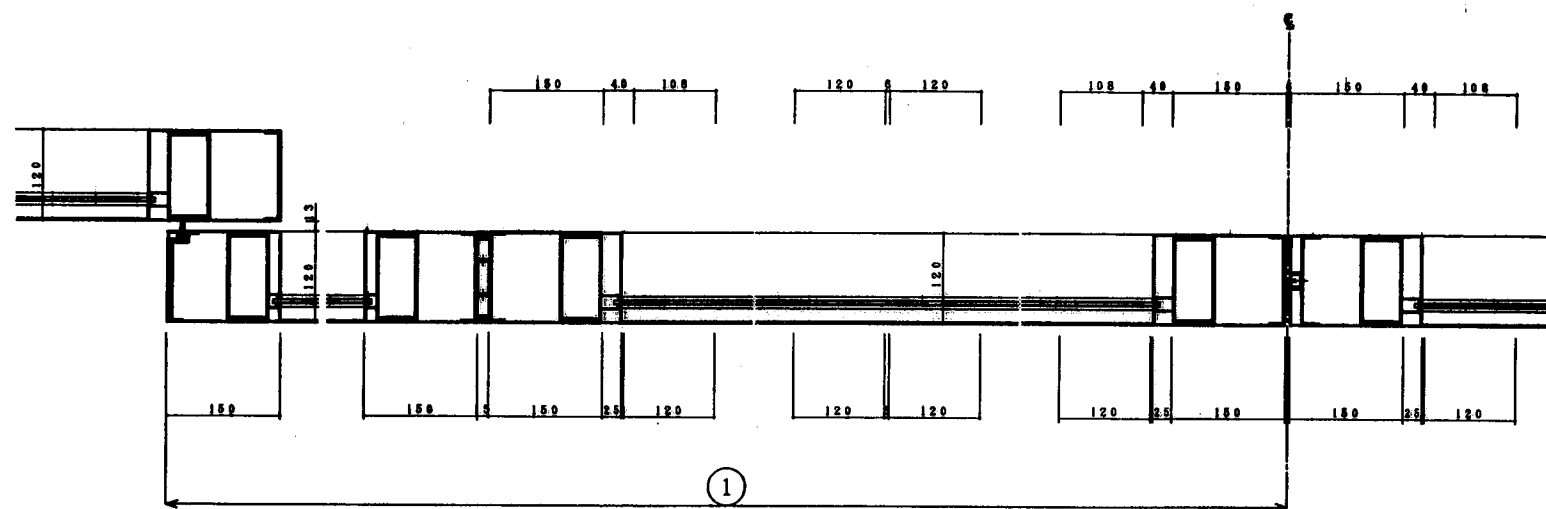
--	--



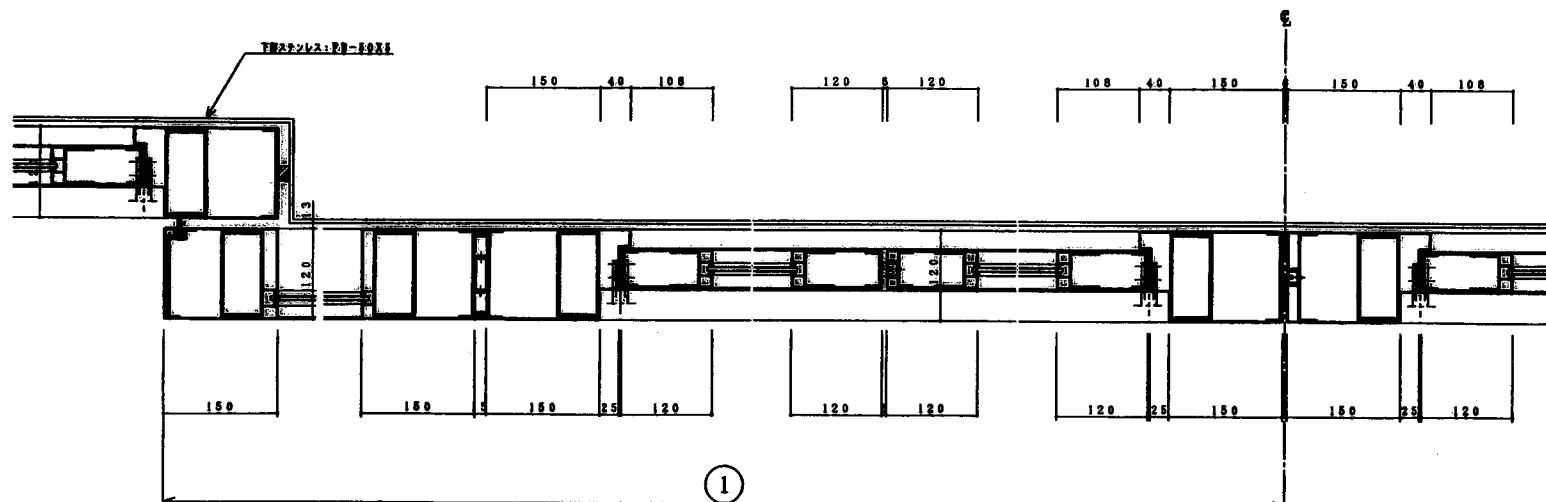




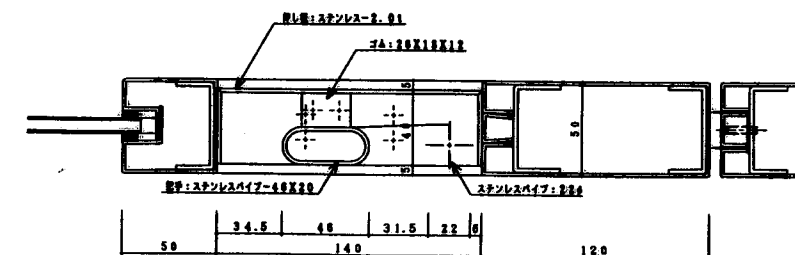
D-1	断面-A		1:5
-----	------	--	-----

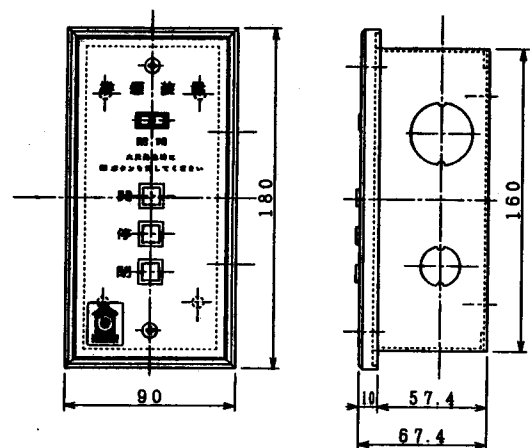


D-2	断面-B		1:5
-----	------	--	-----

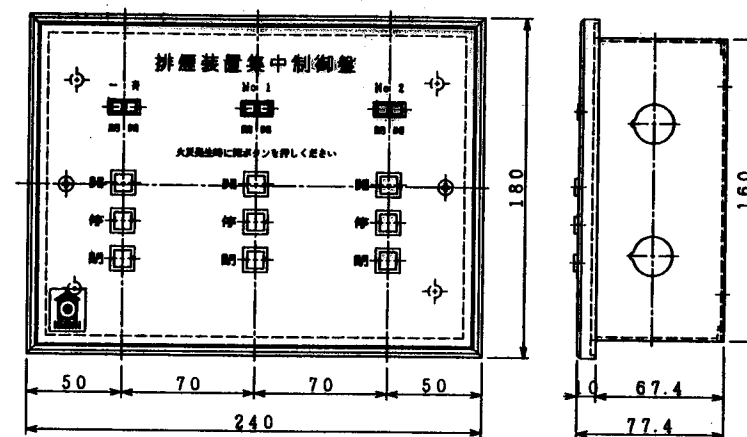


D-4	断面-D (扉開手及び押し板詳細)		1:5
-----	-------------------	--	-----

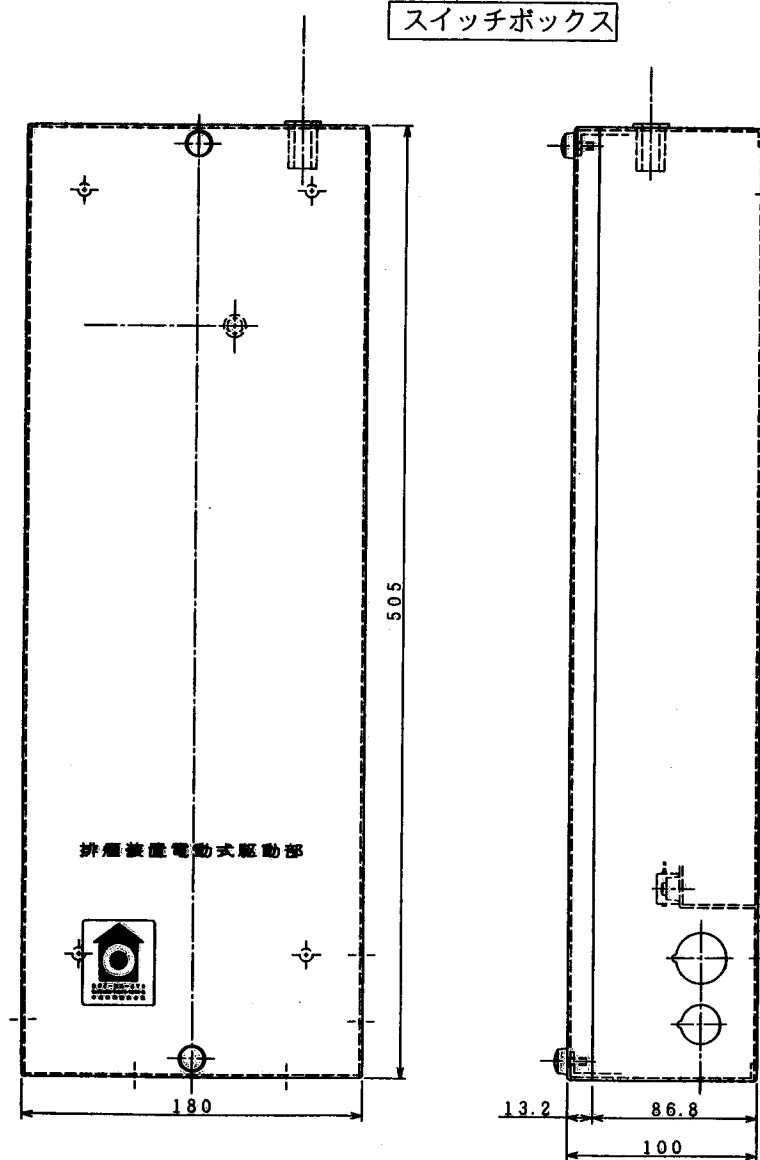




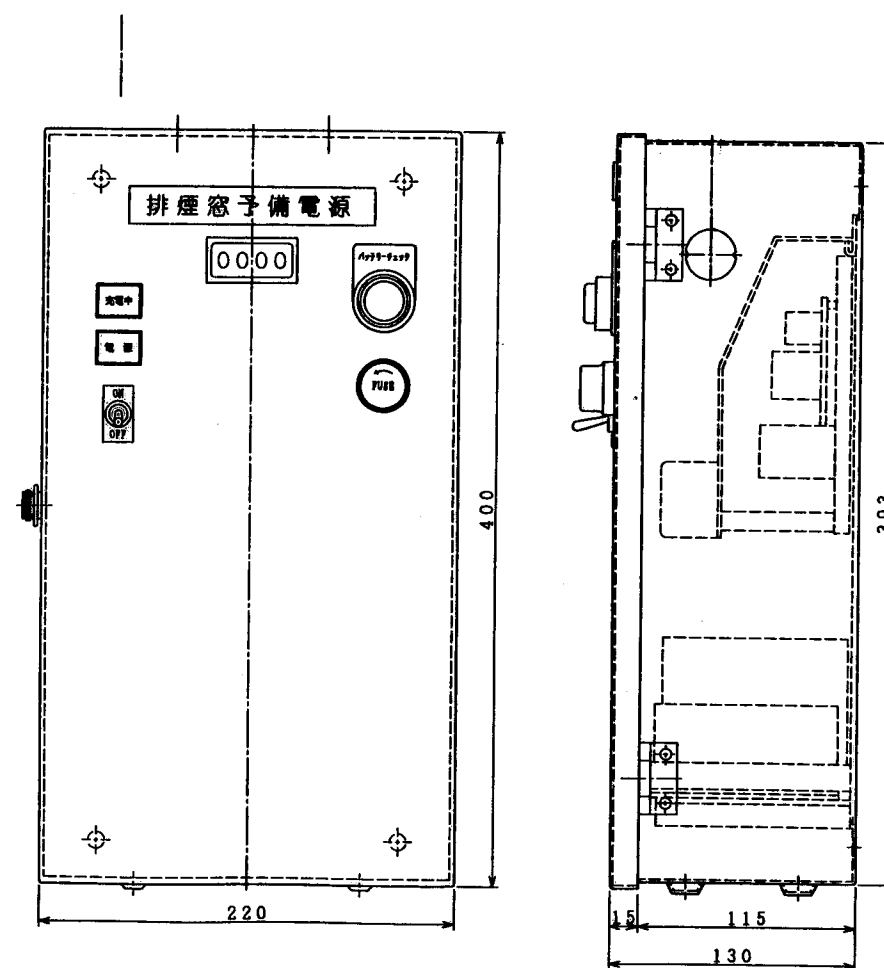
スイッチボックス



集中制御盤



電動駆動装置



予備電源

特記

訂正

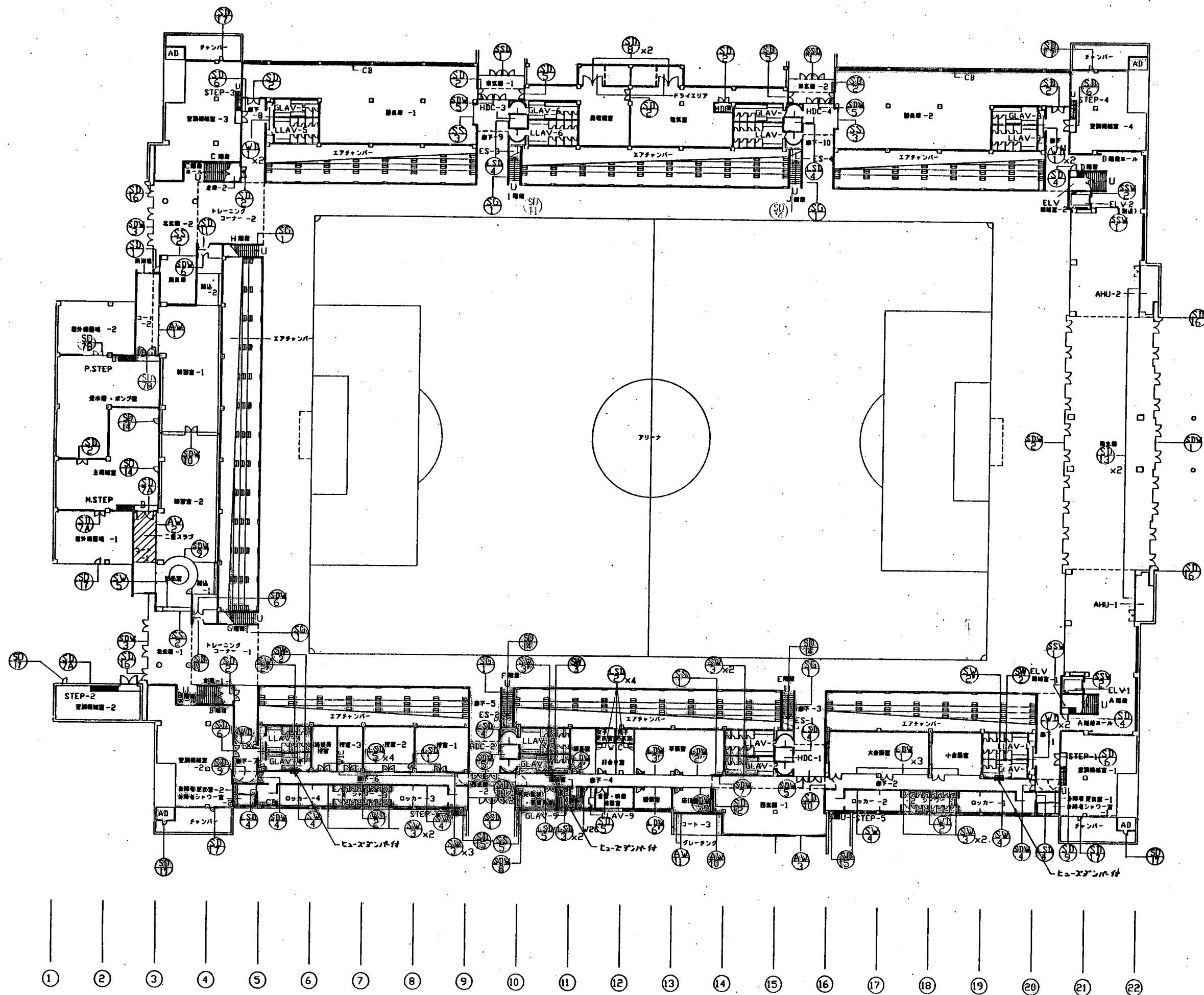
久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12
PA
194072

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

煙感システム図-2

図面番号
47
194072



P
 O
 N
 M
 K
 K
 J
 I
 H
 G
 F
 E
 D
 C
 B
 A

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒

久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12

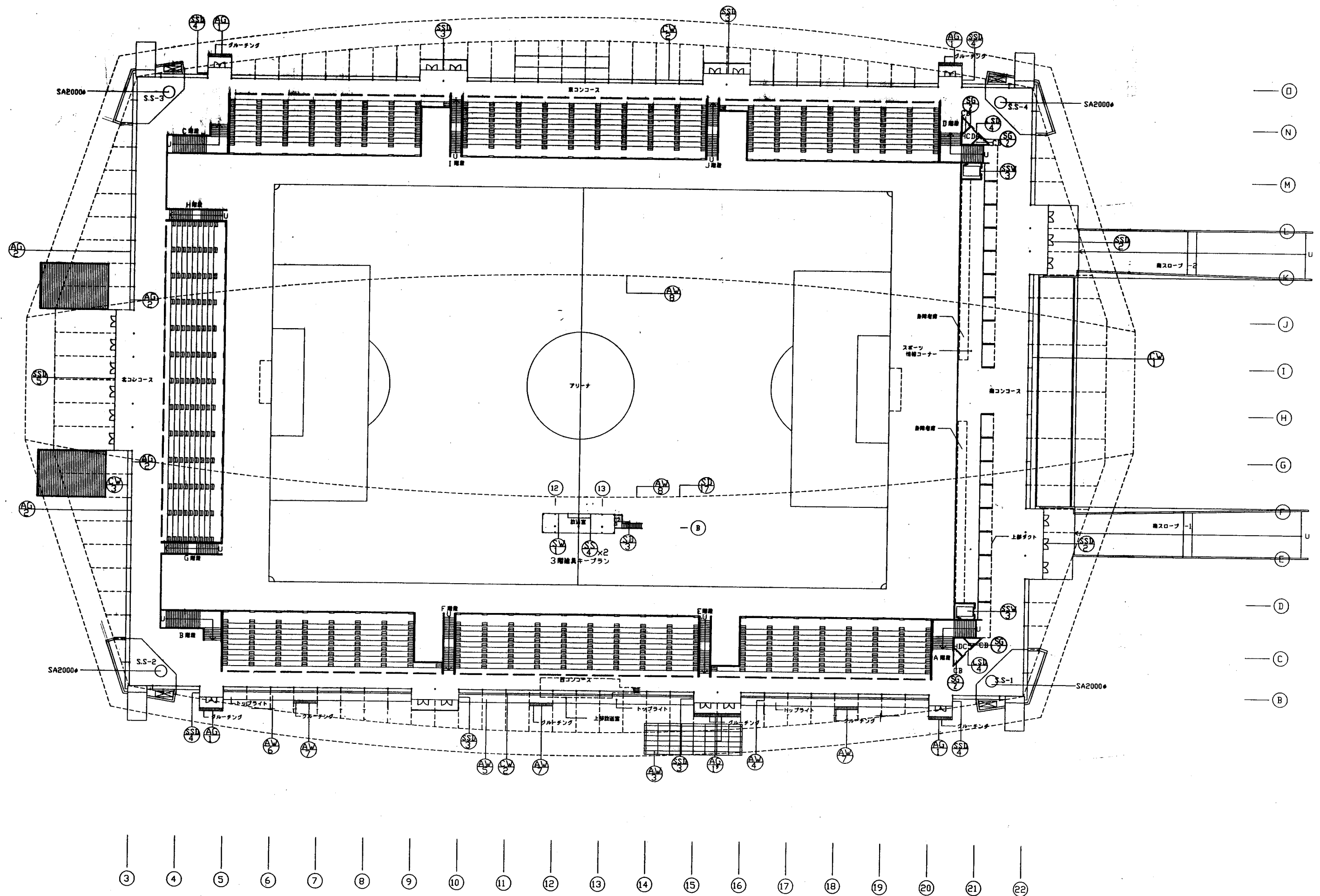
ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

48

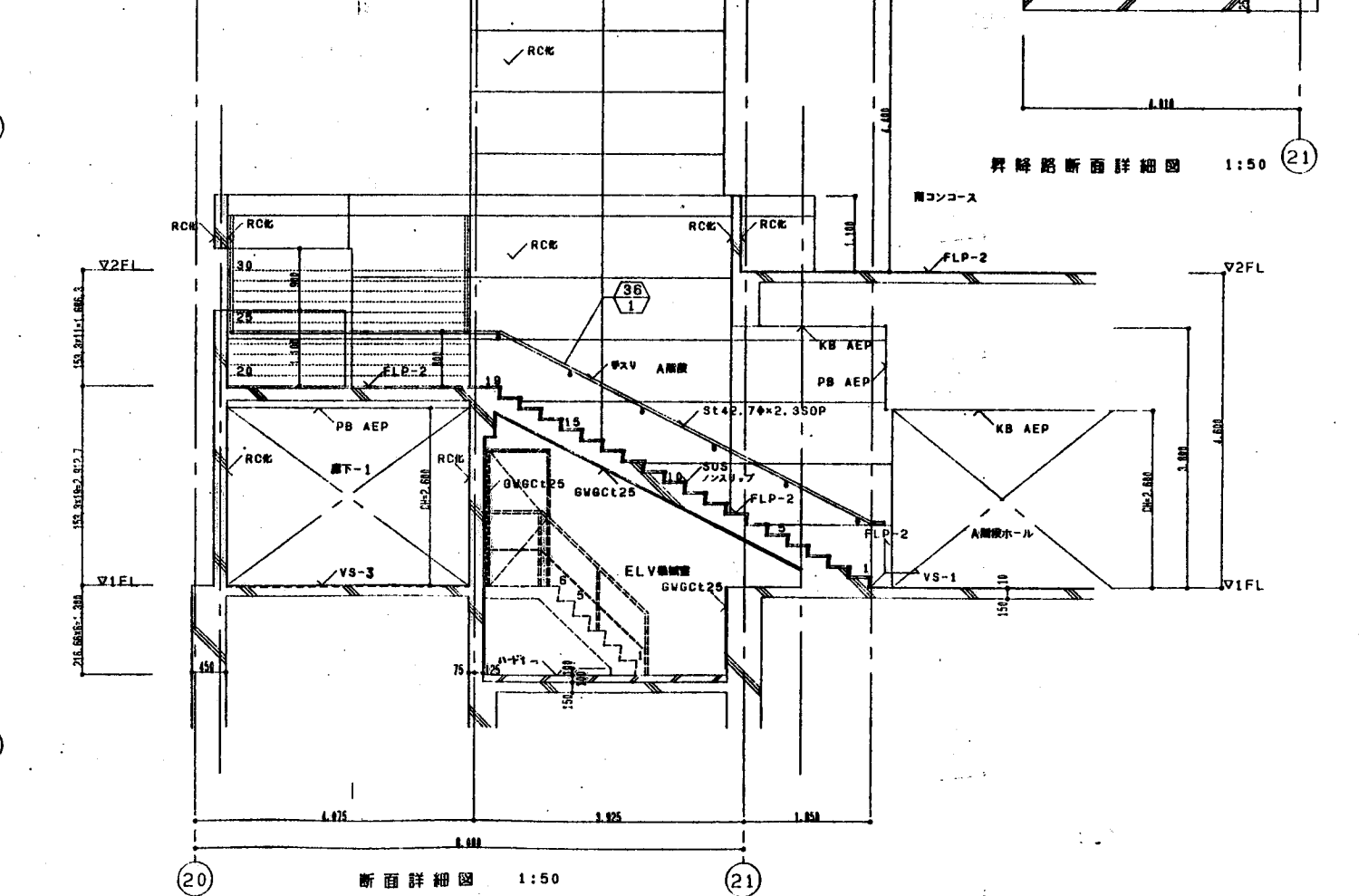
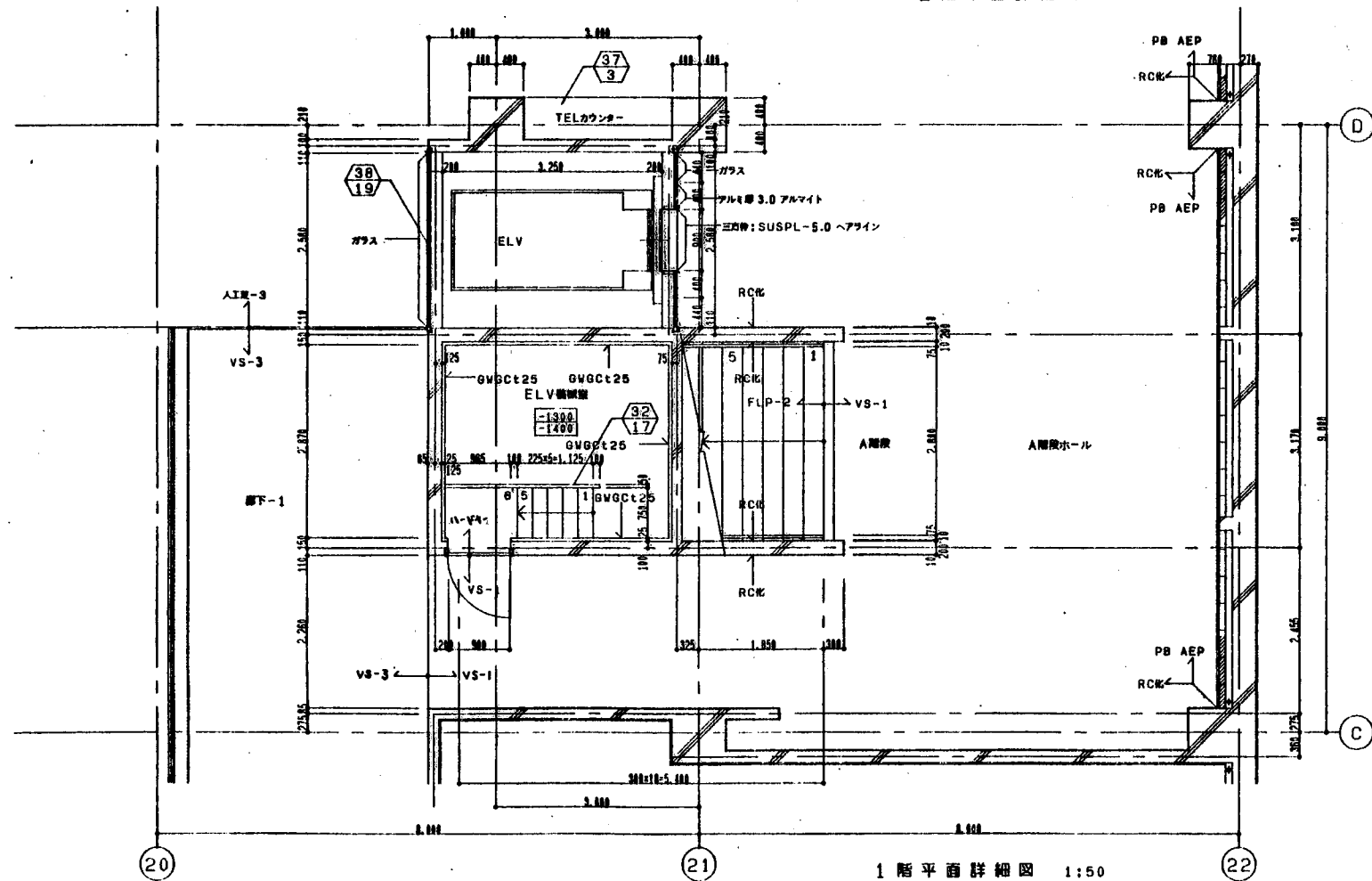
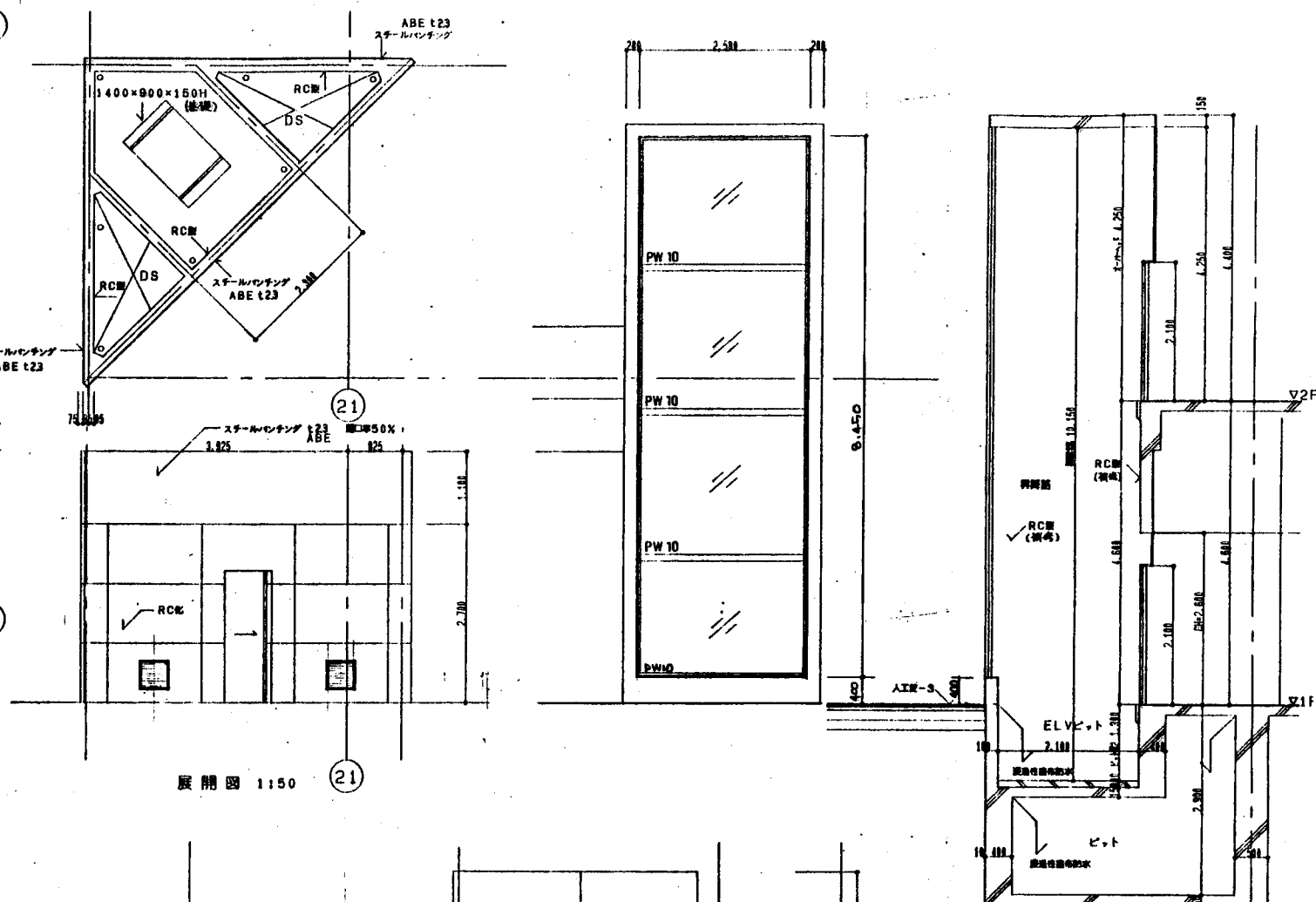
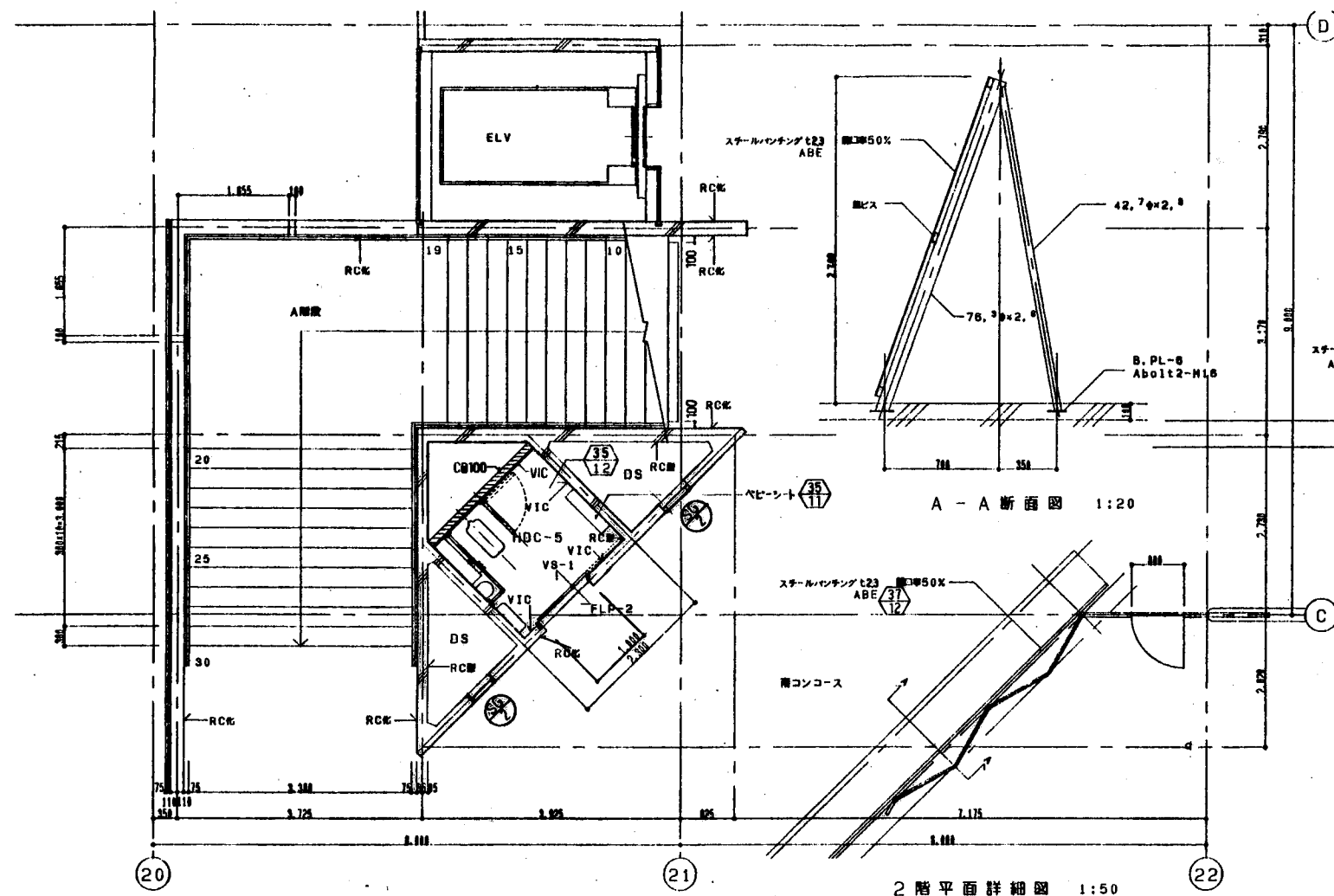
1階 体育カーブダン

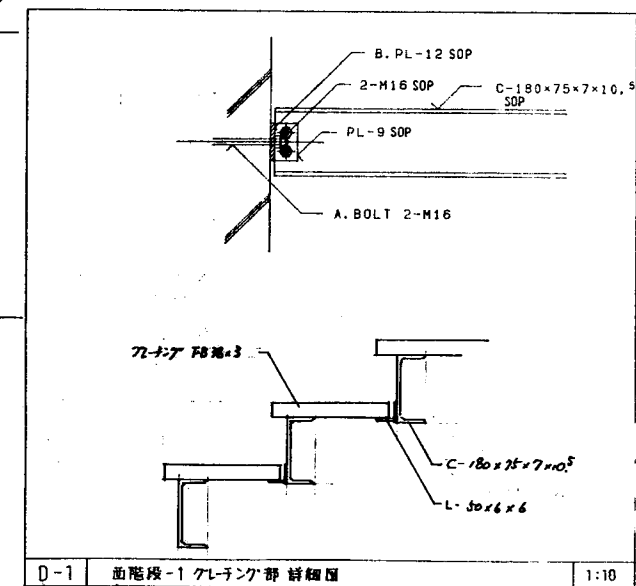
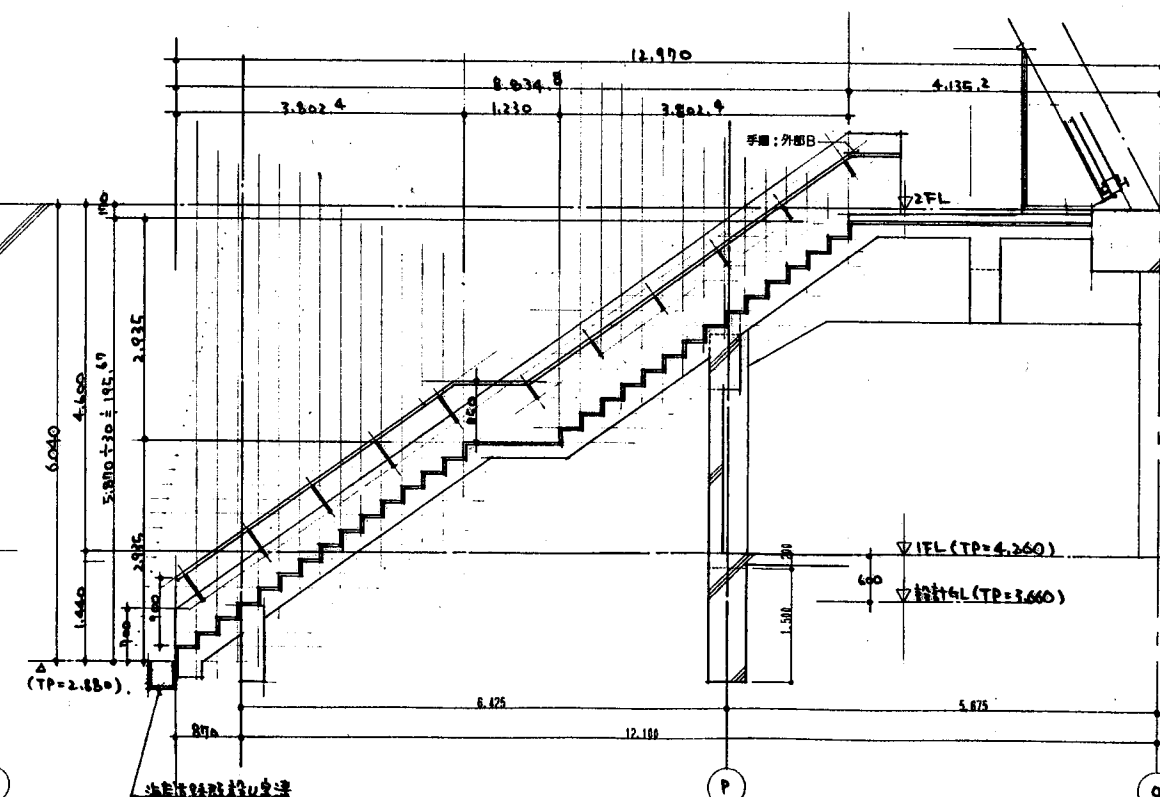
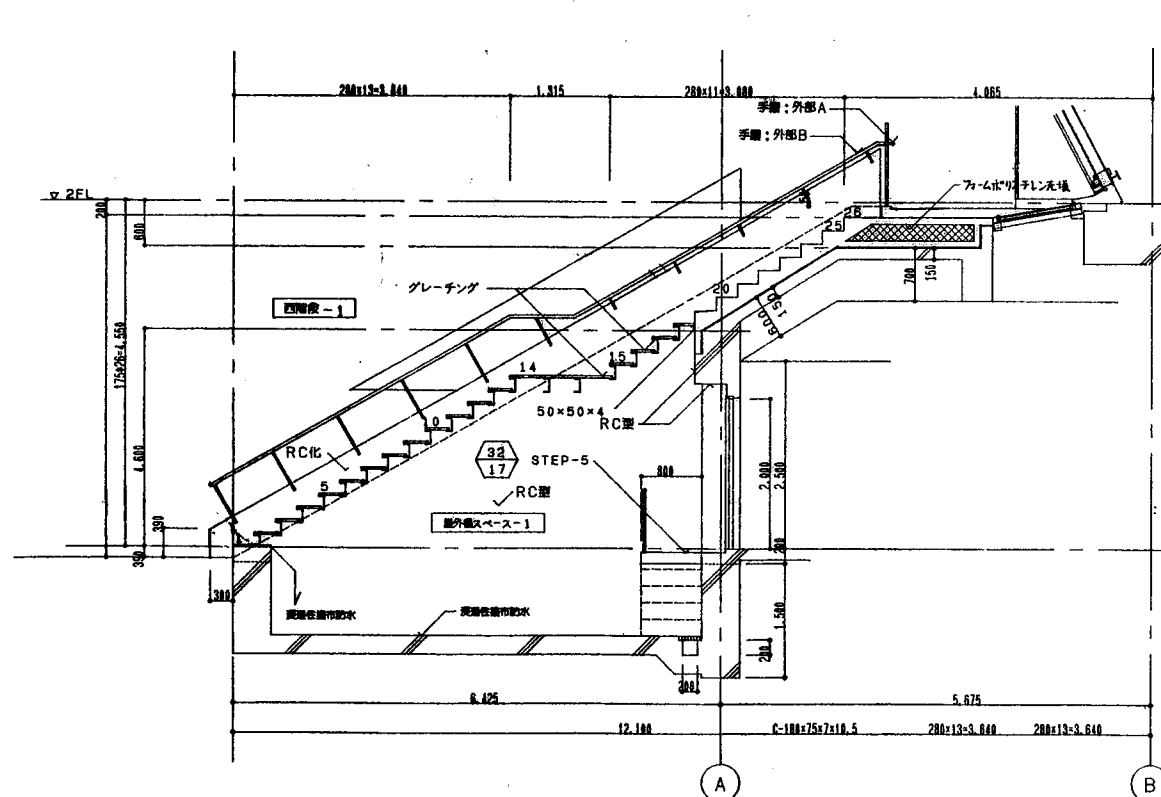
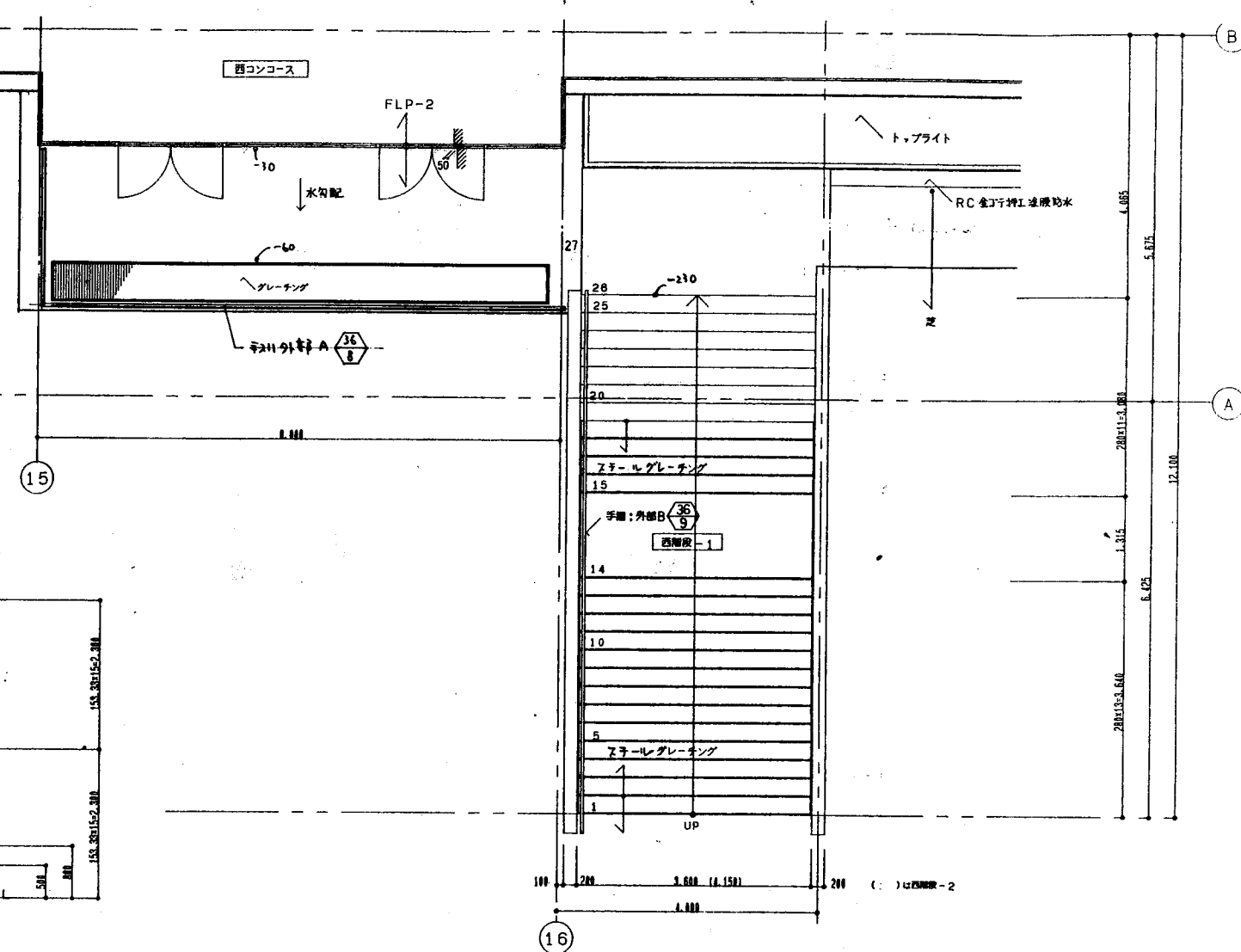
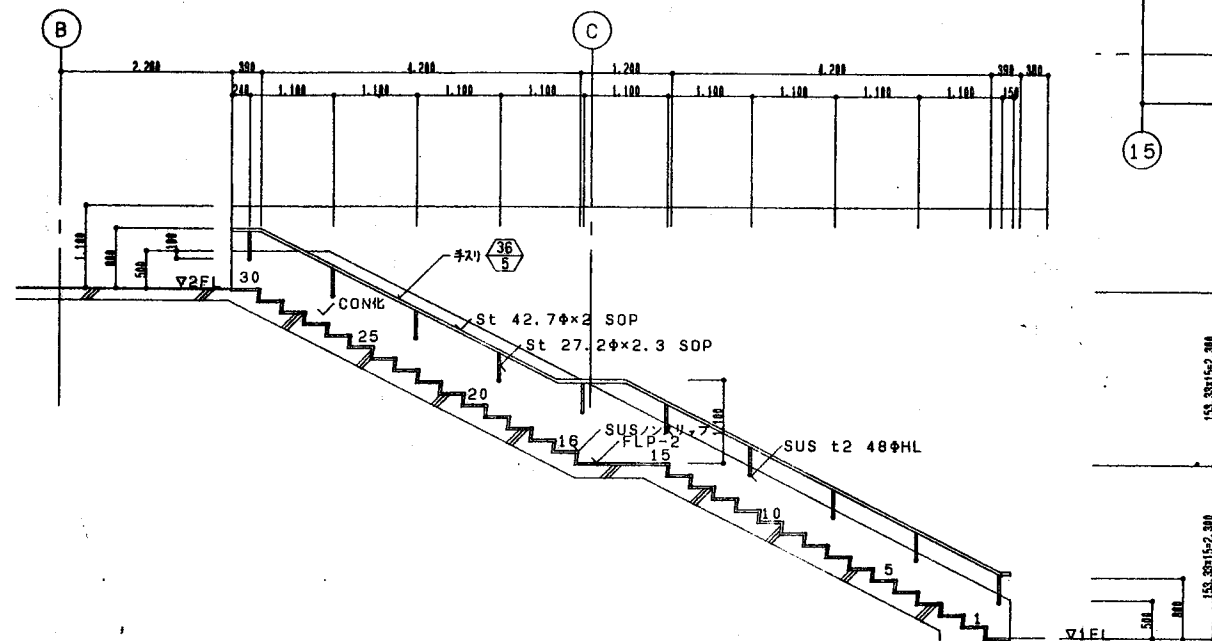
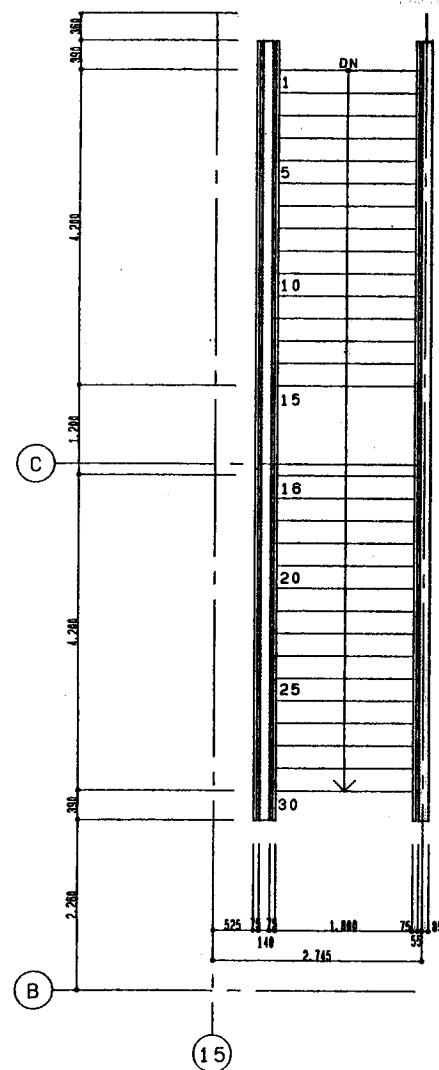
1300

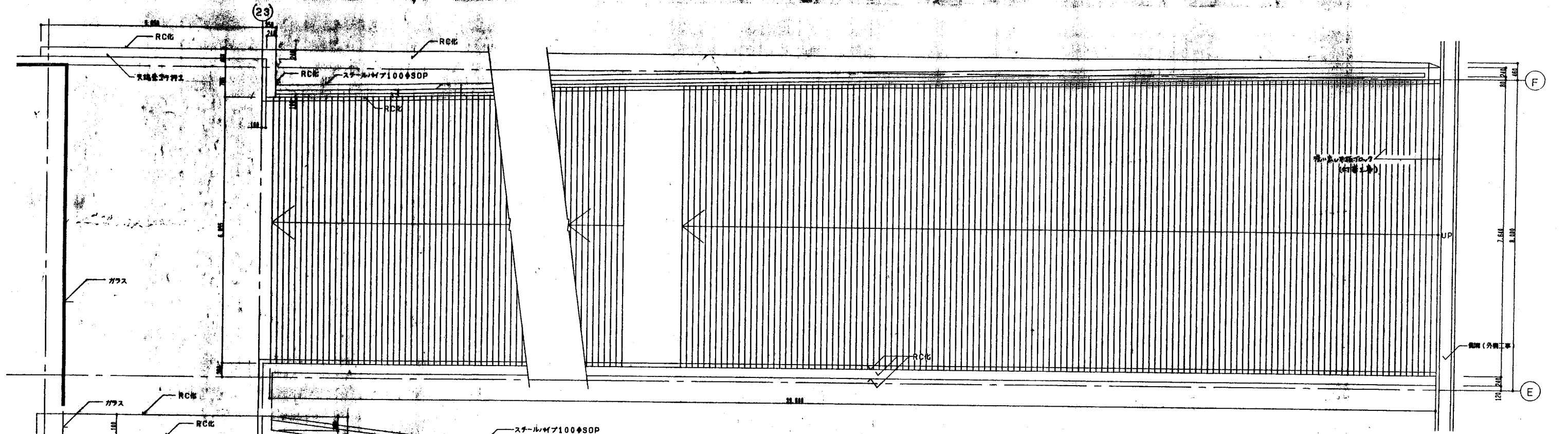
194072



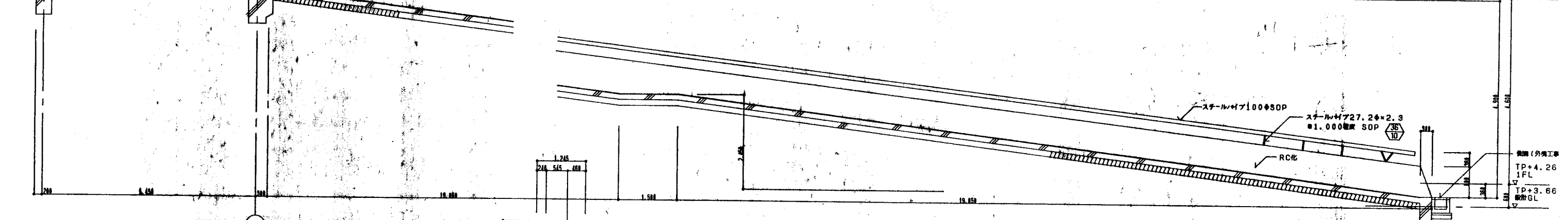
194072



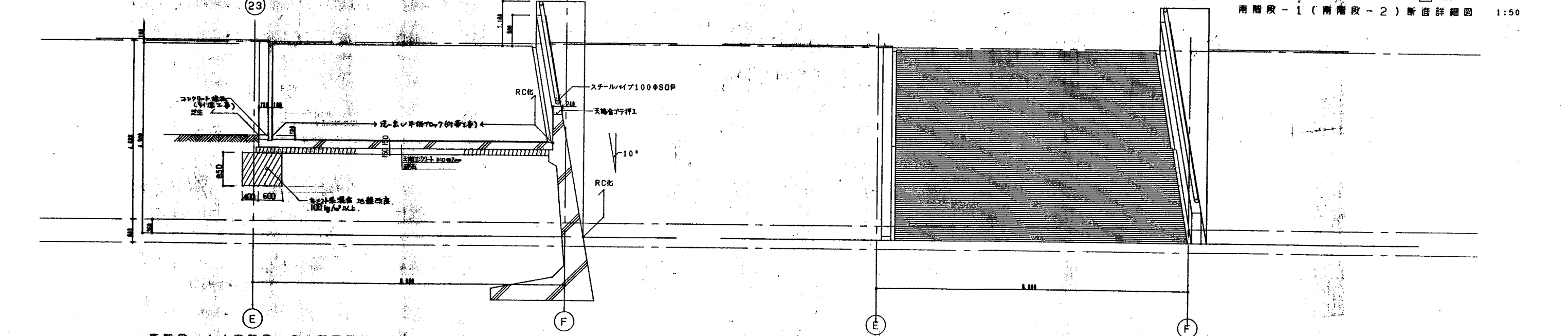




南階段 - 1 (南階段 - 2) 平面詳細図 1:50
 TP+8.86
 2FL

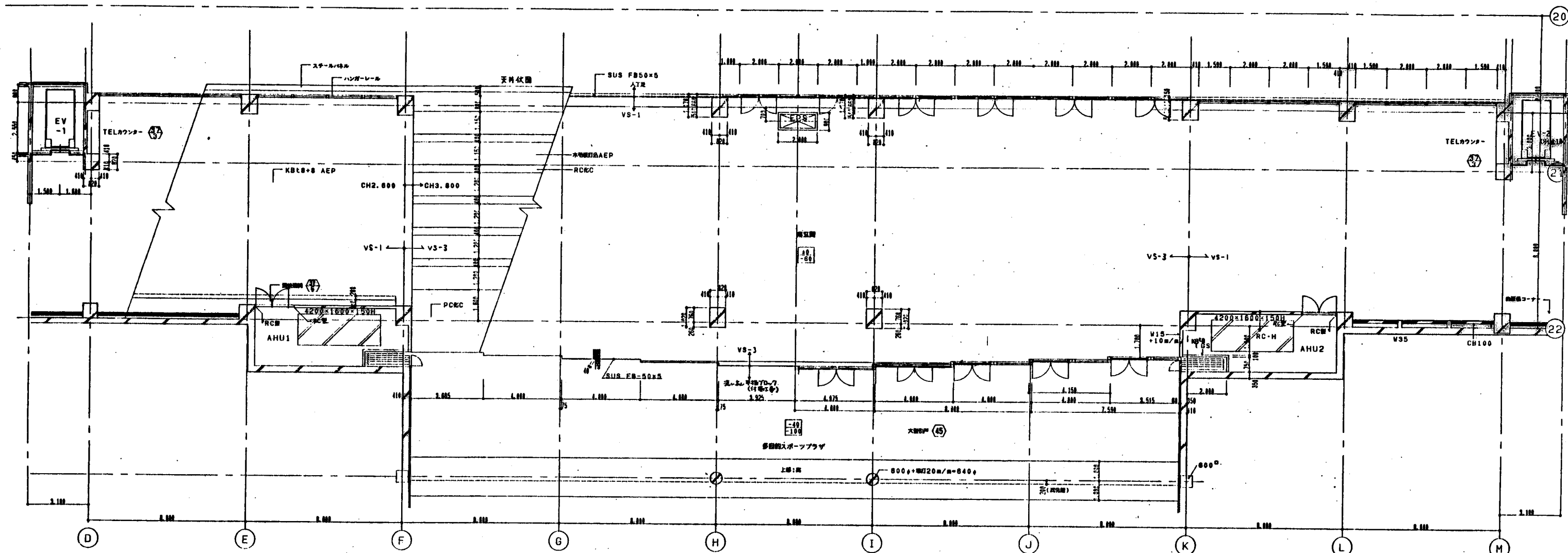


南階段 - 1 (南階段 - 2) 断面詳細図 1:50
 TP+4.26
 1FL
 TP+3.66
 GL

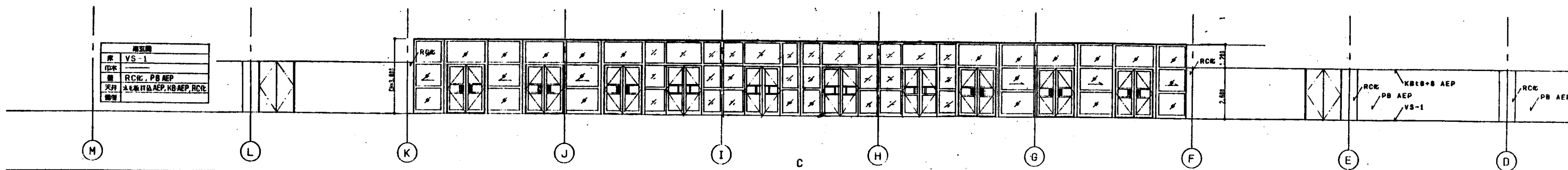
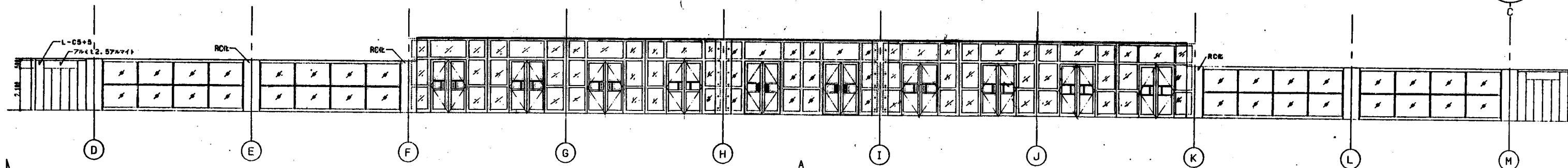


南階段 - 1 (南階段 - 2) 断面詳細図 1:50

南階段 - 1 (南階段 - 2) 断面詳細図 1:50

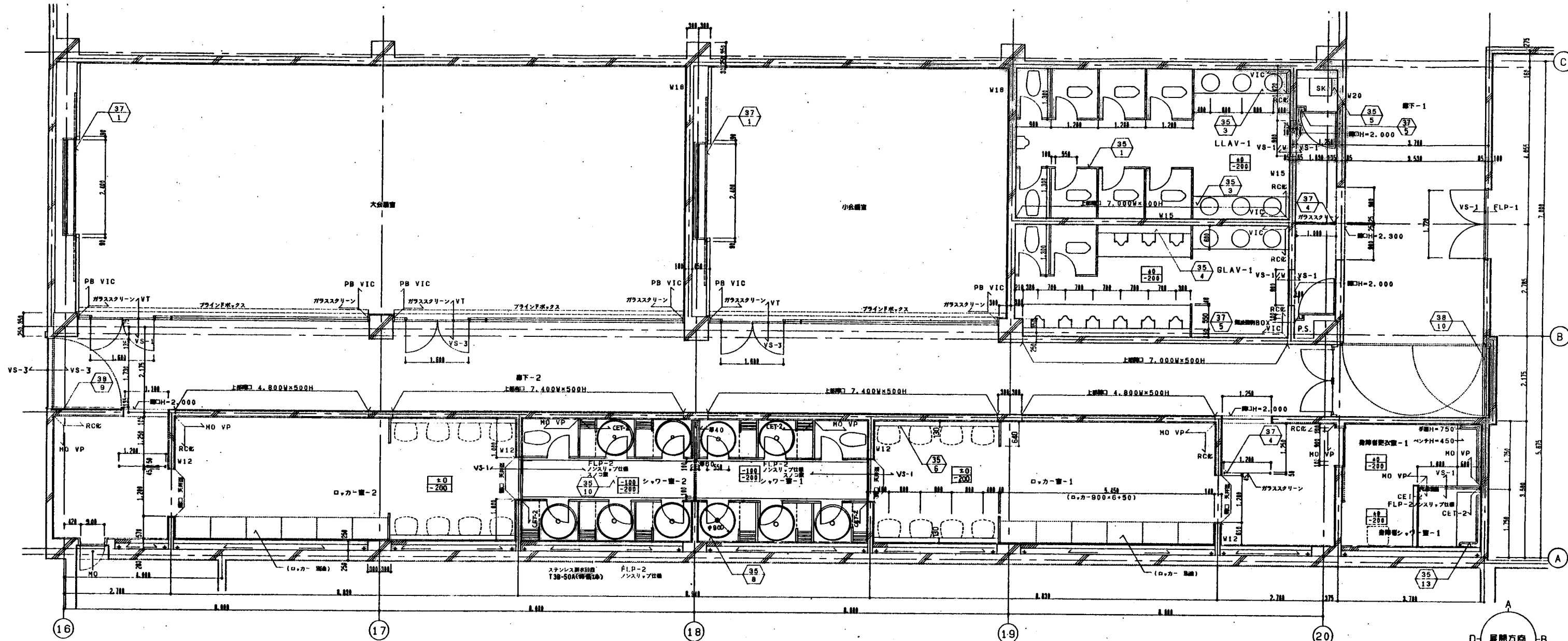


平面詳細図 1:100



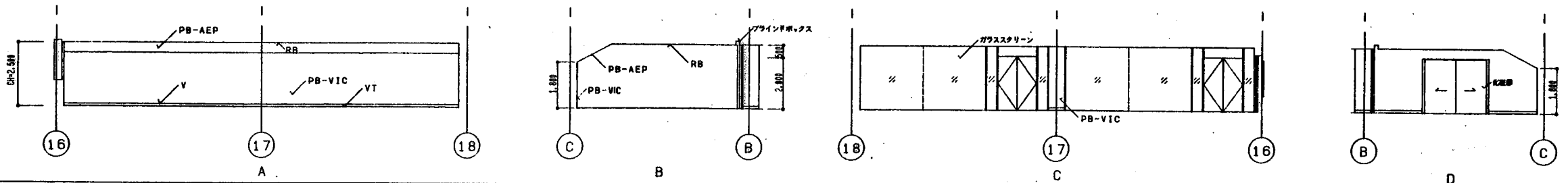
展開図 1:100

表4
表2.5.3

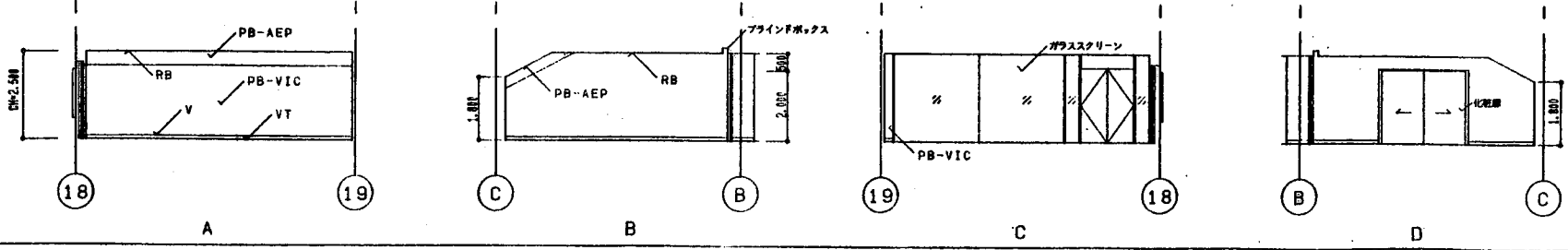


平面詳細図 1:50

大会場	
床	VT
印木	V
壁	PB-VIC, ガラススクリーン
天井	RB, PB-AEP
開口	ブラインドボックス

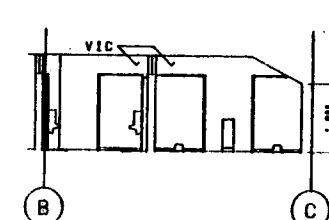
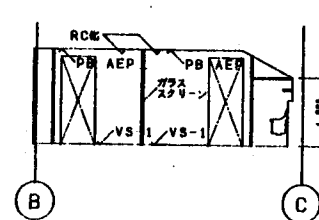
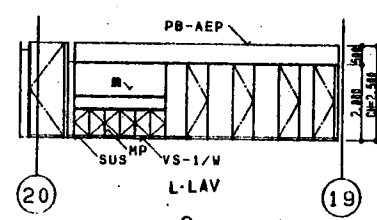
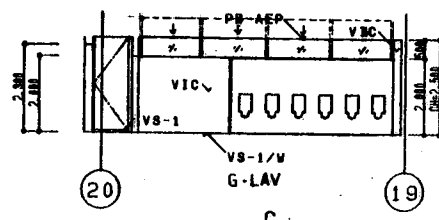
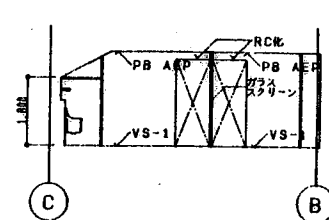
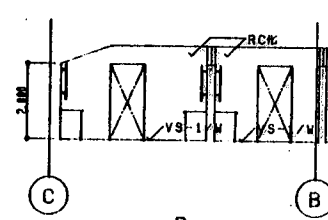
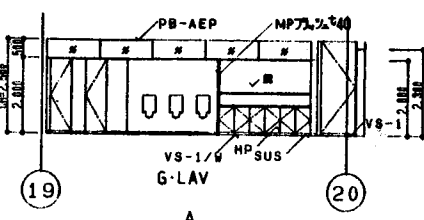
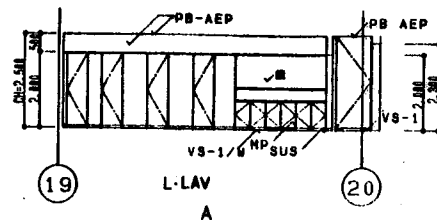


小会議室	
床	VT
印木	V
壁	PB-VIC, ガラススクリーン
天井	RB, PB-AEP
開口	ブラインドボックス

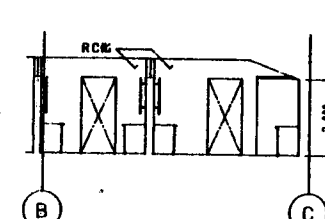
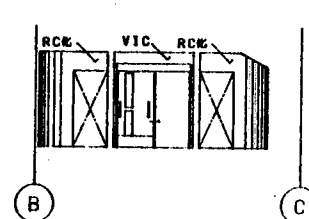
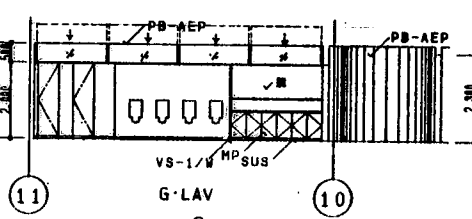
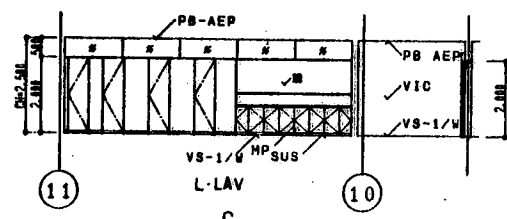
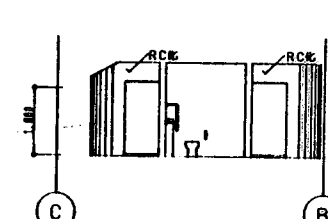
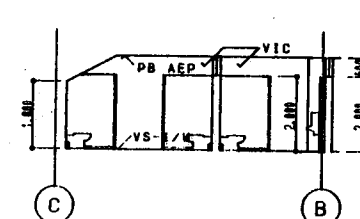
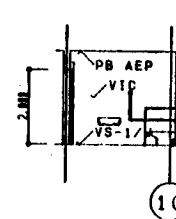
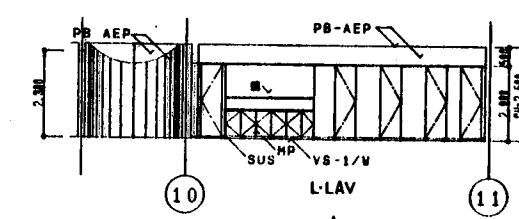
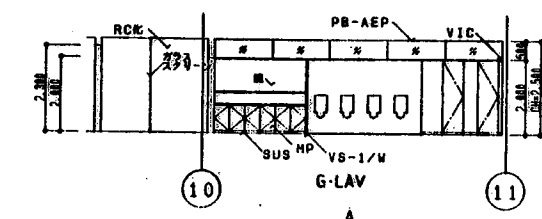


断面図 1:100

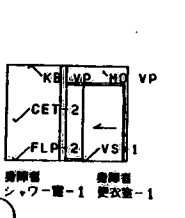
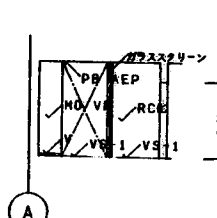
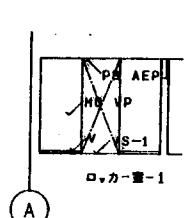
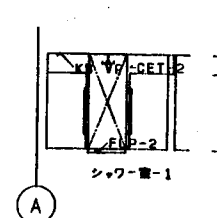
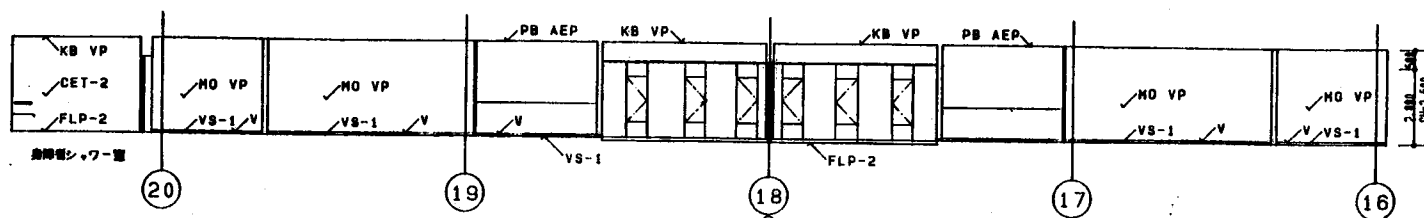
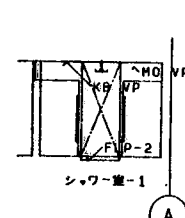
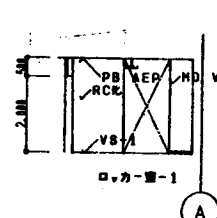
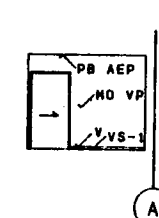
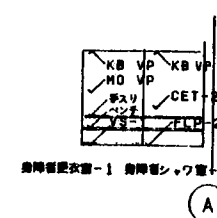
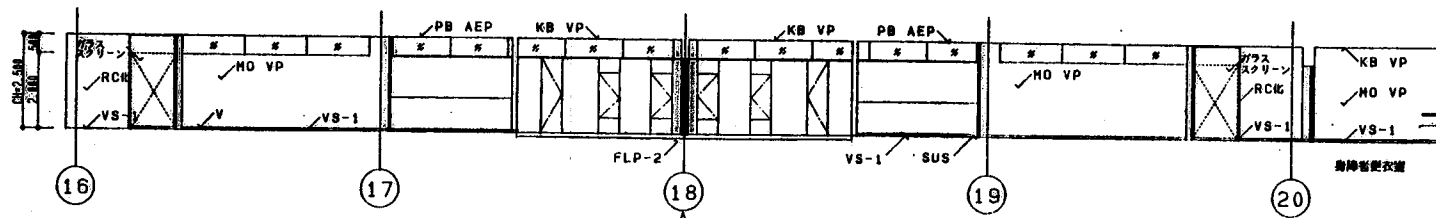
LLAV-1・GLAV-1	
床	VS-1/W
印木	V
壁	VIC, RCK
天井	PB-AEP
欄干	壁面ブース



LLAV-3・GLAV-3		HDC-2
床	VS-1/W	VS-1/W
印木	V	V
壁	VIC, RCK	VIC
天井	PB-AEP	PB-AEP
欄干	壁面ブース	手摺



ロッカー室1・2		シャワー室1・2
床	VS-1	FLP-2
印木	V	
壁	HO-VP	CET-2
天井	PB-AEP	KB VP
欄干	壁、開閉BOX	シャワーブース、開閉BOX
身替更衣室-1		身替シャワー室-1
床	VS-1/W	FLP-2
印木	V	
壁	HO-VP	CET-2
天井	KB VP	KB VP
欄干	ベンチ、手摺、開閉BOX	ベンチ、手摺



特記

訂正

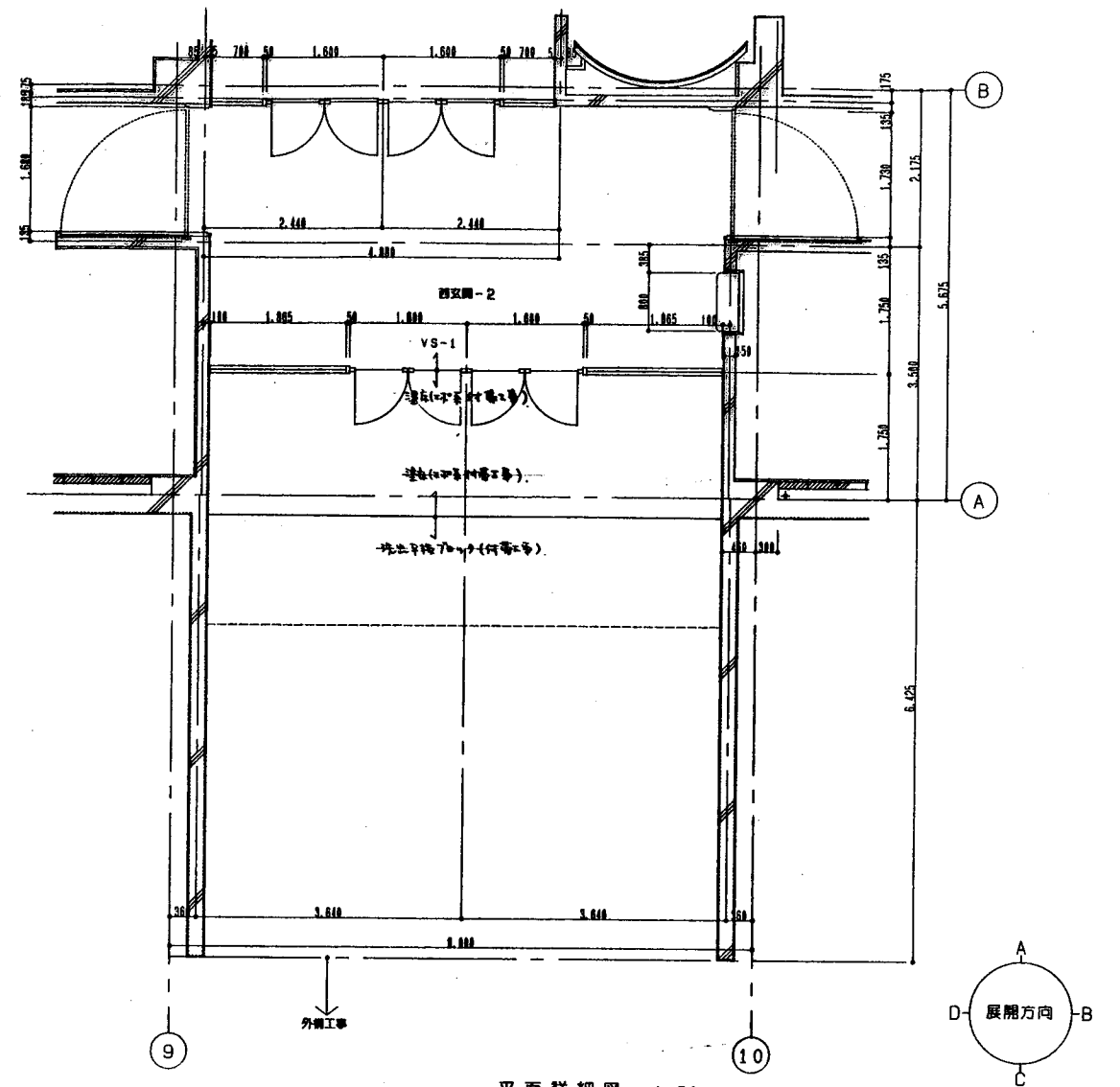
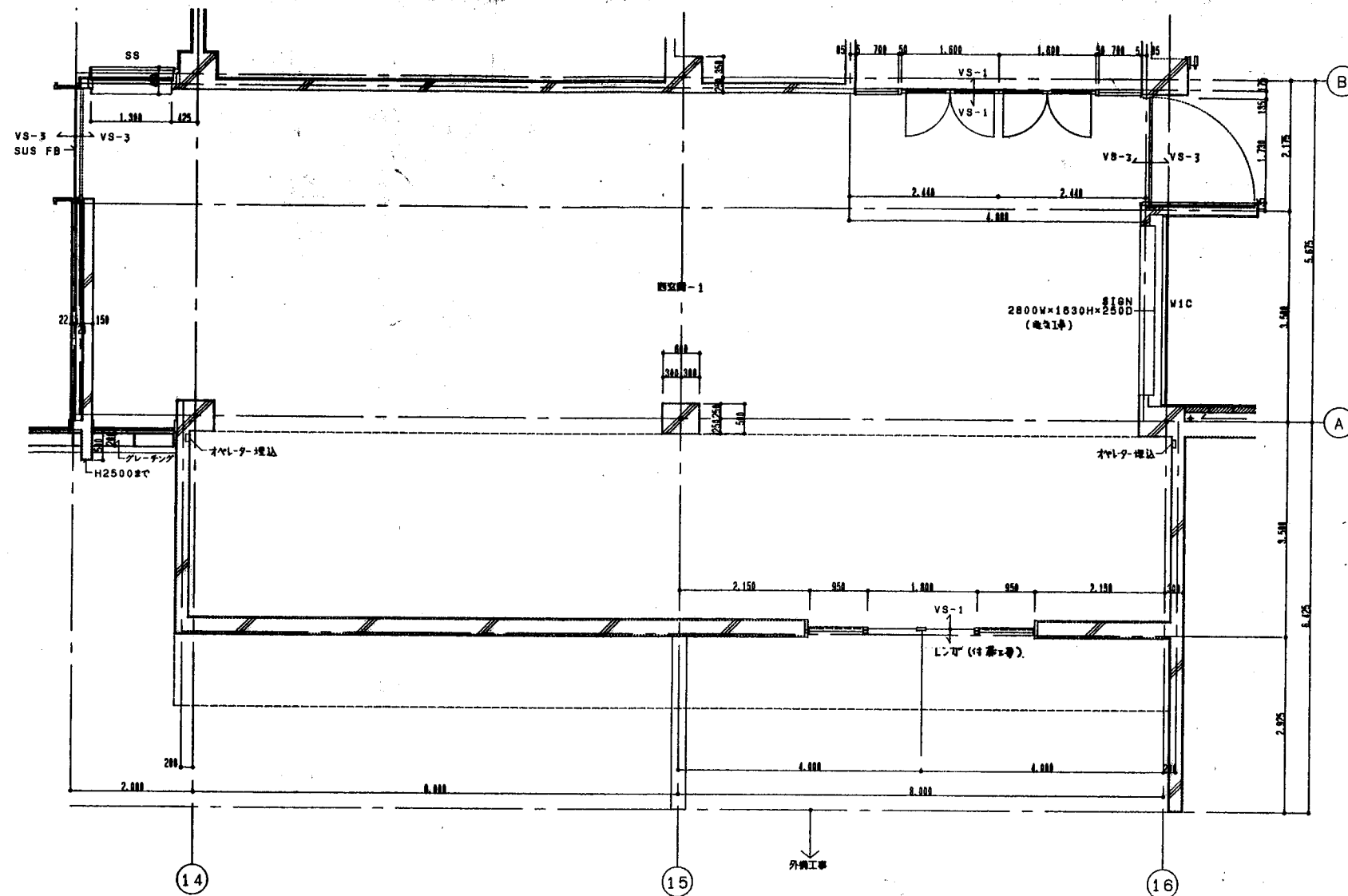
久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

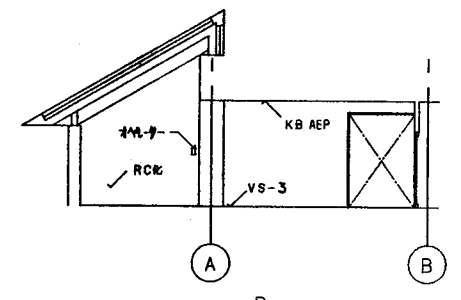
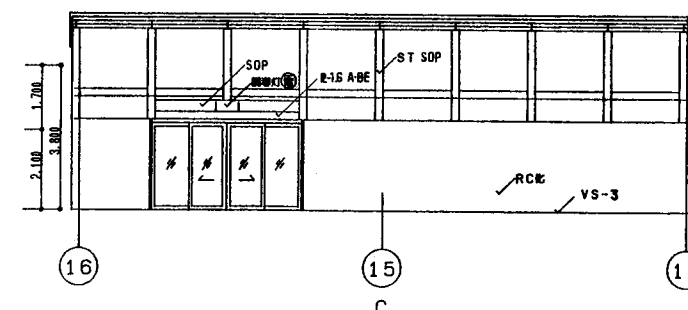
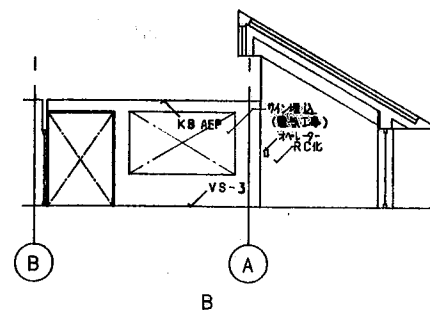
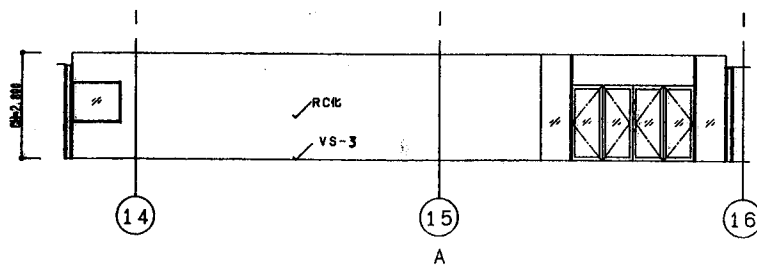
図面 57

1300 194072

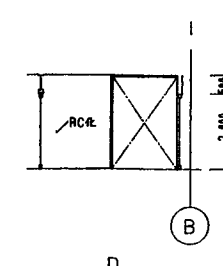
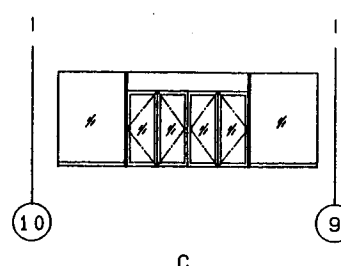
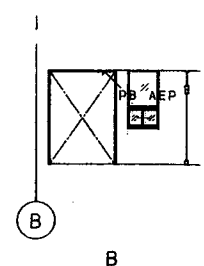
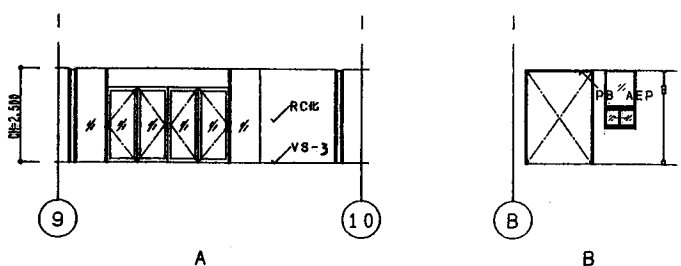


平面詳細図 1:50

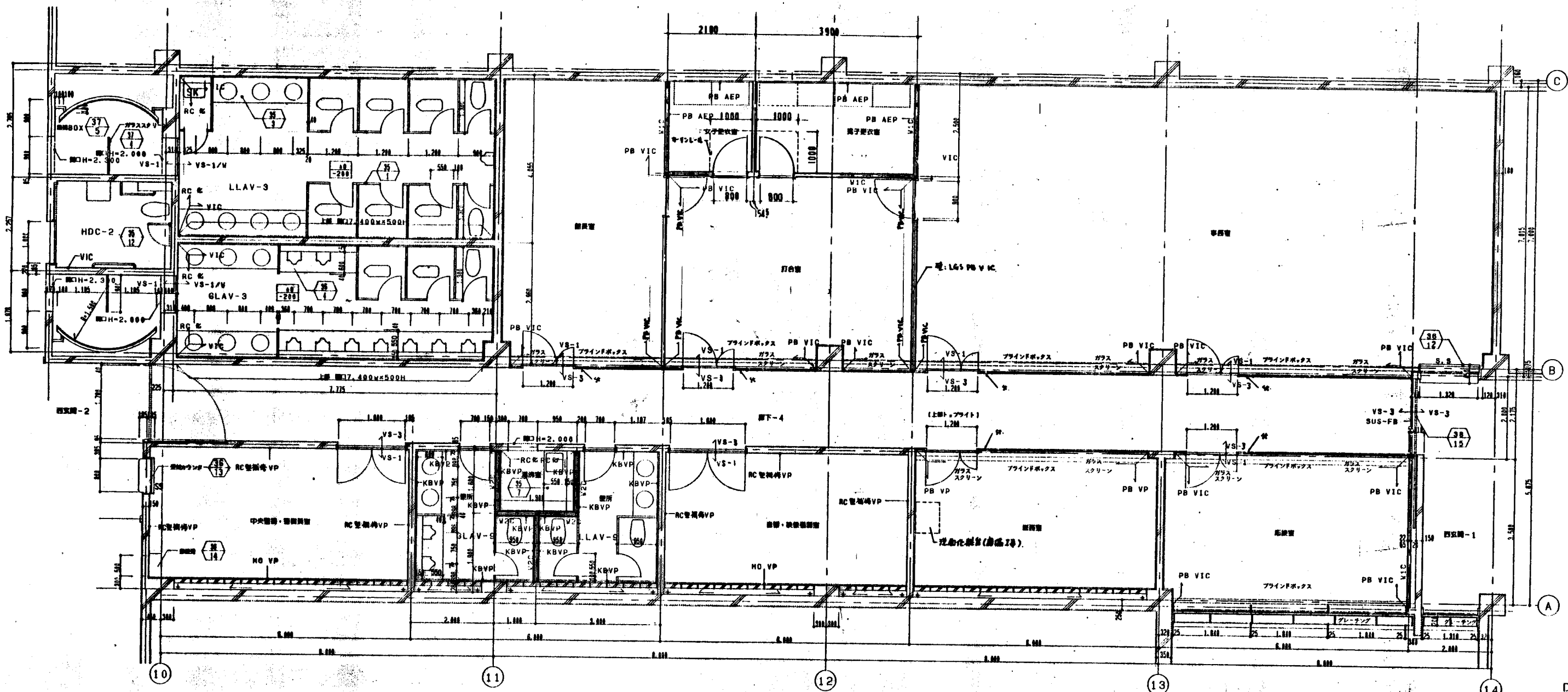
西玄関-1	
床	VS-3
巾木	
壁	RC化
天井	KB AEP
欄干	



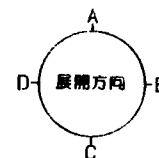
西玄関-2	
床	VS-3
巾木	
壁	RC化
天井	PB AEP
欄干	



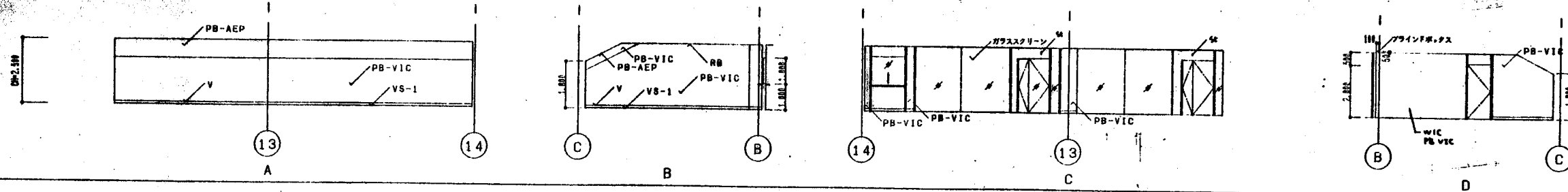
展開図 1:100



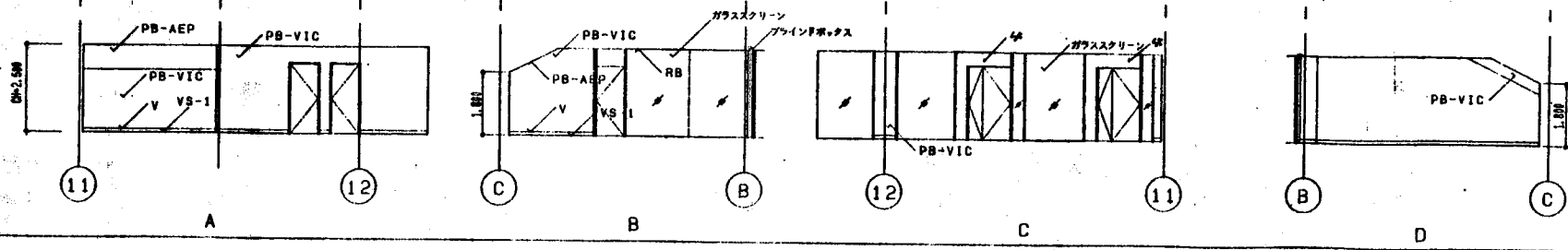
平面詳細図 1:50



事務室	
床	VS-1
天井	V
壁	PB VIC, ガラススクリーン
天井	RB, PB AEP
窓	ブラインドボックス

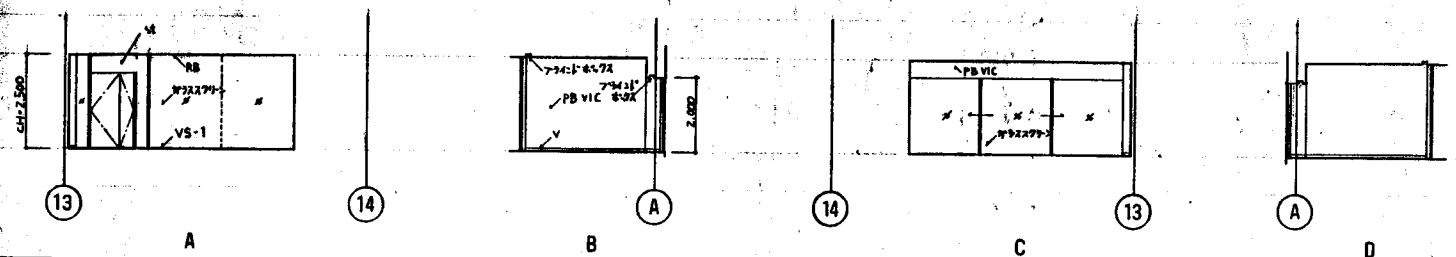


会議室・打合室	
床	VS-1
天井	V
壁	PB VIC, ガラススクリーン
天井	RB, PB AEP
窓	ブラインドボックス

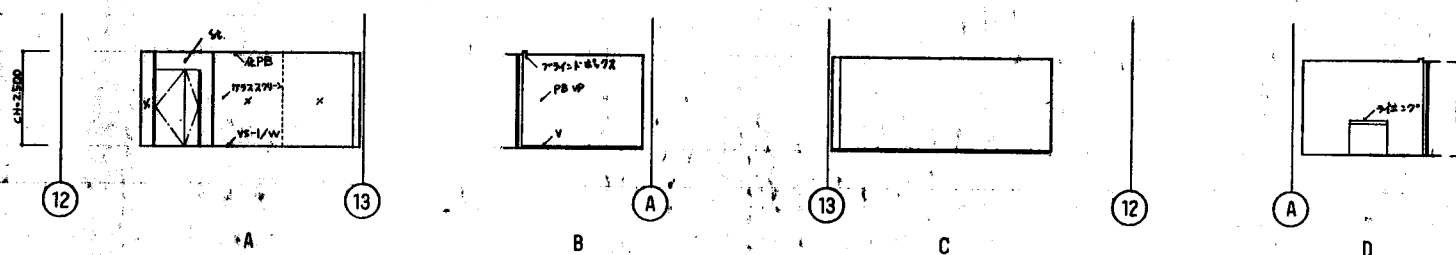


展開図 1:100

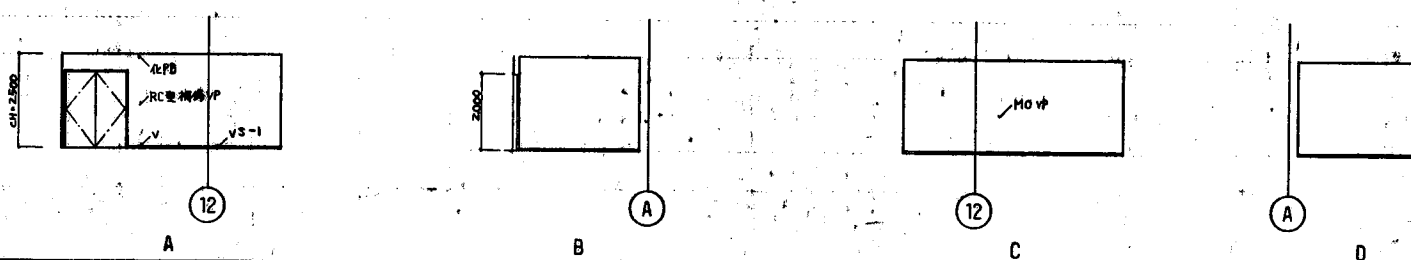
断面図	
床	VS-1
天井	V
壁	PB VIC, ガラススクリーン
天井	RB
番号	



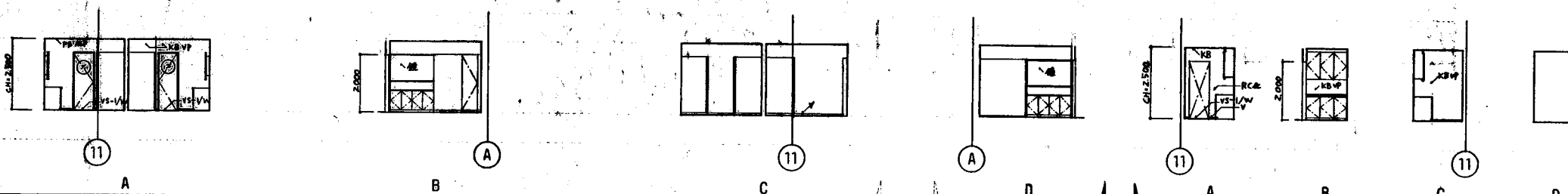
断面図	
床	VS-1/W
天井	V
壁	PB VP, ガラススクリーン
天井	化PB
番号	



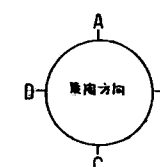
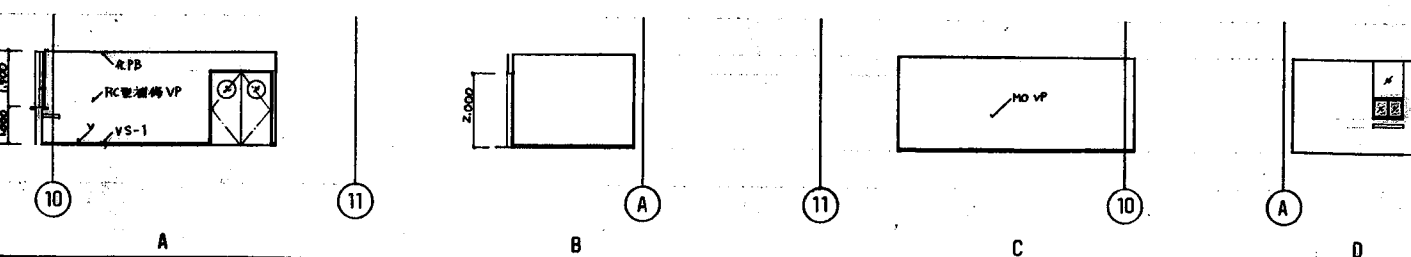
断面図・吹抜け断面図	
床	VS-1
天井	V
壁	MO VP, RC壁構造VP
天井	化PB
番号	

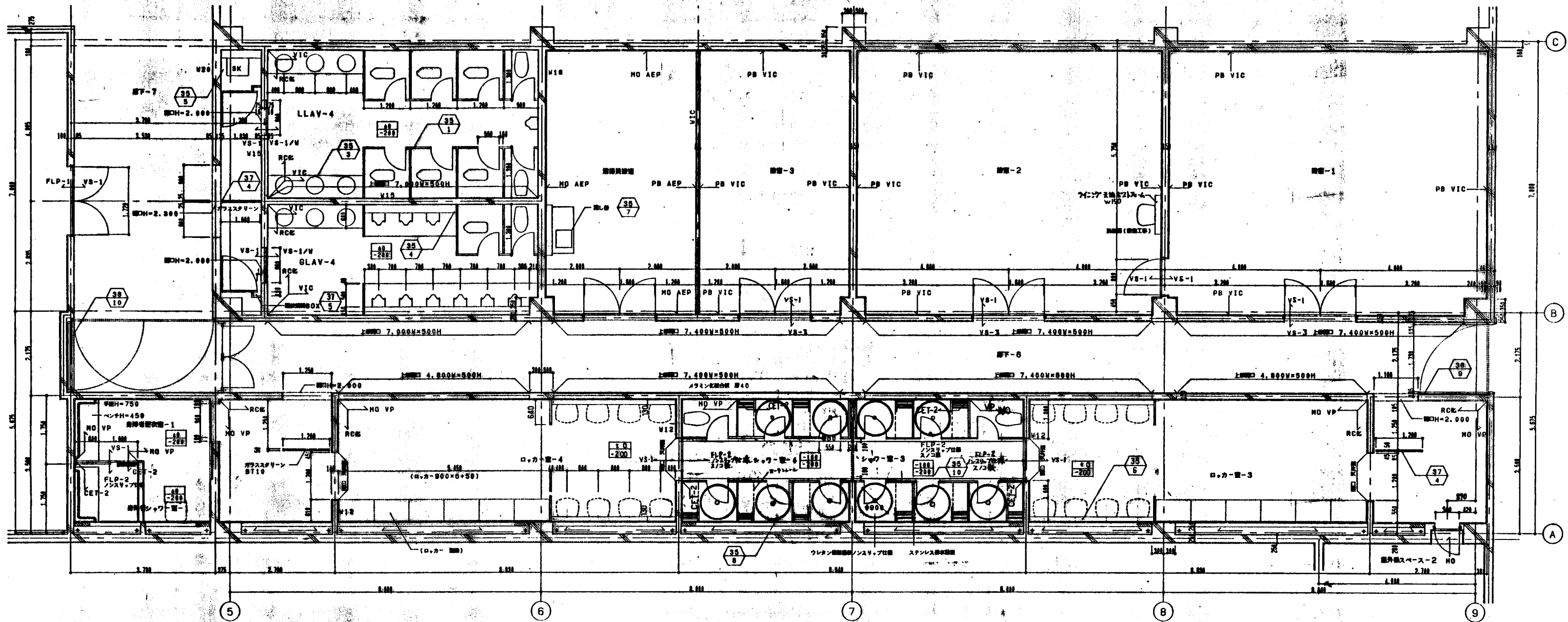


断面図・吹抜け断面図	
床	VS-1/W
天井	V
壁	KB VP
天井	PB AEP
番号	



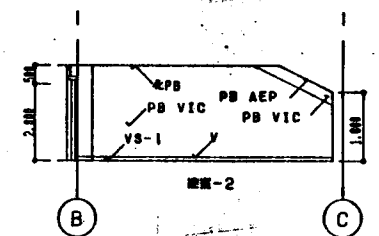
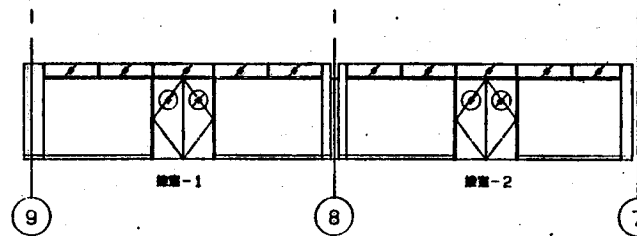
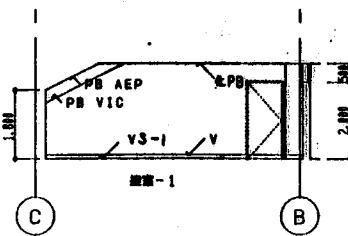
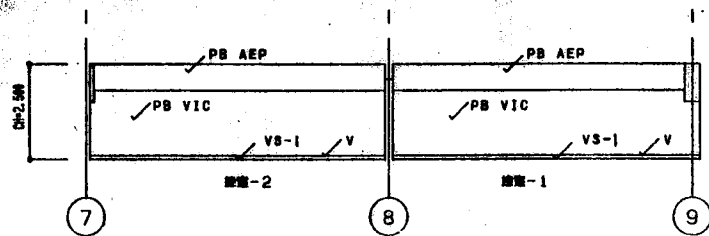
断面図	
床	VS-1
天井	V
壁	MO VP, RC壁構造VP
天井	化PB
番号	



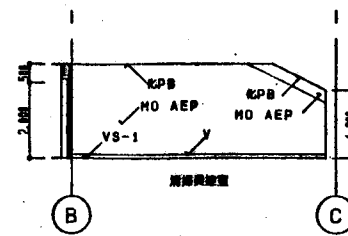
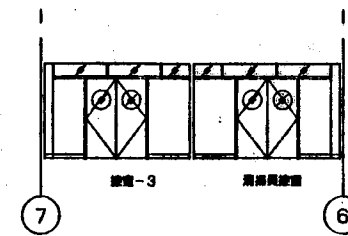
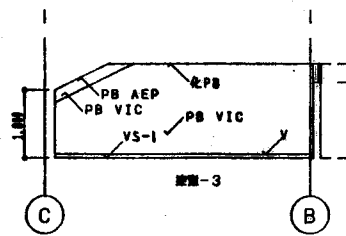
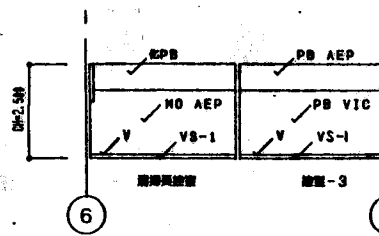


平面詳細図 1:50

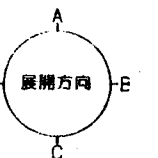
部	部
床	VS-1
天井	V
壁	PB VIC
天井	化PB, PB AEP, 化PB, PB AEP

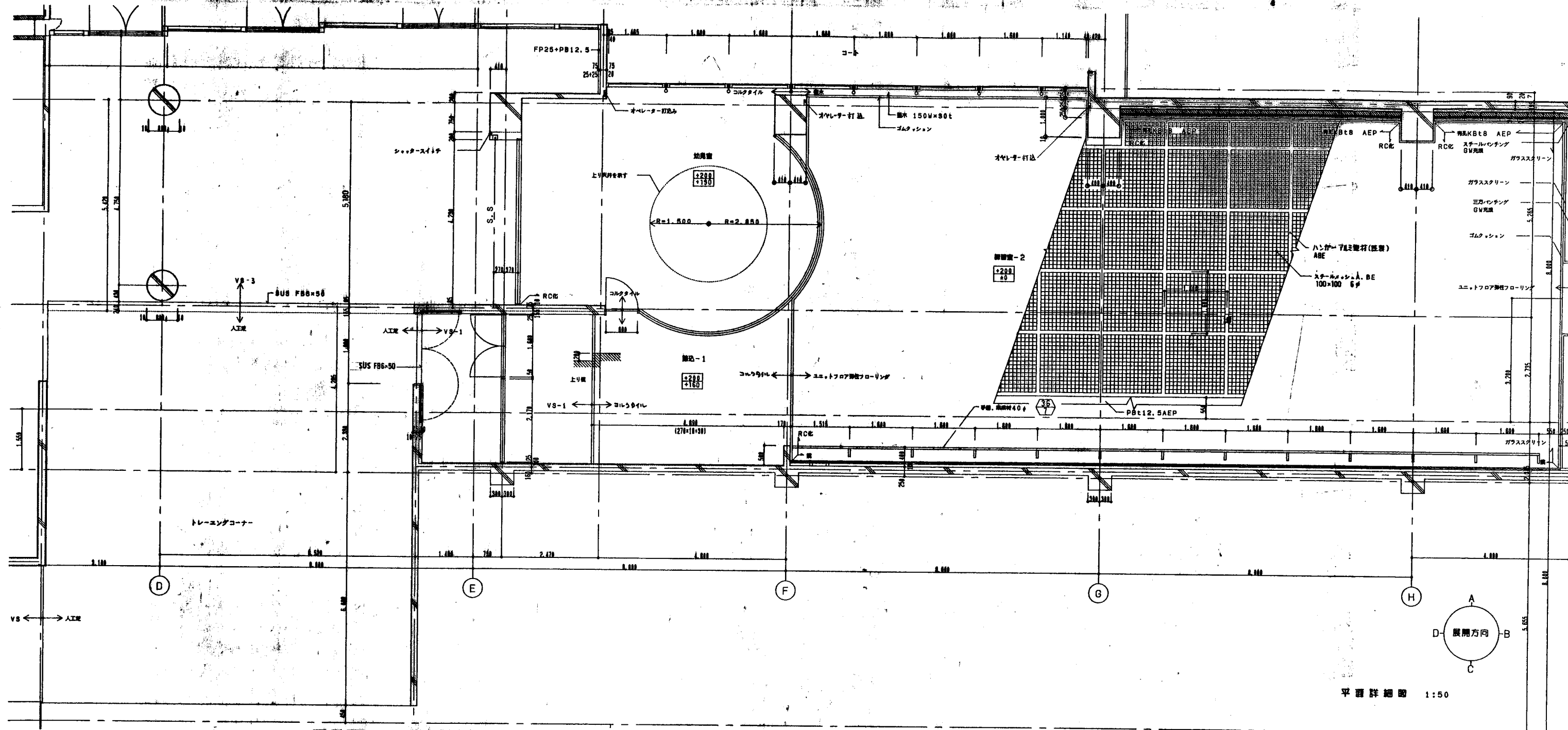


部	部
床	VS-1
天井	V
壁	PB AEP, PB VIC
天井	化PB, 化PB, PB AEP



展開図 1:100

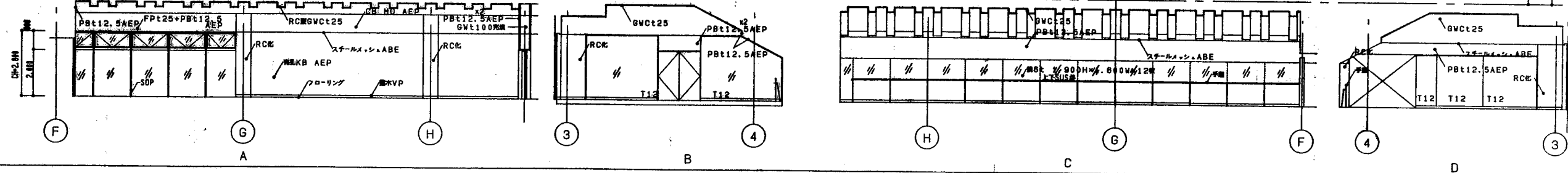




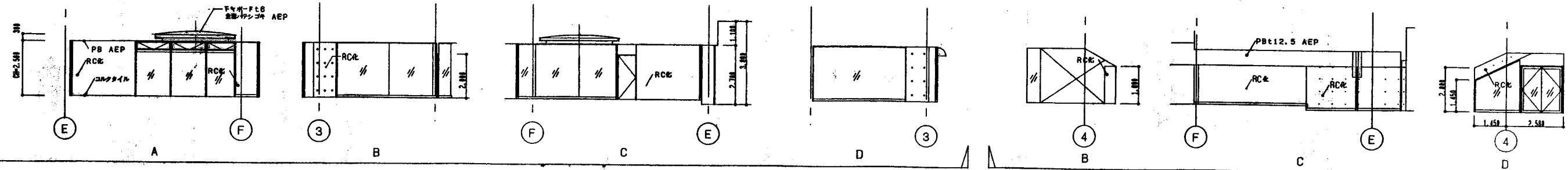
平面詳細図 1:50

観客席-2	
床	フローリング
巾木	黒木 VP
壁	有孔KB AEP, RC化
天井	スチールメッシュ A・BE
照明	上り照、ブラインドボックス

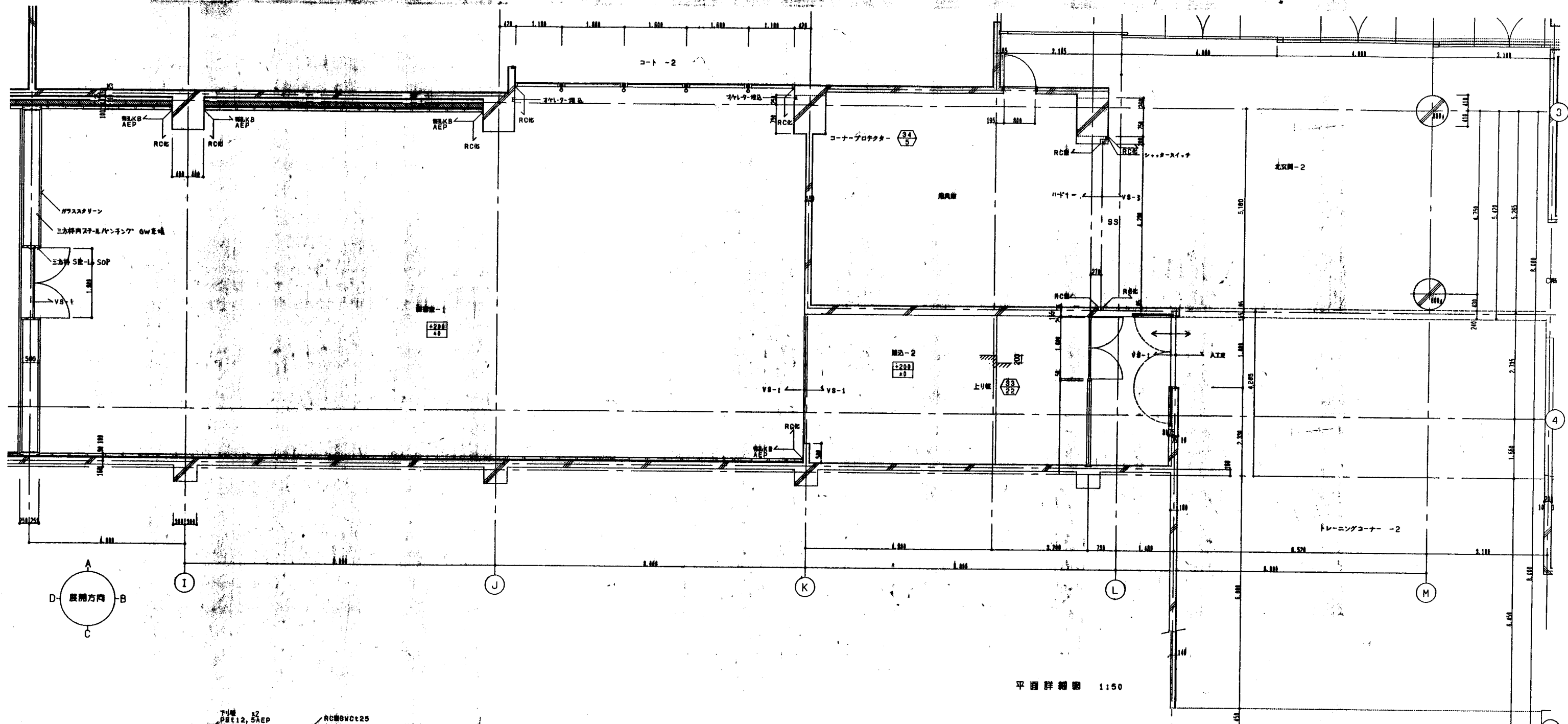
※ RWC 見え方により増減レイアウト(黒)



始発室	
床	コルクタイル
巾木	
壁	RC化
天井	PB AEP, FG AEP
照明	床 埋込 200%

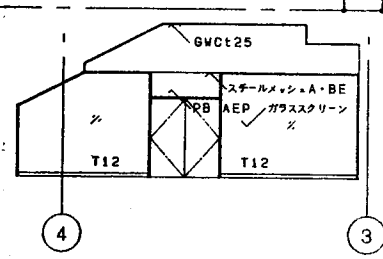
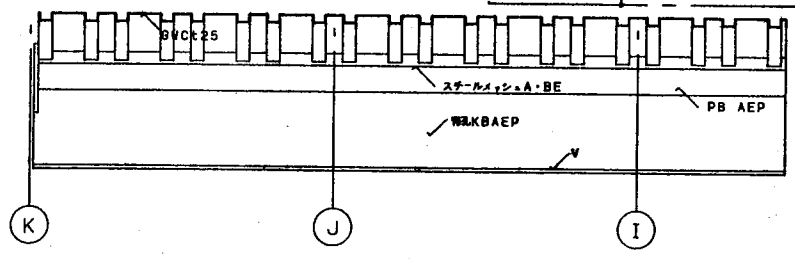
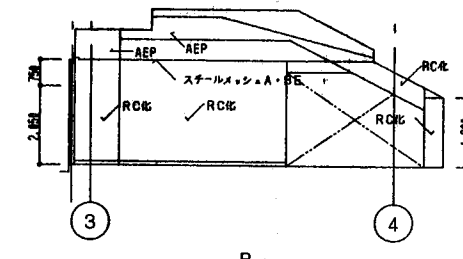
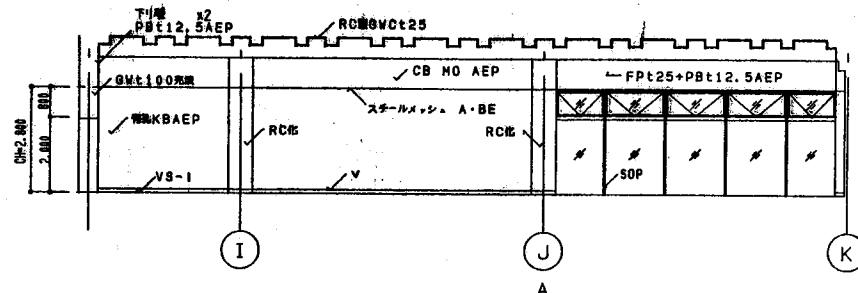


展開図 1:100

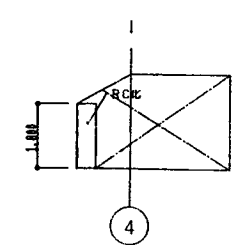
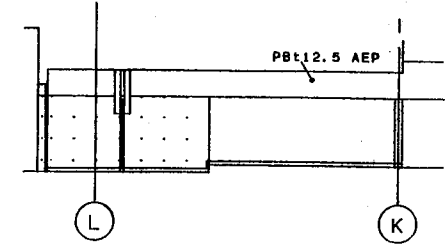
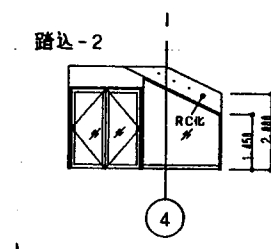
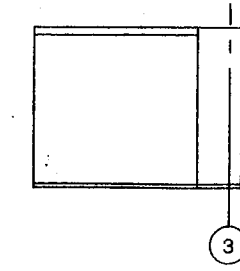
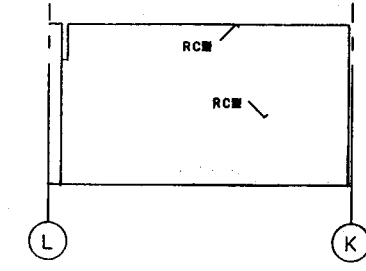
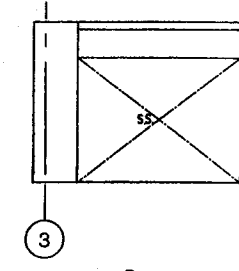
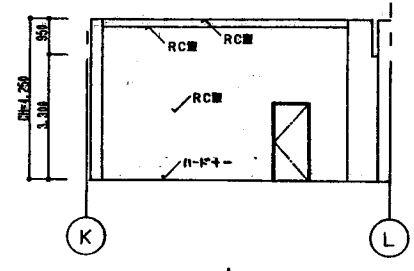


平面詳細図 1:50

断面壁-1	
床	VS-1
巾木	V
壁	RC壁 AEP, RC壁
天井	スチールメッシュ A・BE
備考	上り階段、ブラインドボックス



用典庫	
床	ハードナー
巾木	V
壁	RC壁
天井	RC壁
備考	



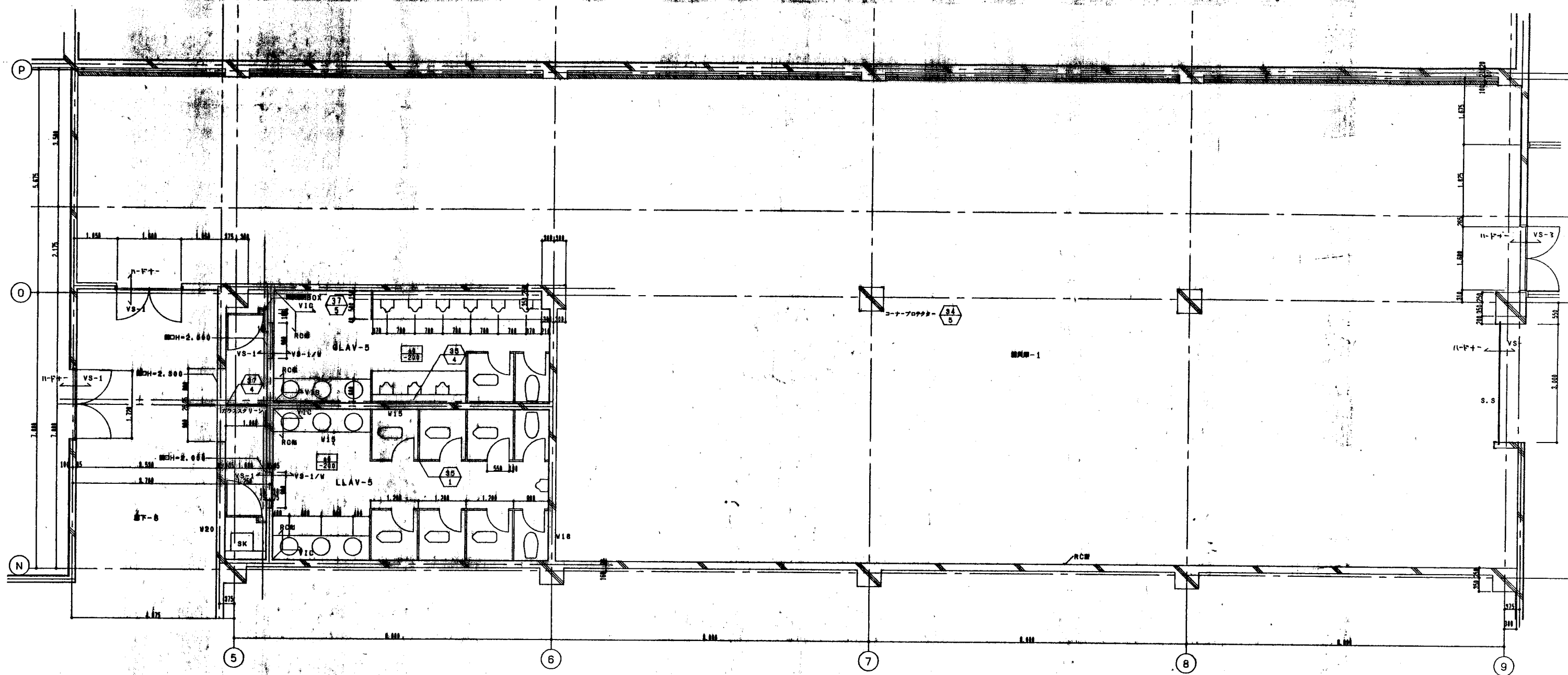
展開図 1:100

久米設計・梓設計 設計共同企業体

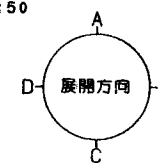
94.12
PAC
94.12

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)
平面詳細図-7/展開図-9
1:50
1:100

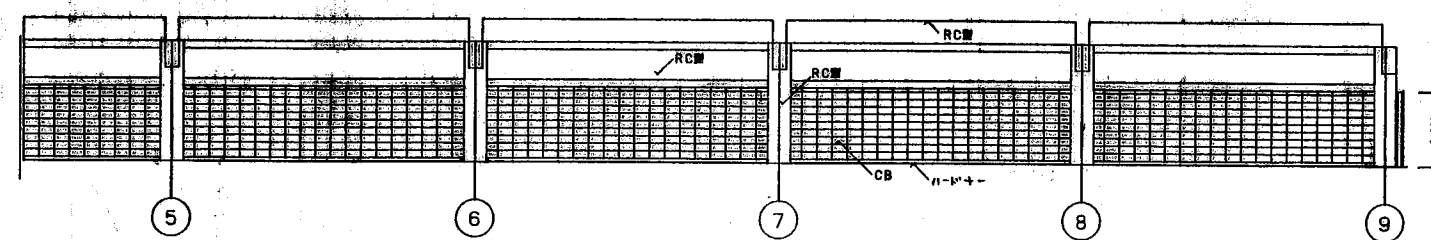
図説 63
194072



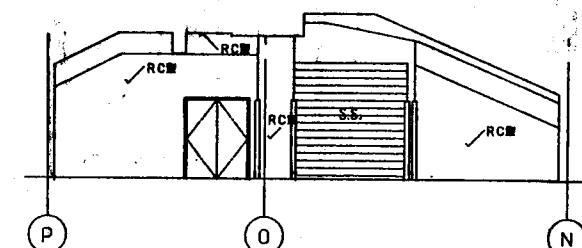
平面詳細図 1:50



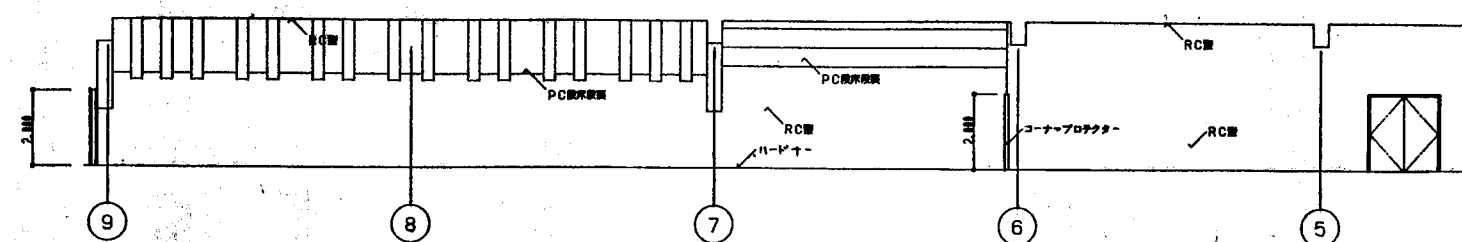
展示場-1	
床	H-D
天井	RC梁, CB仕舞
壁	RC壁, CB仕舞
柱	RC柱
扉	コーナープロテクター



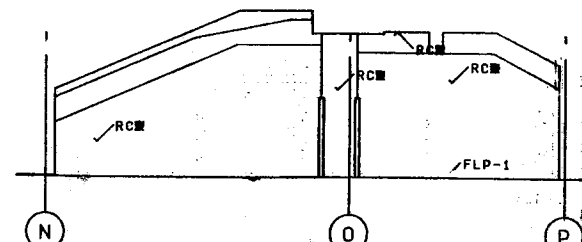
A



B

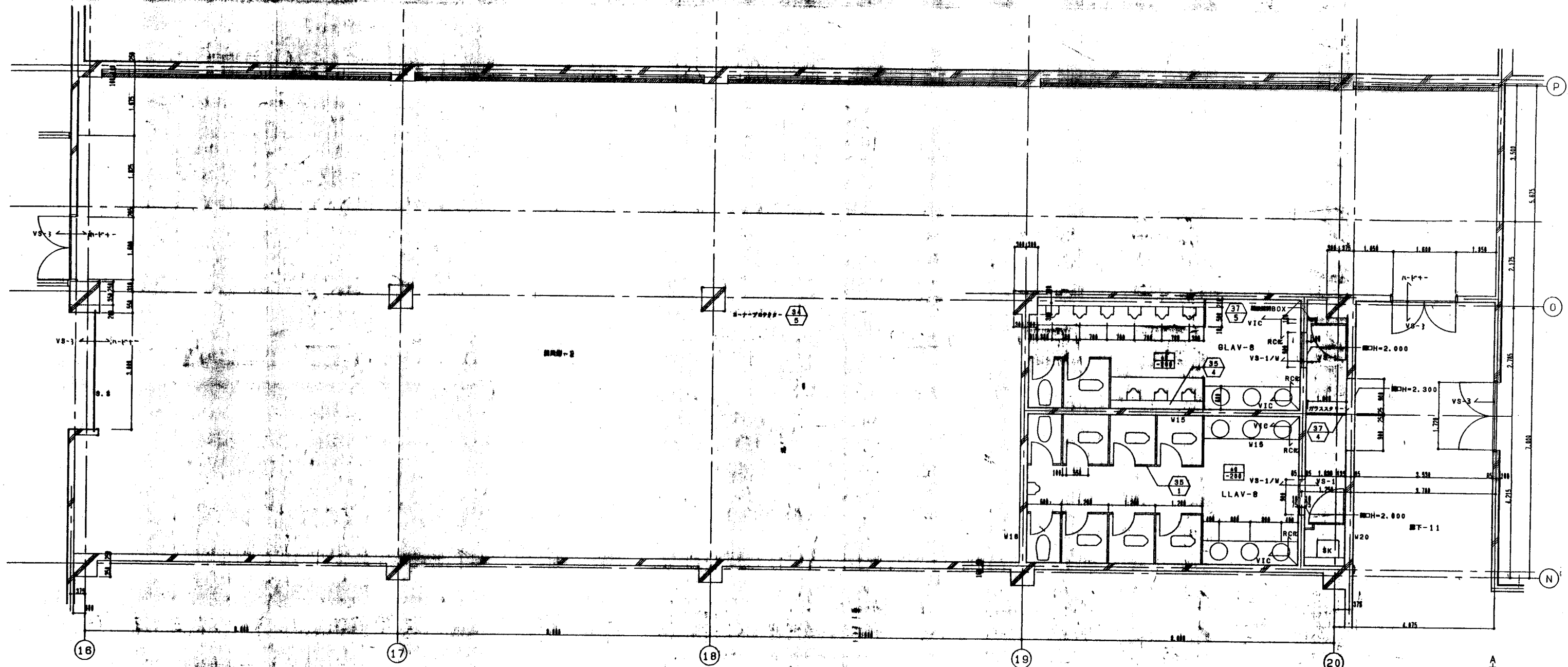


C



D

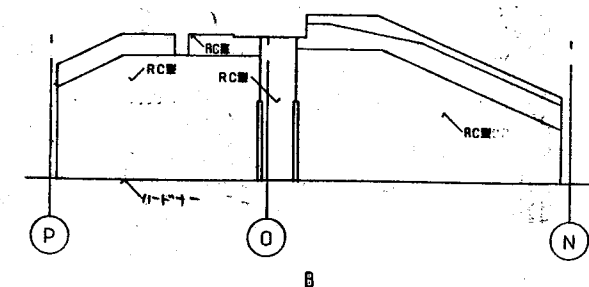
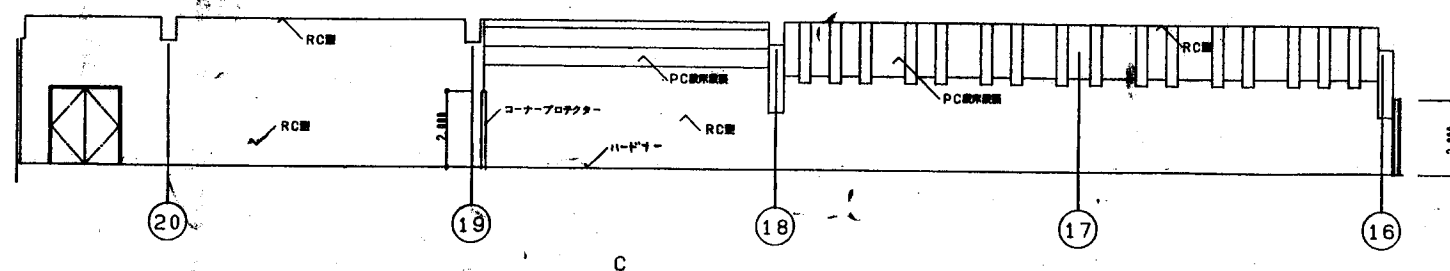
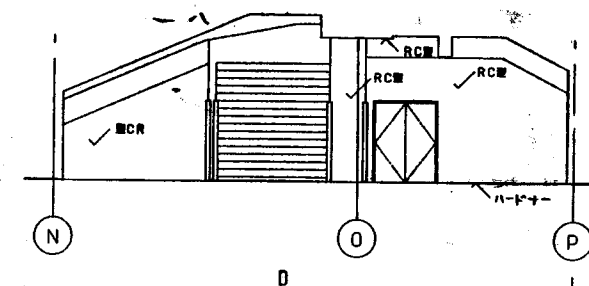
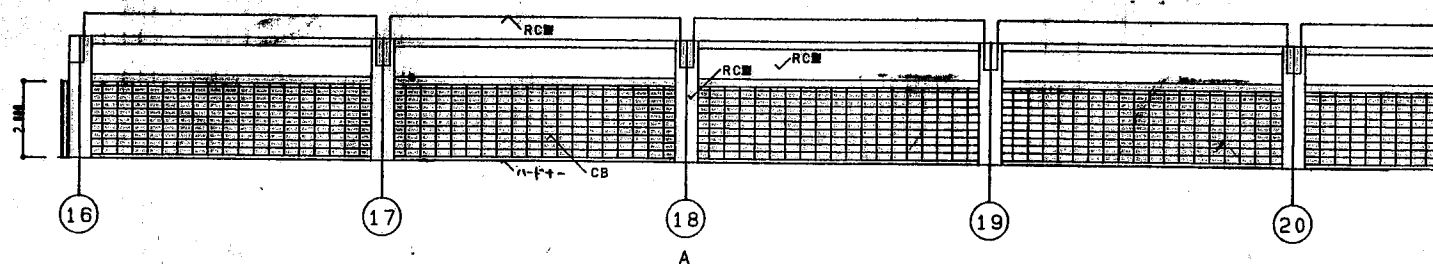
展開図 1:100



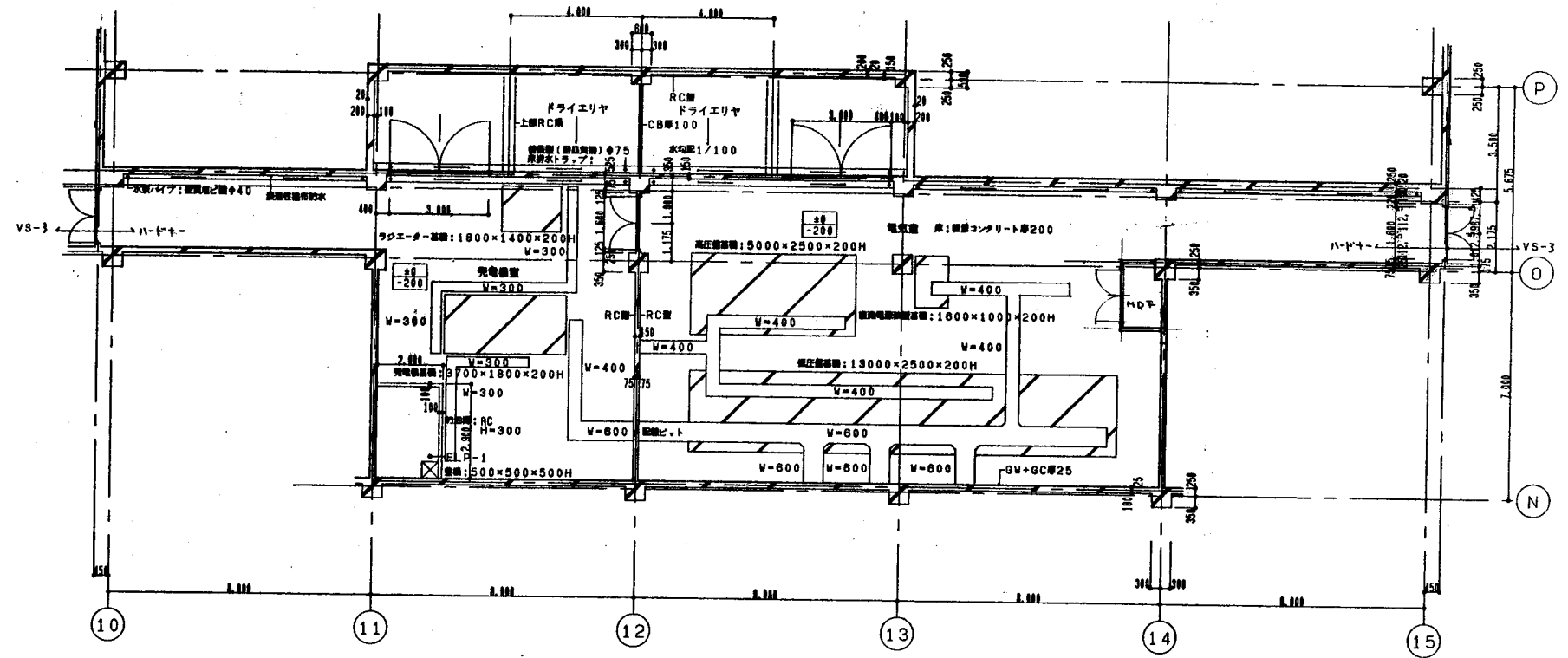
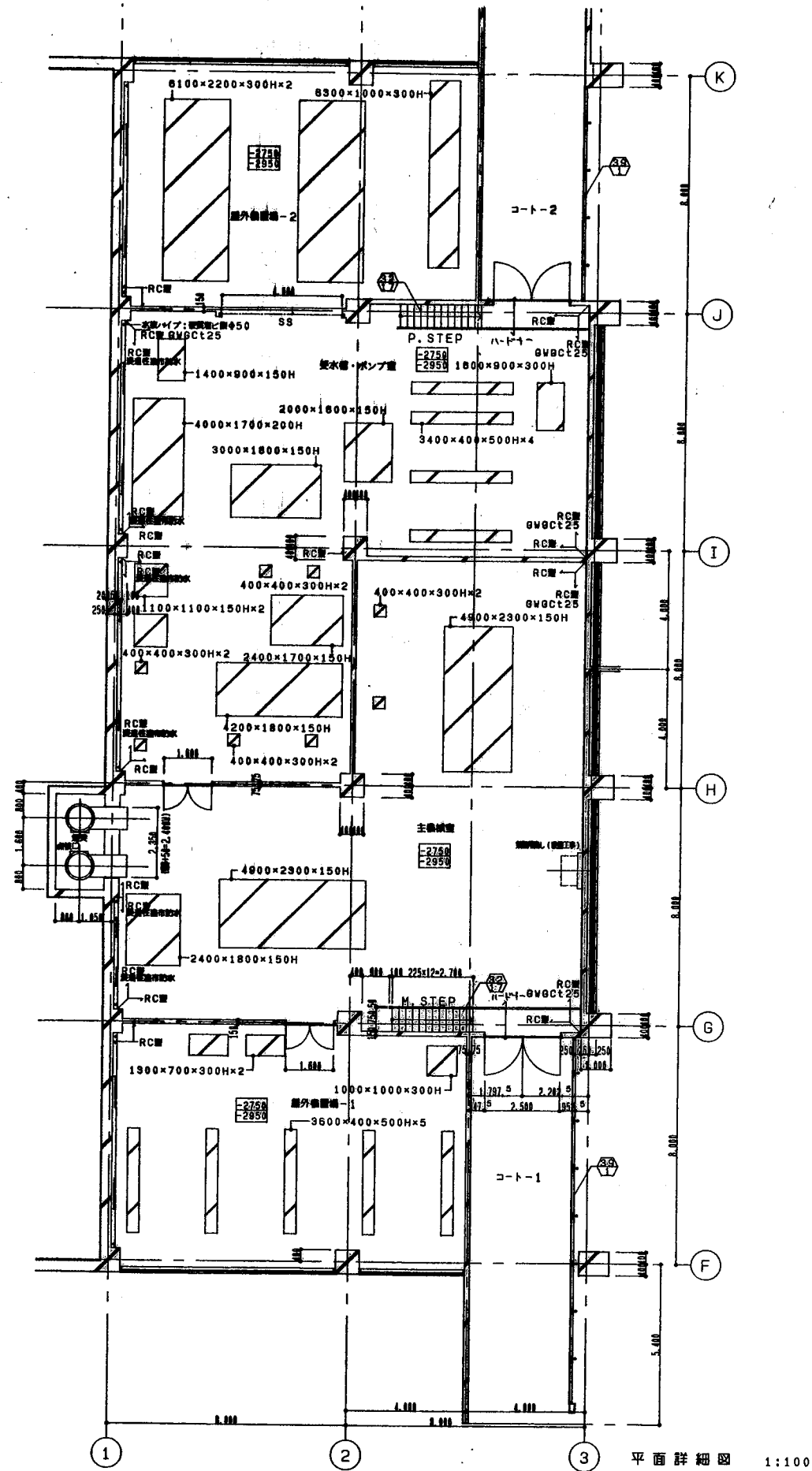
平面詳細図 1:50

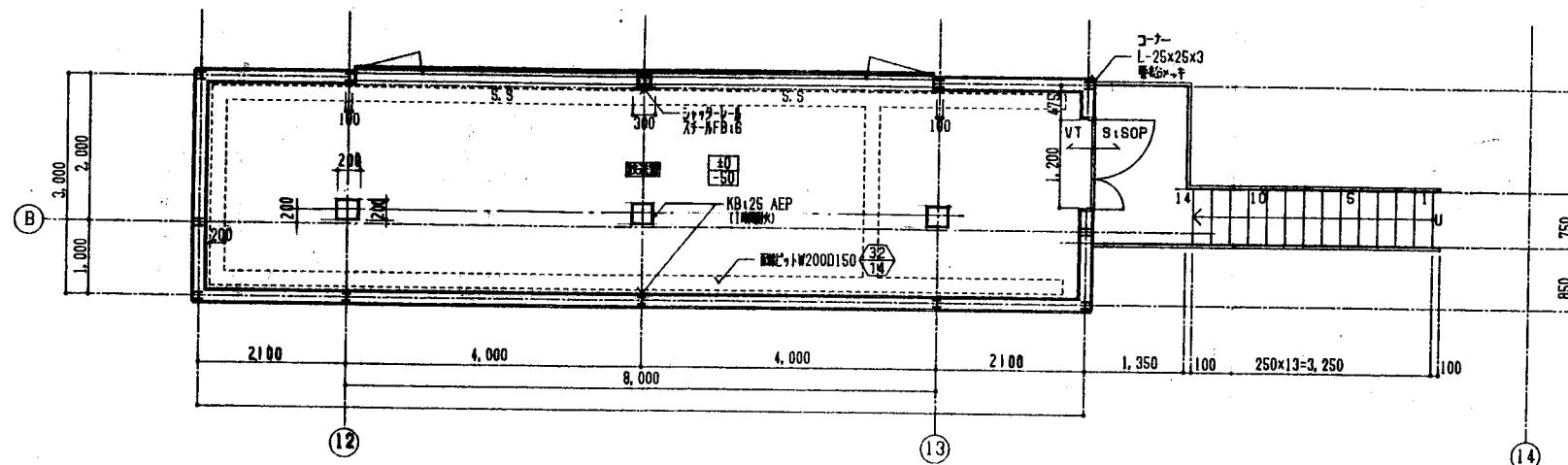
展開方向

部材	
床	ハードナー
巾木	
壁	RC壁
天井	RC壁
隅部	コーナープロテクター

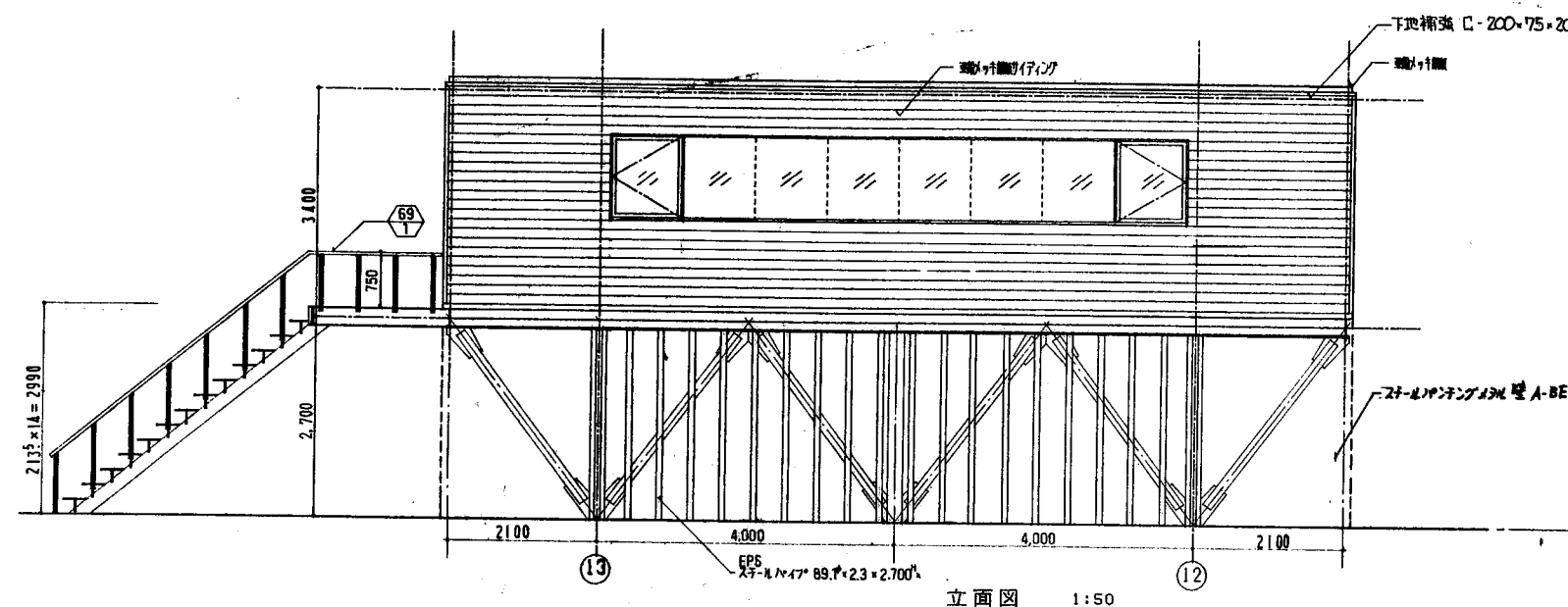
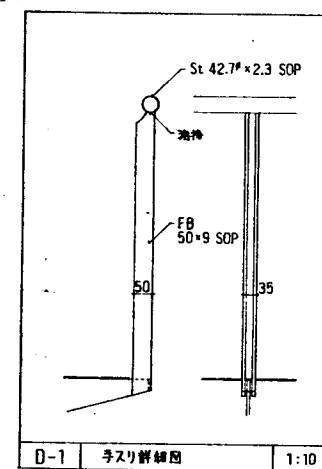
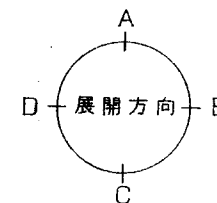


展開図 1:100

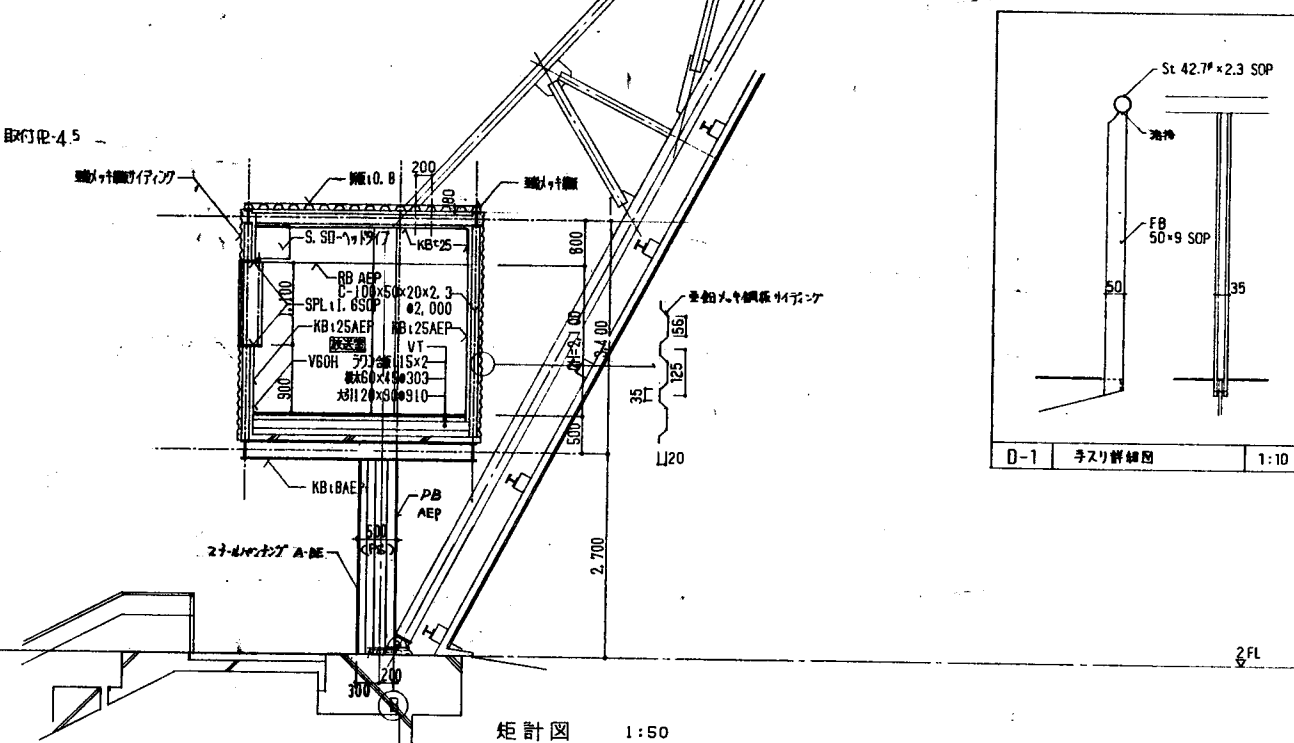




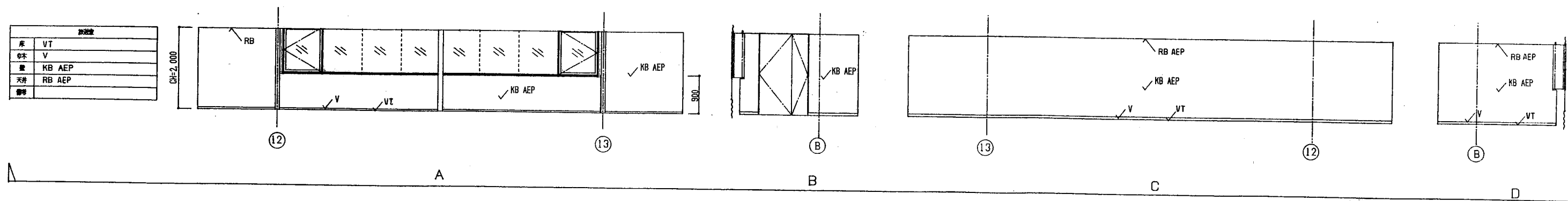
平面詳細図 1:50



立面図 1:50



矩計図 1:50



展開図 1:50

内装 KB125 カイロ耐火模造板 25 AEP (1時間耐火仕様)

設計	久米設計・梓設計 設計共同企業体
監理	
施工	

久米設計・梓設計 設計共同企業体

日付	94.12
図面番号	PA-10
図名	角スリ詳細図

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

図面番号 130

図面番号	194072
図名	角スリ詳細図
図尺	1:10

機器仕様書

電動機	制御方式に応じた電動機を選定する。
減速機	ウォーム式減速機とする。 ウォーム軸は機械減速用皮素鋼を用い減速機加工を行うこと。 ウォームホイールは、特殊青銅又は、特殊アルミ青銅を使用し、機械加工を施す。 また、軸部は、ベアリングにより支持し、軸は鋼材キヤークス内で潤滑油に浸漬しながら回転され、円滑に動力を伝達するものであること。 工場にて、1. 運転（負荷時）、2. 始動、3. 止め、4. 外観の検査を行うこと。
制動機	電磁式とする。装置の起動・停止は確実に行われ、停止時に大きな衝撃を与えない構造であること。又、装置停止中は、常に一定のスプリング力により制動動作を保持出来ると共に、制動距離の調整が可能な構造であること。ブレーキシューは、制動時に片当たりしない構造であること。
巻取ドラム	鋼鉄製または、一般構造用圧延鋼材もしくは、一般構造用炭素鋼鋼管の滑車構造とし、有効直径は、使用ワイヤーロープの40倍以上とする。滑車及び滑車ピッチは、ワイヤーロープの公称径に適合した寸法に加工されたものとする。鋼材の3倍以上の荷重に耐えること。
機械台	一般構造用圧延鋼材製鋼の組み合せとし、電動機・減速機・巻取ドラム等の駆動装置が設置される構造とする。
扶輪車及び扶輪車	鋼鉄製又は、一般構造用圧延鋼材プレス加工とし、軸部にはボールベアリング入りとし、給油を必要としない構造であること。有効直径は、使用ワイヤーロープの25倍以上とする。鋼材の3倍以上の荷重に耐えること。
吊钩用パイプ	パイプは、一般構造用炭素鋼鋼管を使用し、継手には、滑パイプを用い滑接を行なう。鋼部にはゴムキャップを巻付けすること。パイプサイズは、4B、6F x 3、2tを標準とする。
ワイヤーロープ	使用目的に適した品質・強度・より等を定める。荷重及び摩耗に耐えるものとし、竣工時に鋼材の1倍以上の荷重に耐えるものを使用する。
車	ピニオンギヤは、機械減速用皮素鋼を使用し、大歯車は一般構造用圧延鋼の滑車構造とし、ピニオンは焼入れを行うこと。機械加工を施した物とする。鋼材の3倍以上の荷重に耐えること。

伝導輪	機械減速用皮素鋼を使用する事。
塗料	1. 工場において加工又は組立てを終了した部材は、検査終了後、迅速に先立ち錆止の塗装、仕上げ塗装を施すこと。但し、現場溶接部は、現場塗装をすること。 2. 鋼毛塗りは、鋼毛目正しく、塗り満し、なまり、流れあわ等の欠点の生じない様に一様に塗ること。 3. 吹き付け塗装には、塗装用のスプレーガンを用い、ガンの種類、口径及び空気圧は、用いる塗料により適切なものを選び、吹きむらのないように塗装すること。 4. 鋼材を用いた主要な部材は、表-1によること。 制動盤、操作盤は表-2によること。

表-1 合成樹脂被膜ペイント仕様				
工 種	塗料種類	塗 料 名 称	塗布厚 乾膜厚	塗布量 kg/m ²
1	金属底層	ランダー、グレート、スプレーコート 多量に塗布する。乾燥後、塗装は済ませる。		
2	下 塗	JIS K 5521 一般鋼用ペイント 1.5倍時間以上	0.10~0.11	
3	上 塗	JIS K 5516 一般鋼用ペイント 1.5倍時間以上	0.10~0.11	
4	現場塗布	JIS K 5516 一般鋼用ペイント		0.10~0.11

表-2 プラエニオン被膜仕様				
工 種	塗料種類	塗 料 名 称	塗布厚 乾膜厚	塗布量 kg/m ²
1	金属底層	ランダー、グレート、スプレーコート 多量に塗布する。乾燥後、塗装は済ませる。		
2	下 塗	合成樹脂プライマー 乾燥24時間	0.13~0.15	
3	下 塗	下地塗料 120 C	0.13~0.15	
		カラスト 鋼材 180 18~20分		
		下地塗料 120 C	0.13~0.15	
4	上 塗	下地塗料 鋼材 240 18~20分		
		120 C	0.13~0.15	
4	上 塗	合成樹脂サーフェーサー 18~20分		
5	上 塗	メラミンアルキッド樹脂 110~130 C 20~30分	0.20~0.25	

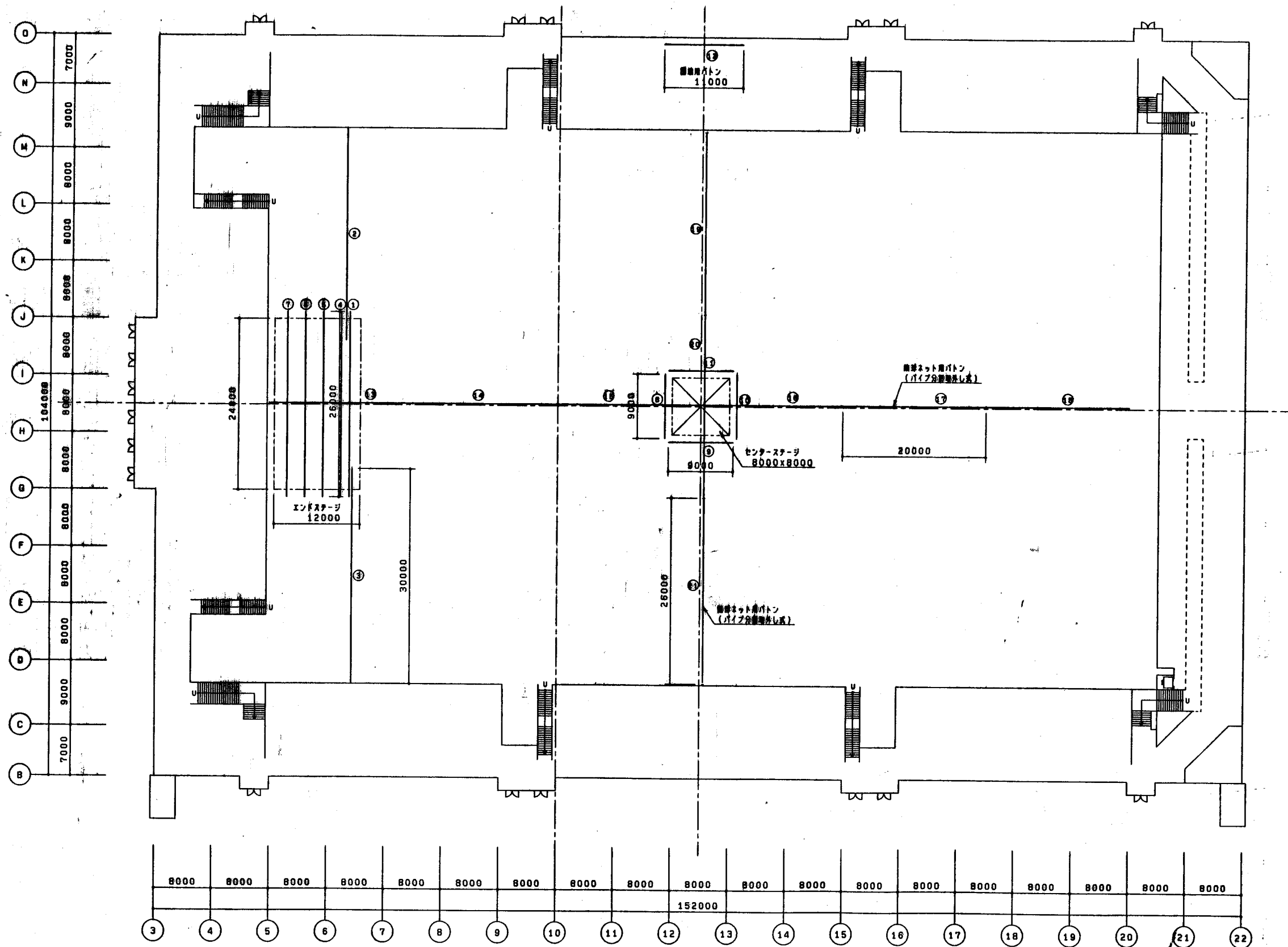
アンカーボルト	1) 床基礎におけるガイドレール、マシン架台等の躯体への固定にはメカニカルアンカーを使用する。 2) アンカーボルトの施工時期は、コンクリートの強度が設計基準強度に達した後に施工を行う。 3) 穿孔用ドリルは、治具を用い、深さと傾斜度を保つとともに、穿孔後の孔内は、取付け前に十分清掃する。 4) 施工後は、ゆるみ、抜け出しを起こさないか十分確認を行う。
リミットスイッチ	巻取ドラム用 巻上減速機よりローラーチェーンを経て、回転ドラム式リミットスイッチにセットされたカムによりマイクロスイッチを動作、自動的に電気回路の開閉が行えること。
制 動 盤	各装置の使用目的に応じた配線用遮断器・電磁接触器・補助接触器・端子台等を鋼板製取付け板に組立て、電動機の起動・停止・インターロック等を正確に動作させるものとする。その他は、電気設備工事の共通仕様書に準ずる。塗装色は、監督員の指示によって決定された色で仕上げるものとする。
操 作 盤	電動装置の操作を演出に基き、安全かつ正確に動作させるため、鋼台に設置し、操作に必要な緑色の押しボタン・表示ランプ等を組み込み、安全かつ正確に操作ができる配列とする。 塗装色は、監督員の指示によって決定された色で仕上げるものとする。

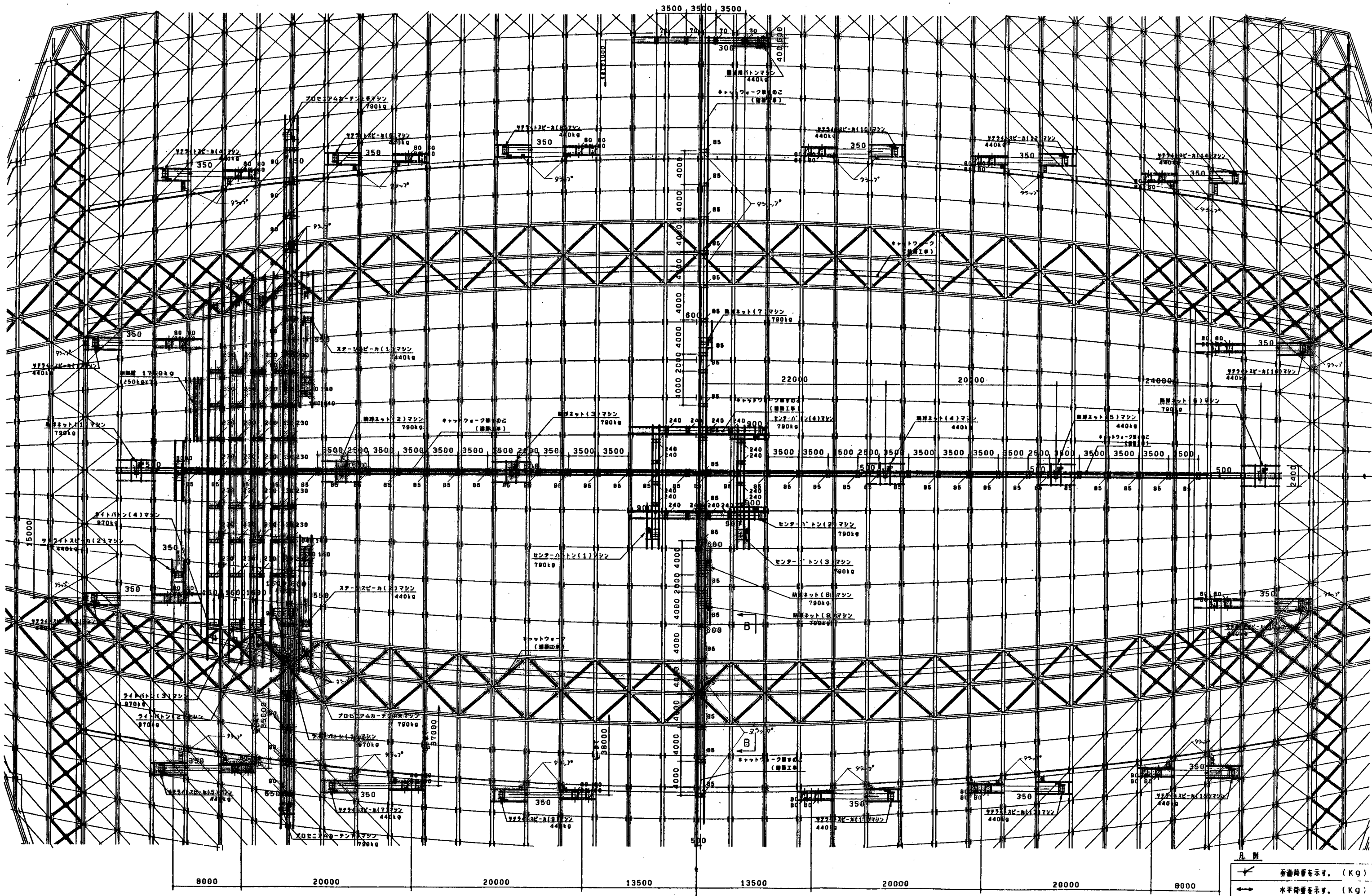
吊物機構略仕様

No.	装置名称	寸法 (mm)	構造形式	駆動方式	自重 (kg)	荷重 (kg)	速度 (M/min)	ワイヤ径	吊数	出力 (Kw)	操作方式	制御方式	備考
1	アベニマカーテン中央	26000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	400	10	4mm	7	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	カーテンは、取り外し式
2	アベニマカーテン上手	30000	昇降	電動ドラム巻取り式	150	450	10	4mm	8	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	カーテンは、取り外し式
3	アベニマカーテン下手	30000	昇降	電動ドラム巻取り式	150	450	10	4mm	8	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	カーテンは、取り外し式
4	ライトハット (1)	26000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	1400	6	8mm	7	3.7	鉛スイッチ	直入れ始動	
5	ライトハット (2)	26000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	1400	6	8mm	7	3.7	鉛スイッチ	直入れ始動	
6	ライトハット (3)	26000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	1400	6	8mm	7	3.7	鉛スイッチ	直入れ始動	
7	ライトハット (4)	26000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	1400	6	8mm	7	3.7	鉛スイッチ	直入れ始動	
8	センターハット (1)	9000	昇降	電動ドラム巻取り式	50	800	6	8mm	4	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	
9	センターハット (2)	9000	昇降	電動ドラム巻取り式	50	800	6	8mm	4	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	
10	センターハット (3)	9000	昇降	電動ドラム巻取り式	50	800	6	8mm	4	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	
11	センターハット (4)	9000	昇降	電動ドラム巻取り式	50	800	6	8mm	4	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	
12	国旗用ハット	11000	昇降	電動ドラム巻取り式	50	200	10	4mm	4	1.5	鉛スイッチ	直入れ始動	
13	防球ネット用ハット(1)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	100	350	10	4mm	6	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
14	防球ネット用ハット(2)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	100	350	10	4mm	6	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
15	防球ネット用ハット(3)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	100	350	10	4mm	6	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
16	防球ネット用ハット(4)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	100	350	10	4mm	6	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
17	防球ネット用ハット(5)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	100	350	10	4mm	6	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
18	防球ネット用ハット(6)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	100	350	10	4mm	6	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
19	防球ネット用ハット(7)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	400	10	4mm	7	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
20	防球ネット用ハット(8)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	400	10	4mm	7	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
21	防球ネット用ハット(9)	20000	昇降	電動ドラム巻取り式	120	400	10	4mm	7	2.2	鉛スイッチ	直入れ始動	ハットは取り外し式
22	アベニマカーテン(1)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	500	6	6mm	4	1.5	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
23	アベニマカーテン(2)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	500	6	6mm	4	1.5	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
24	ライトハット(1)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
25	ライトハット(2)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
26	ライトハット(3)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
27	ライトハット(4)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
28	ライトハット(5)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
29	ライトハット(6)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
30	ライトハット(7)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
31	ライトハット(8)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
32	ライトハット(9)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
33	ライトハット(10)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
34	ライトハット(11)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
35	ライトハット(12)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
36	ライトハット(13)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
37	ライトハット(14)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
38	ライトハット(15)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
39	ライトハット(16)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事
40	ライトハット(17)	図面による	昇降	電動ドラム巻取り式	0	300	6	4mm	4	0.75	鉛スイッチ	直入れ始動	スピーカー吊フレーム以降は別途工事

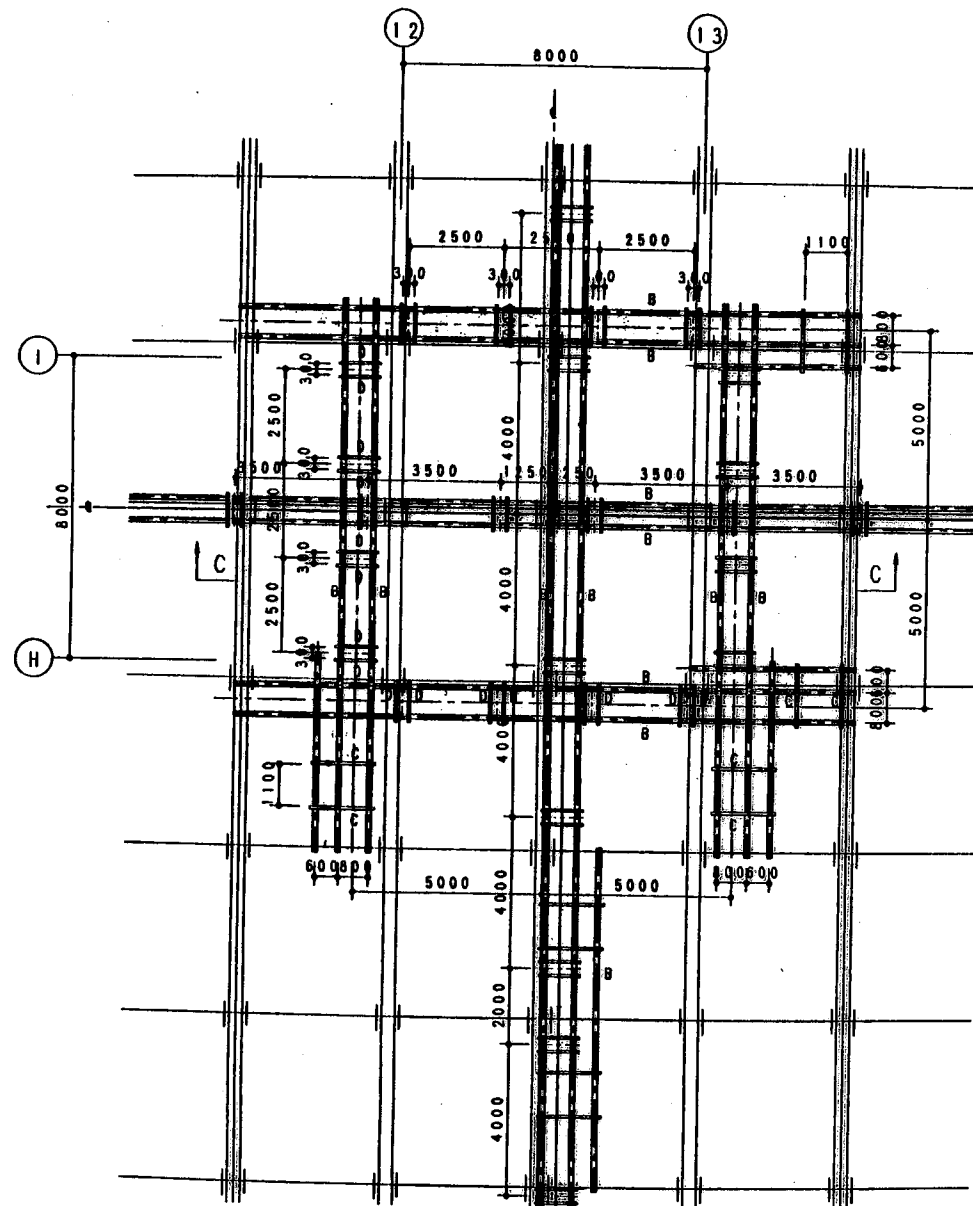
舞台幕地略仕様

No.	装置名称	幕材質	幕巾 (mm)	幕丈 (mm)	ヒダ数	製作数	備考
1	アベニマカーテン中央	別珍裏八双糸	26000	9000	2倍ヒダ	1	
2	アベニマカーテン上手	別珍裏八双糸	30000	18000	2倍ヒダ	1	
3	アベニマカーテン下手	別珍裏八双糸	30000	18000	2倍ヒダ	1	





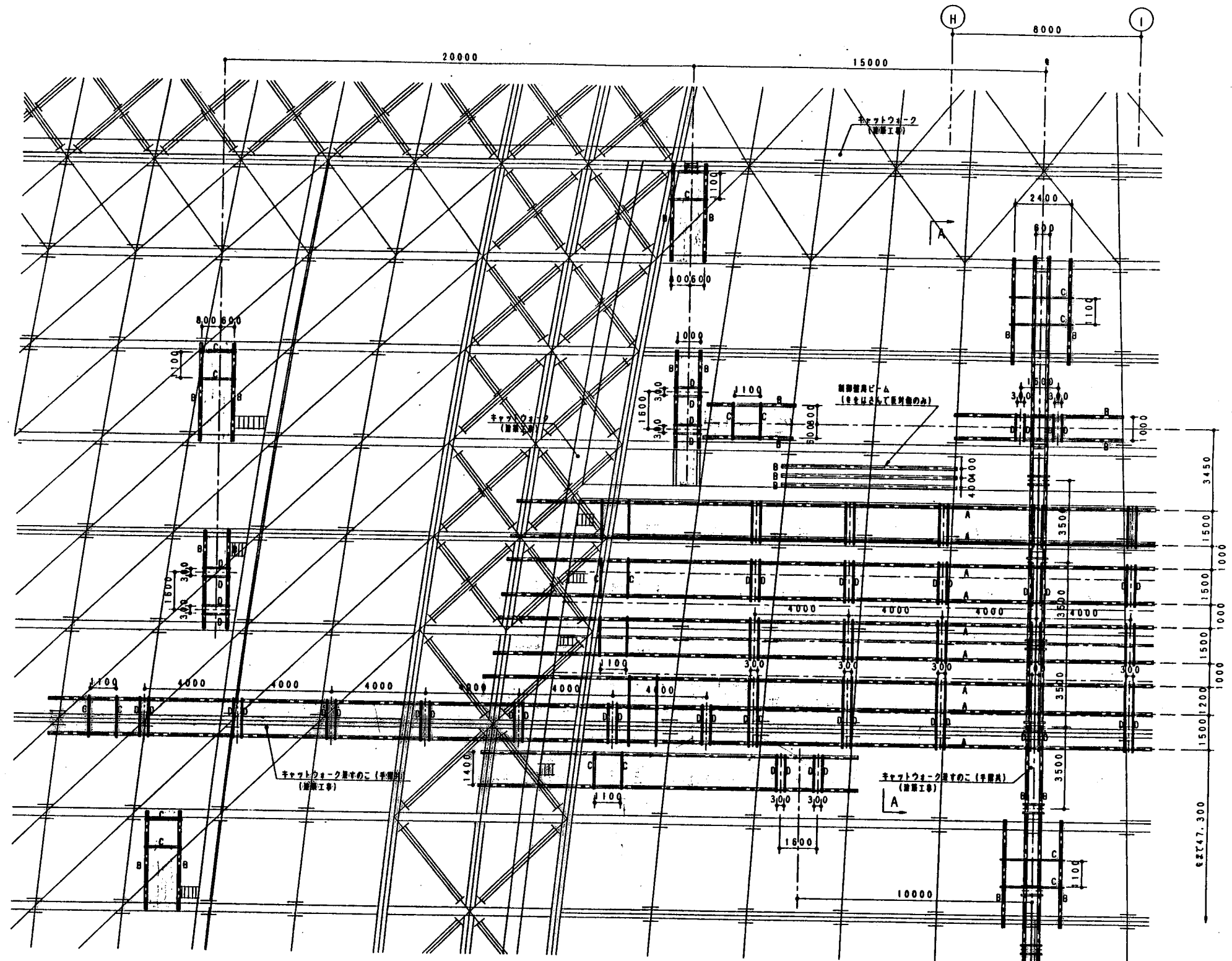
凡例
 ↗ 垂直荷重を示す。(KG)
 → 水平荷重を示す。(KG)

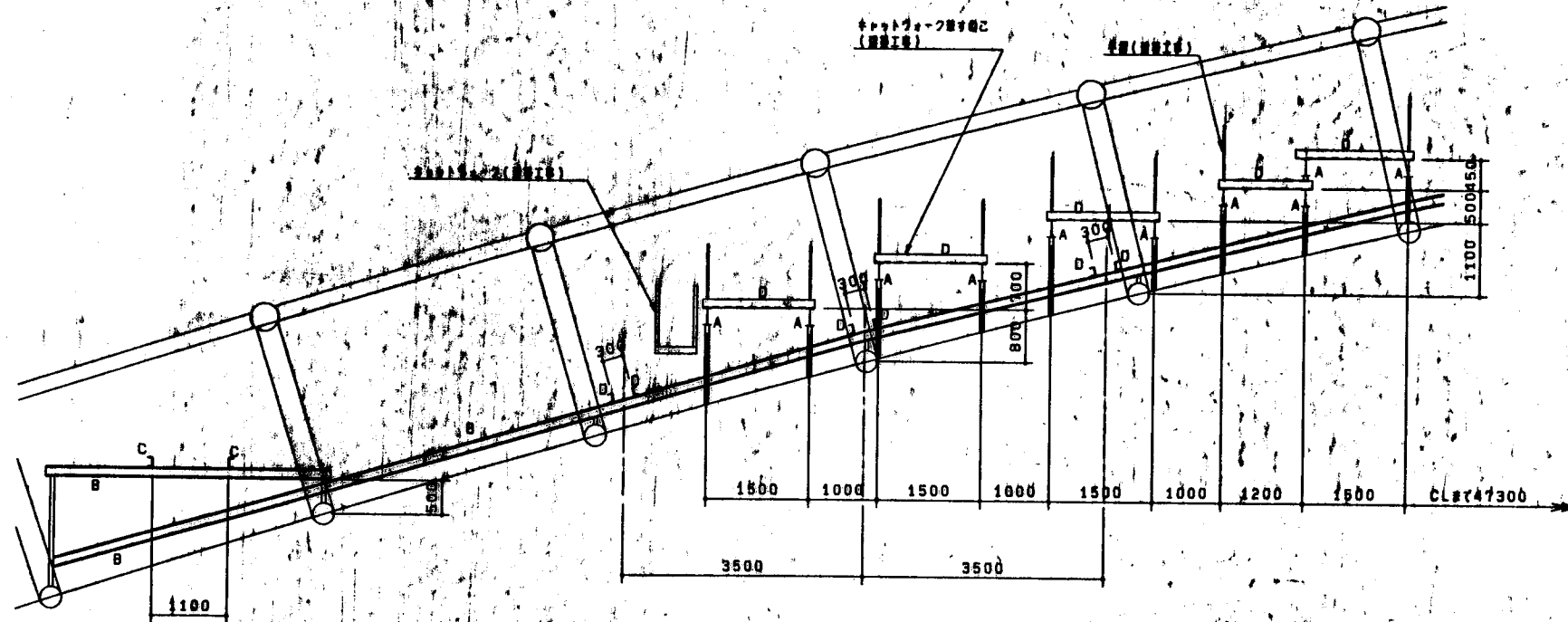


鉄骨部材表

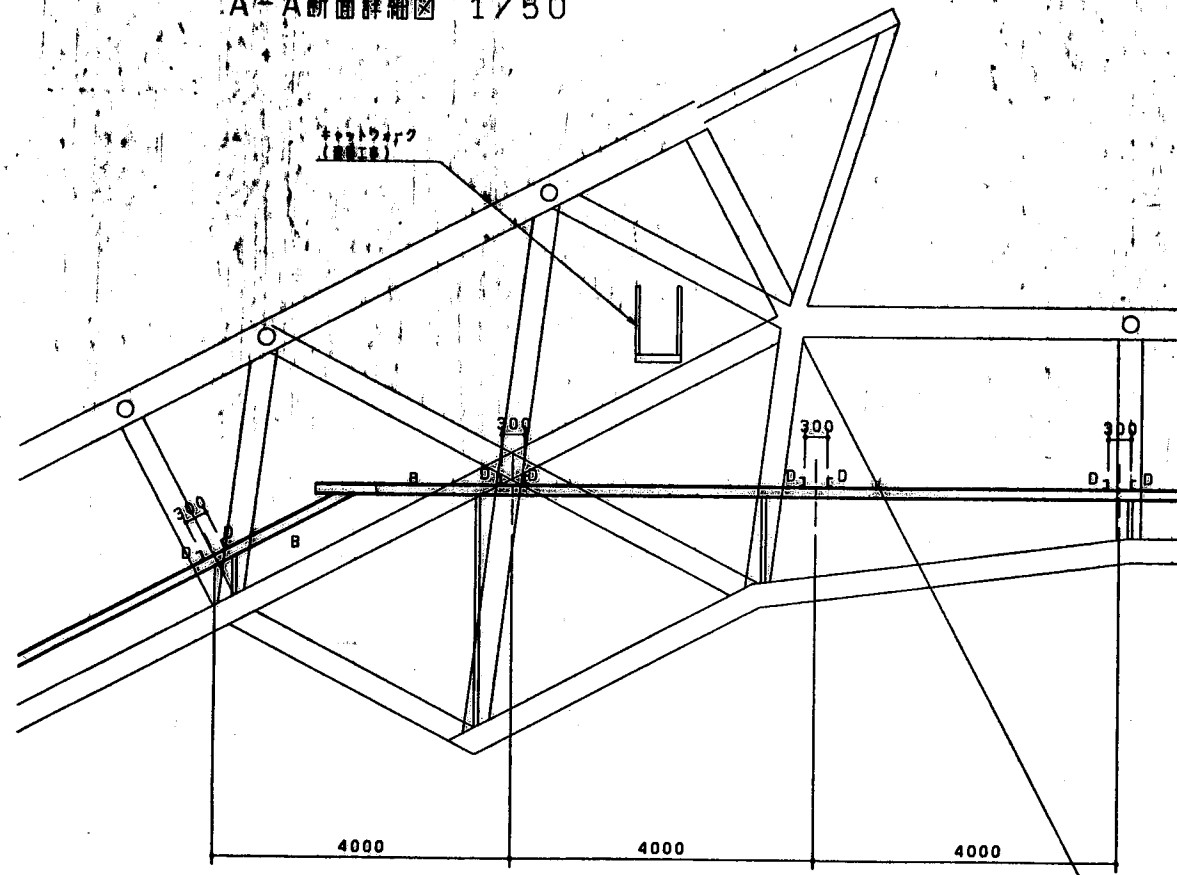
記号	部 材
A	H-250×125×6×9
B	H-150×150×7×10
C	C-150×75×6.5×10
D	C-125×65×6×8
束材	L-65×65×6
着色部材はエクスパンデックス	

注) 本図は示す鉄骨工事(キャットウォーク・手摺、等を除く)は一式鉄骨工事とする。

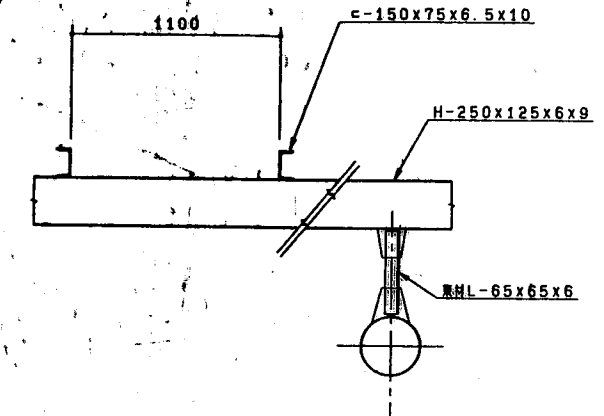
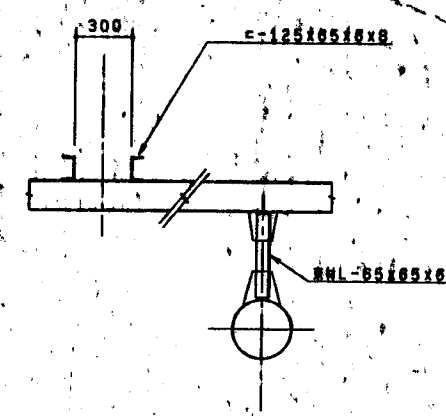




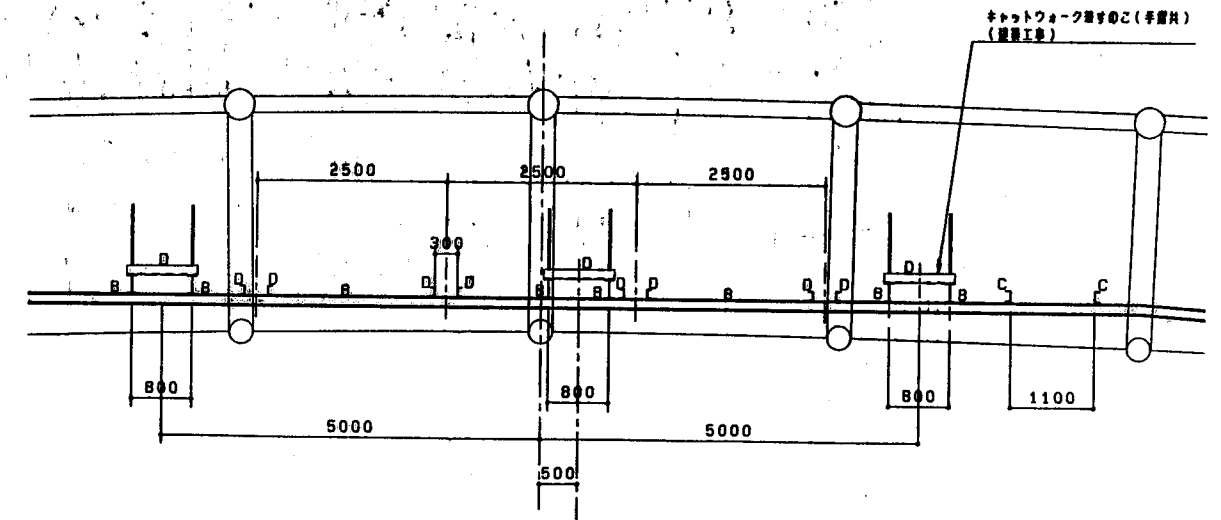
A-A断面詳細図 1/50



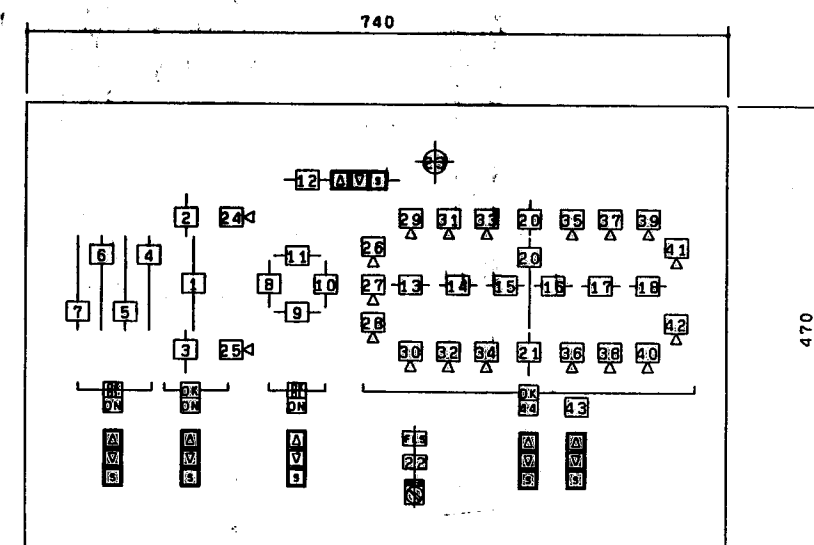
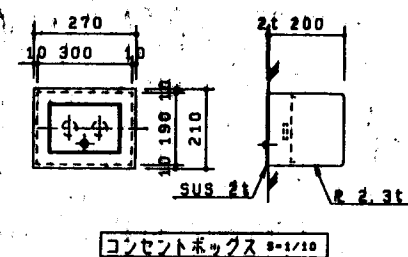
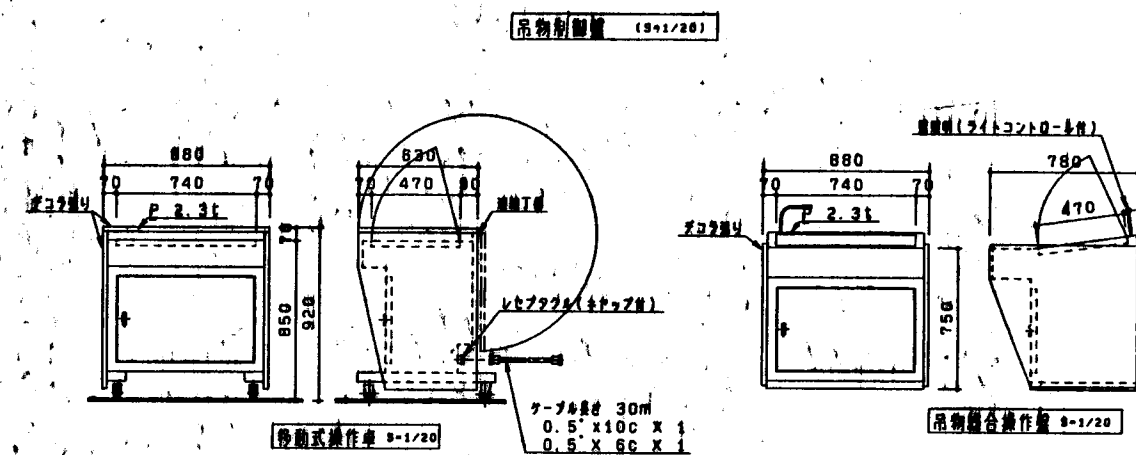
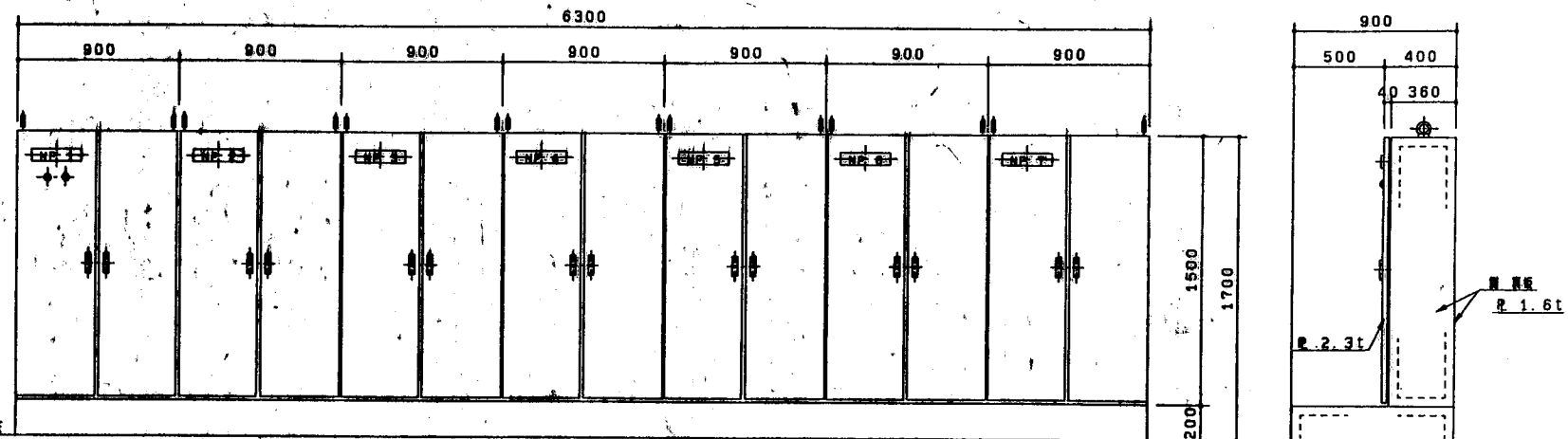
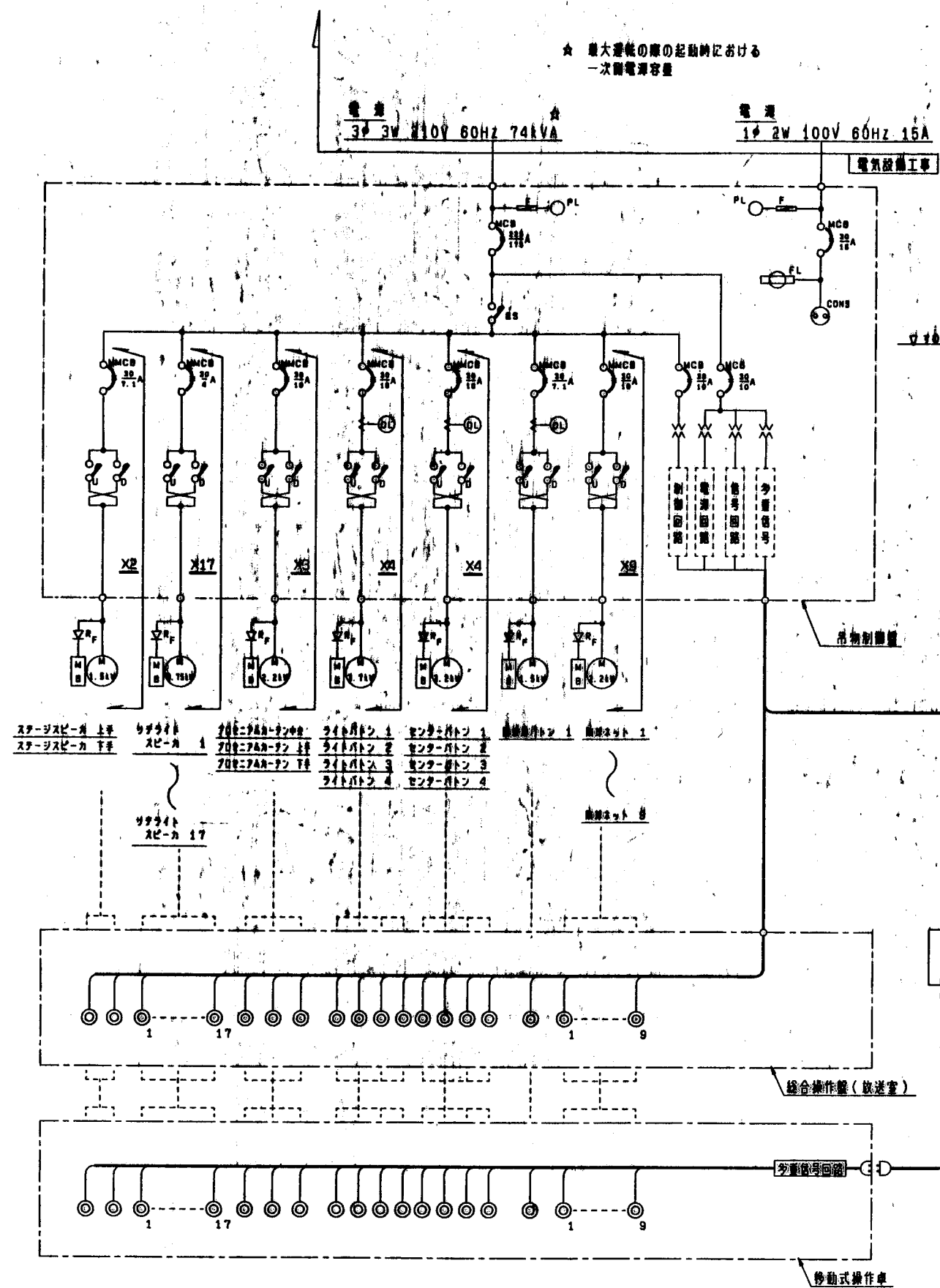
B-B断面詳細図 1/50



束材部詳細図 1/20

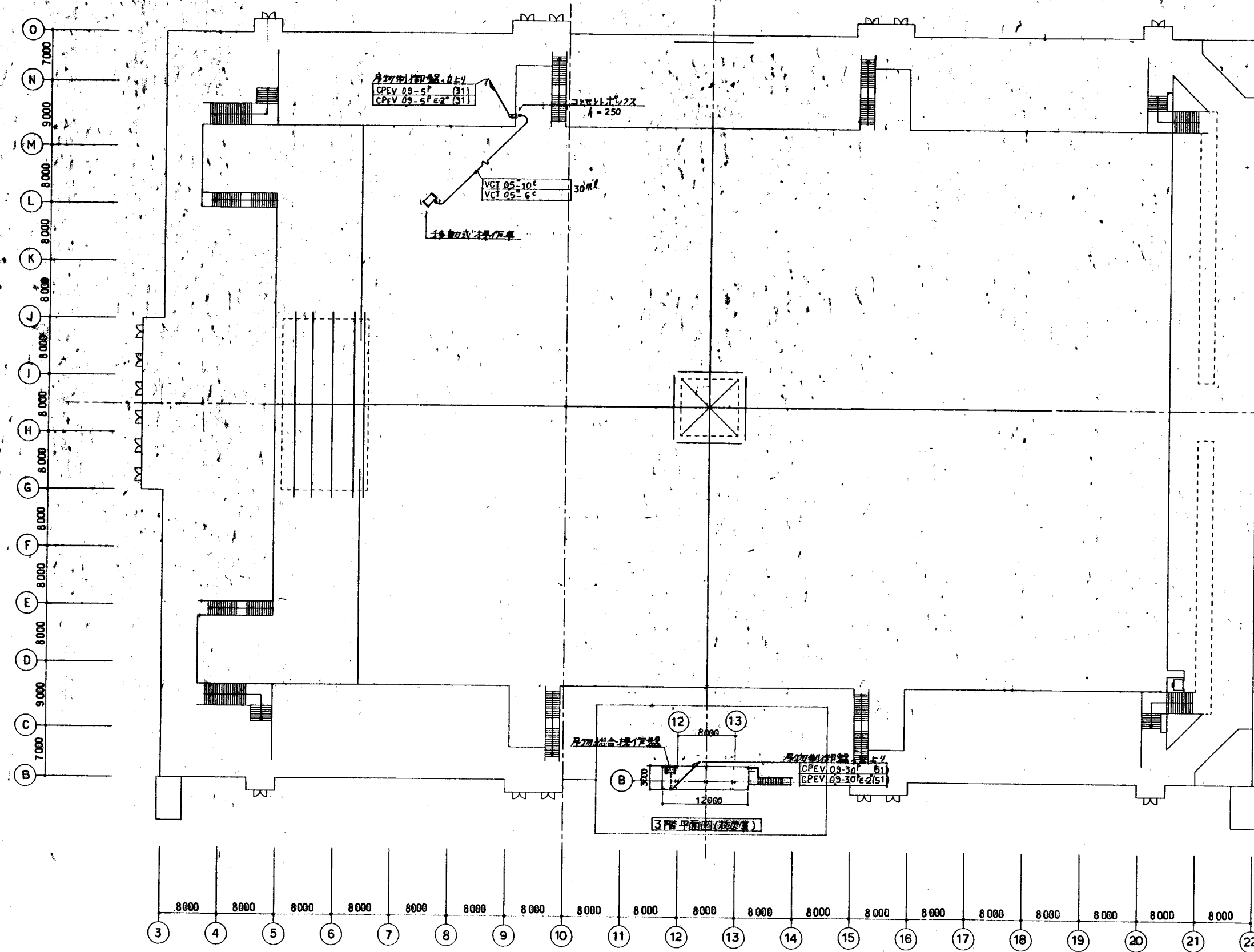


C-C断面詳細図 1/50



- | 種別名称 | | |
|------------|-------------|----|
| 1. カーテン 中央 | 24. ステージ SP | 上手 |
| 2. カーテン 上手 | 25. ステージ SP | 下手 |
| 3. カーテン 下手 | 26. SP | 1 |
| 4. ライト 1 | 27. SP | 2 |
| 5. ライト 2 | 28. SP | 3 |
| 6. バトン 3 | 29. SP | 4 |
| 7. ライト 4 | 30. SP | 5 |
| 8. センター 1 | 31. SP | 6 |
| 9. センター 2 | 32. SP | 7 |
| 10. センター 3 | 33. SP | 8 |
| 11. センター 4 | 34. SP | 9 |
| 12. 団扇 | 35. SP | 10 |
| 13. ネット 1 | 36. SP | 11 |
| 14. ネット 2 | 37. SP | 12 |
| 15. ネット 3 | 38. SP | 13 |
| 16. ネット 4 | 39. SP | 14 |
| 17. ネット 5 | 40. SP | 15 |
| 18. ネット 6 | 41. SP | 16 |
| 19. ネット 7 | 42. SP | 17 |
| 20. ネット 8 | 43. SP | |
| 21. ネット 9 | 44. ネット | |
| 22. 電源 | | |
| 23. 非常 | | |

配)
ライトボタン4台、センターボタン4台、図線ボタン
は過負荷(オーバロード)表示付とする。



エレベーター仕様

項目	号機	NO. 1号機
基本仕様	用途	乗用（最速層）
	定速速度	45m/min
	積載量	1600kg
	定員	24人
	停止階床数	2箇所（1～2階）
	操作方式	油圧降速式
	駆動方式	油圧式
	電動機	AC 45kw
	運転方式	方向性安全自動方式
	戸形式	2枚戸両開き
	警報通報	自覚発
		地震
		火災
	電源電圧	AC 200V 60Hz
	かご内照明	AC 100V 60Hz
	つり合いおもり	無
	非常止メ装置	無
かご仕様	かご内法	1400W x 2500D
	側板	ダイノックシート貼り
	戸	ダイノックシート貼り
	出入口上蓋・袖壁	ステンレスヘアライン仕上
	欄干	ステンレスヘアライン仕上
	敷居	硬質アルミ製
	メカニカルドアセーフティ	付（両側設置）
		付（車椅子仕様）
		付
	インジケータ	デジタル式
	天井照明	デラックス型
	換気装置	天井換付
	床	ゴムタイル t6
	操作盤	カバー
		ストロークボタン
		戸開延長ボタン
	非常通報装置	インターホーン（B1階中央監視室、車庫室 計2ヶ所）
	停電灯	AC100V x 10W
	放送用スピーカー	付
乗場関係	出入口寸法	900W x 2100H
	三方弁	小弁ステンレスヘアライン仕上
	扉板	別送工事
	戸	ステンレスヘアラインエッチング仕上
	敷居	硬質アルミ製
	ホールボタン	パネル（別送工事）に組み込み
	ホールランタン	付
	特記事項	無
	その他	地震警報通報装置（S波）
		火災警報通報装置
		停電時非常警報装置（バッテリー式）
		車椅子仕様
		車椅子専用乗降ボタン、車椅子用操作盤、開扉作盤、無、手摺
		視覚障害者付加仕様
		点字板、車庫成設置、ブロックタイル
		最速層仕様
		両側ドアセーフティ付
		カゴ内 換気扇、床マット付

昇降機設備工事区分表

項目	号機	NO. 1号機
昇降機関係	昇降機設備の製作ならびに据付工事（昇降機設備の取付の手続きを含む）	○
	昇降機の据付工事ならびにその仕上工事（基礎工事に基づく場合）	○
	各出入口の三方弁、インジケータ、押留時の欠け工事	○
	中間ビーム設置工事（鉄筋コンクリート造の場合）	○
	乗降扉受けコンクリート打設工事	○
	鉄骨構造における各層の中間ビーム設置工事、レールブラケット取付のためのファスナー設置工事	○
	鉄骨構造における乗降扉受けビーム設置工事	○
	鉄骨構造の昇降機における鉄骨材の耐火処理工事および、乗降出入口開りの耐火処理工事	○
	鉄骨構造の昇降機における各層の出入口三方弁、戸開装置、押留、インジケータ等の取付用下地材の設置工事	○
	乗降扉受けコンクリート打設後の出入口開りの壁ならびに床の仕上工事	○
	ビーム内防水工事（必要の場合は排水設備を含む）	○
	フェッシャープレート取付用の下地材	○
	昇降機天井のトロリービームまたはフックの設置工事	○
機械室関係	機械室の修繕工事および出入口設置工事（必要のある場合は防音対策工事を含む）	○
	機械室の耐火処理工事	○
	機械室の欠け工事（配管・配線用孔等）	○
	機械室天井のトロリービームまたはフックの設置工事	○
	床下マドの設置工事（無しの場合は、非常照明設置付（電気工事））	○
	機械室床下管道のシンダーコンクリート打設工事	○
	シンダーコンクリート打設後の仕上工事（タイルまたは防音遮断材付工事）	○
	機械室出入口の仮設ならびに電気工事	○
	機械室に設置する天井および機械室内の電気設備工事	○
	機械室換気ガラリ設置工事（換気ダクト）（延焼のおそれのある場合はスチール製でFD付）	○
	機械室換気扇設置工事（換気ダクト）（延焼のおそれのある場合はスチール製でFD付）	○
電源関係	機械室受電盤までの配管配線工事および制御盤一次端子への接続工事（電力用電線）（電圧1回線の場合の分岐工事を含む）	○
	機械室制御盤までの配管配線工事および制御盤一次端子への接続工事（電力用電線）（電圧1回線の場合の分岐工事を含む）	○
	エレベーター用配線用配管・配線工事（電圧1回線の場合の分岐工事を含む）	○
	乗降リノ電線中継器カラ NO. 1号機、機械室マド NO. 1機械室カラ NO. 2機械室マドノ配管（車椅子仕様）	○
	機械室の機械室受電盤までの引込工事	○
	機械室の照明設備（停電灯等）および非常用コンセント設置	○
	ビーム点検用 コンセント設置	○
	インターホン用電線のインターホン機器までの引込工事	○
	機械室内の配管配線工事	○
	非常用照明配管配線の機械室受電盤までの引込工事	○
	昇降機外のインターホン用の配管配線工事	○
	故障自動通報装置の昇降機外配管・配線工事	○
その他	据付工事現場事務所および材料置場	○
	工事中の乗降開りの悪い工事	○
	据付工事および改修工事現場電力、水、セメント、小石等の支障	○
	重量物の搬入に支障のない通路の確保	○
	エレベーターを工事使用する場合は、コールバック、オーバーホール、定期保守料金の負担	○
	足場の材料支障および撤去、解体工事	○
	工事現場での養生工事	○
	1. 乗降扉およびカラ：上質の白紙	○
	2. 三方弁：パッキンを当てベニア等	○
	3. かご室の天井：金網張り	○
	4. かご室の壁：パッキンを当てベニア等	○
	5. かご室の床：防水性の物を敷きベニア等	○
	材料の運搬、片づけ	○
	機械室入りのロングリフト、タワークレーンの提供	○

NO. 2 エレベーター工事

機種、仕様は全てNO. 1号機と同一とする。

今回発注する下記工事以外に別送工事とする。

・油圧パワーユニット

・車庫室（2ヶ所）

・乗降扉（2ヶ所）

・三方弁（2ヶ所）

・ホールランタン（2ヶ所）

・ホールボタン（2ヶ所）

以上

機械室出入口の開口部/場合ハ、
出入口上二出入口中+200以上、
壁面より450以上/応答距離ノコト

機械室へ至る通路の幅員

通路幅員	700mm 以上
通路幅員	1800mm 以上
通路幅員	700mm 以上
通路幅員	1800mm 以上
上	230mm 以下
下	150mm 以上
手すり高	1100mm 以上

※ 昇降路/場合ハ、出入口上二出入口中+200以上、
壁面より450以上/応答距離ノコト

※ 昇降路/場合ハ、出入口上二出入口中+200以上、
壁面より450以上/応答距離ノコト

電気設備用配管引込みについて (電気工事)

電気設備用配管 (電気工事) として、機械室内部に
配管、及び配管工事の施工をお願いいたします。

MD F又はID F MT T
配管 (φ100), 400mm
(電気工事)

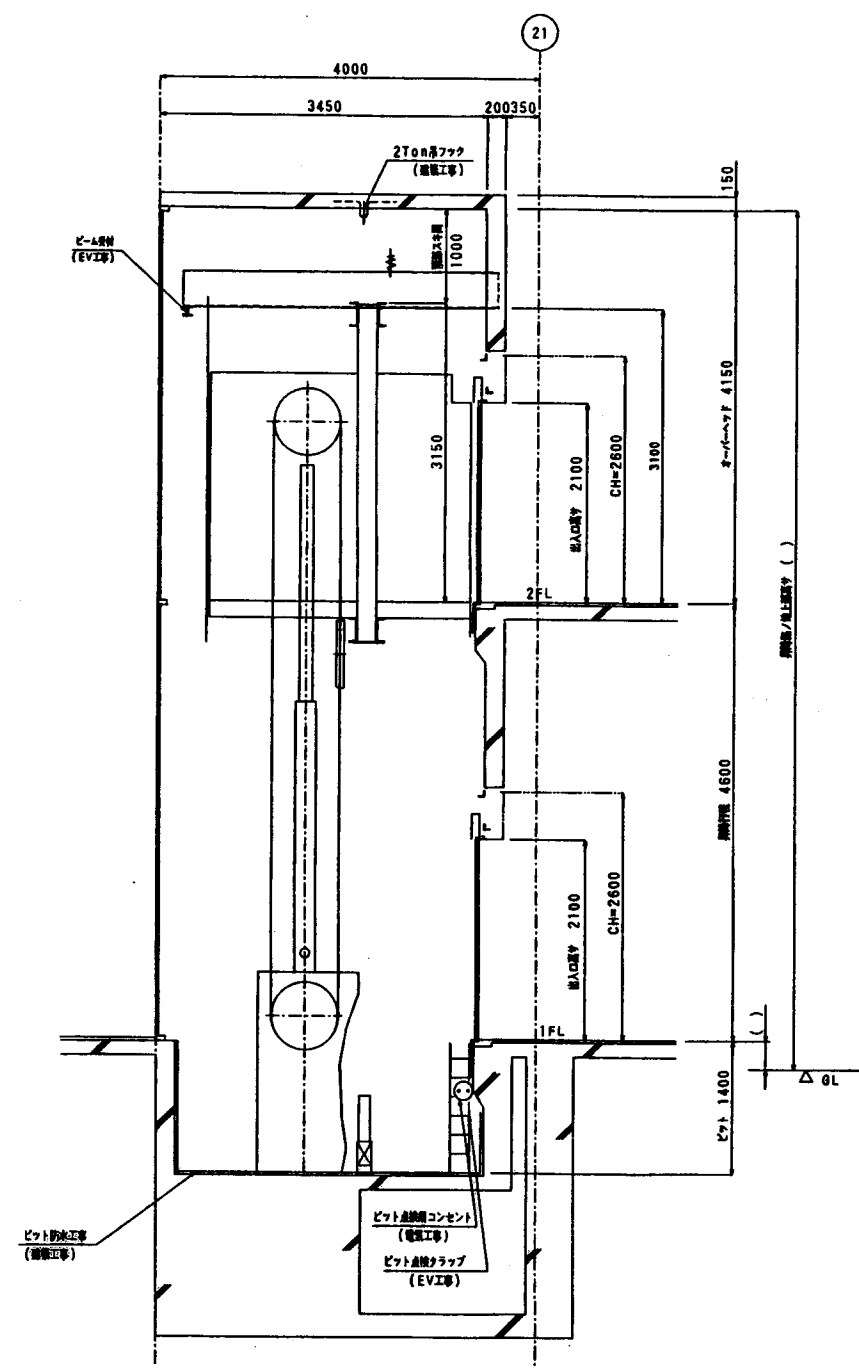
(注) エレベーター用インターホン設備は別途です

電気設備用配管 (電気工事)

1. 電力用配管 3φ3w 200 V 60 Hz
150 mm x 3 フーズ箱 (第3号) 22 mm²
NFB 3P 350 A (150mm² 66.5 KVA)
電線サイズ: 150mm² x 3 (第3号) 90 mm² x 3

2. 照明用配管 1φ 100V 1KVA
照明器具/照明用配管ハ 5250 Kcal/時 x 1
※ エレベーター 1台/ 発生スモーク発生

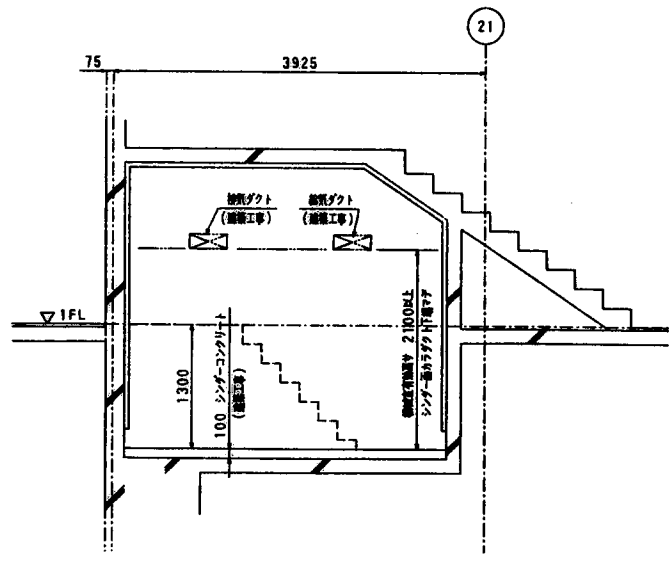
インターホン用配管 () 及び () 用
照明用配管/電気工事
(CPEV 0.9 80.5P) (電気工事)



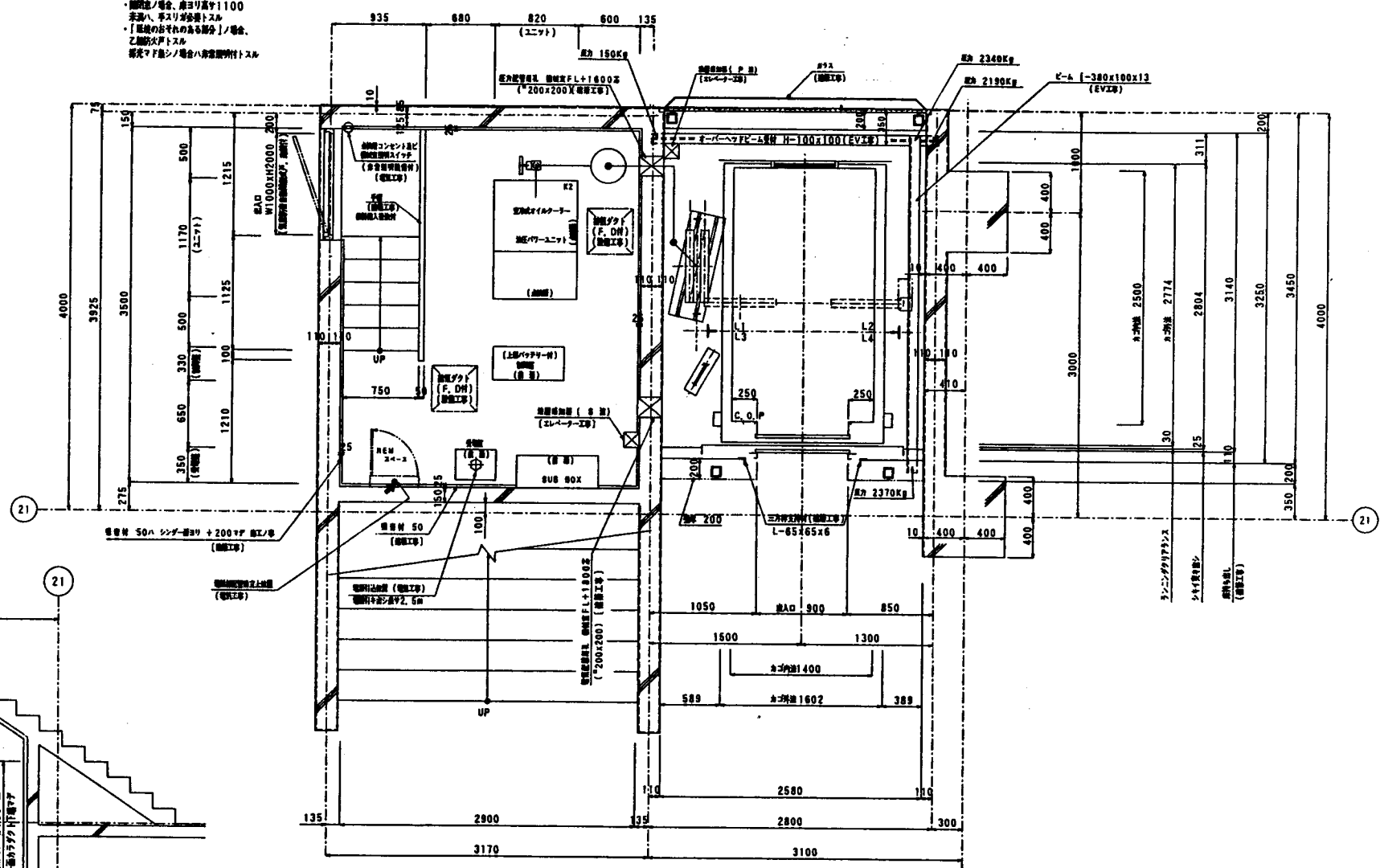
昇降路 縦断面図 S:1/40

注: EVピット下層構造禁止

ピット構造重量	
カー	15500 KG 短期重量
シリンダー	7100 KG 長期重量

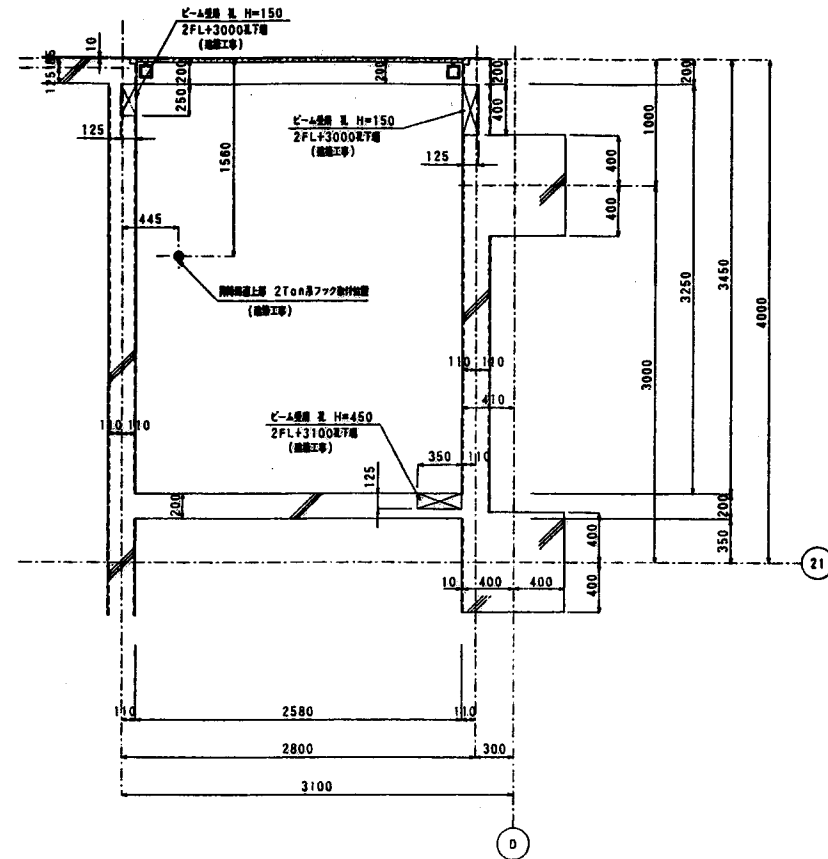


機械室 縦断面図 S:1/40

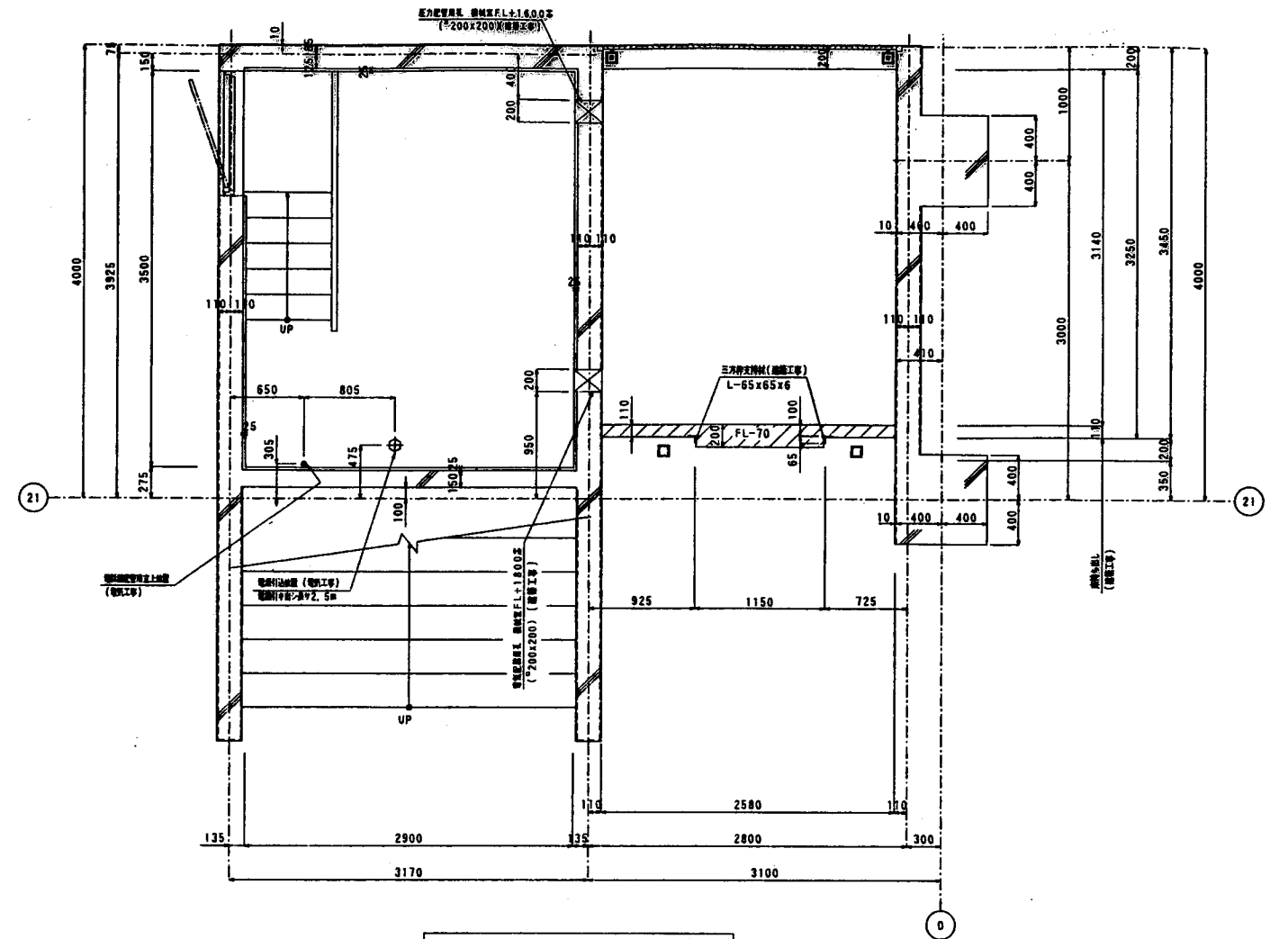


昇降路 機械室 平面図 S:1/30
(機械室シンダー仕上ハ 1 階 -1300ノ位置)

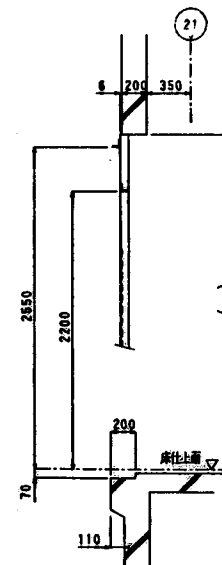
昇降路マダナシ/場合ハ非常用照明設備付トスル
機械室床ハ油/浸透シナイ構造トスル
機械室床ハシンダーコンクリート防湿仕上ゲトスル
(電気工事)
換気ダクト下層デ有ハ 2100 以上確保ノコト



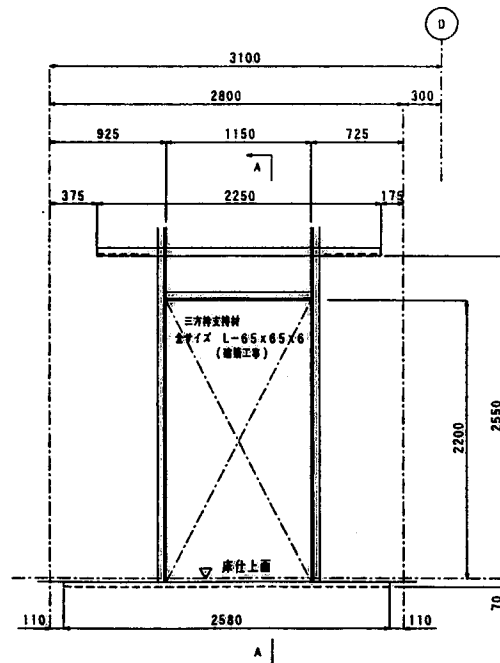
昇降路頂部 孔明図 S: 1/30



昇降路 機械室 孔明図 S: 1/30



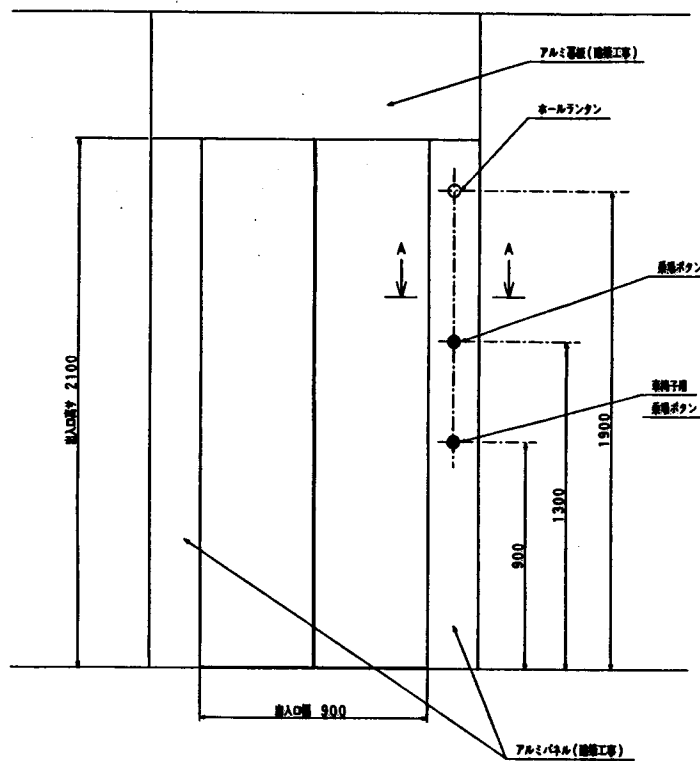
A-A 矢視図
(建築工事)



鉄骨構造ノ出入口詳細図 及び
出入口孔明図 S: 1/30

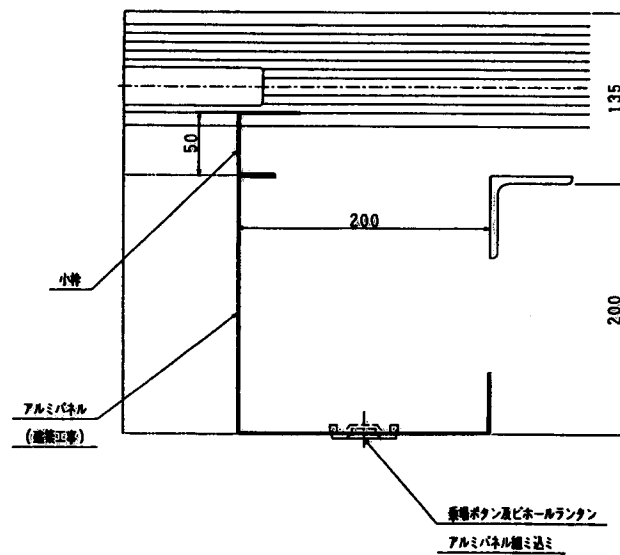
EV NO. 1

図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例
図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例	図名 図号 設計 図例

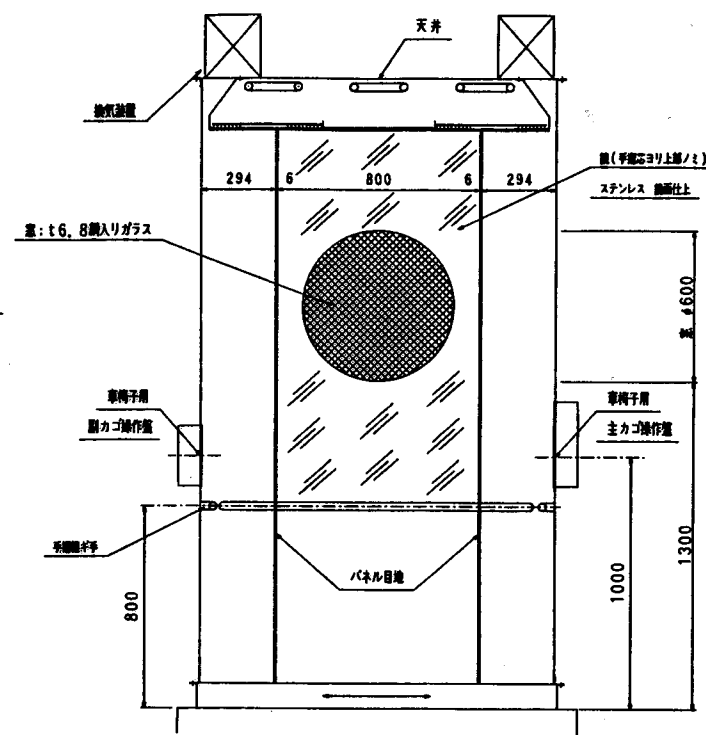


乗場出入口姿図 (1/15)

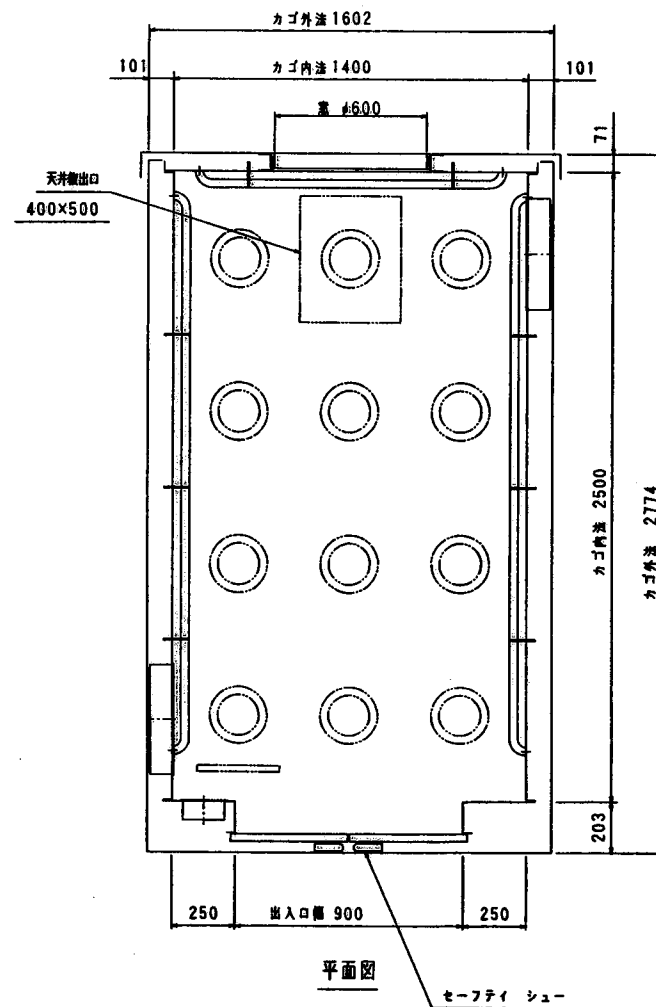
乗場仕様要項		
名称	材質	仕上
乗場ドア	ステンレス スチール	エッチング
三方枠 (小枠)		ヘヤーライン
シキイ	硬質アルミニウム	



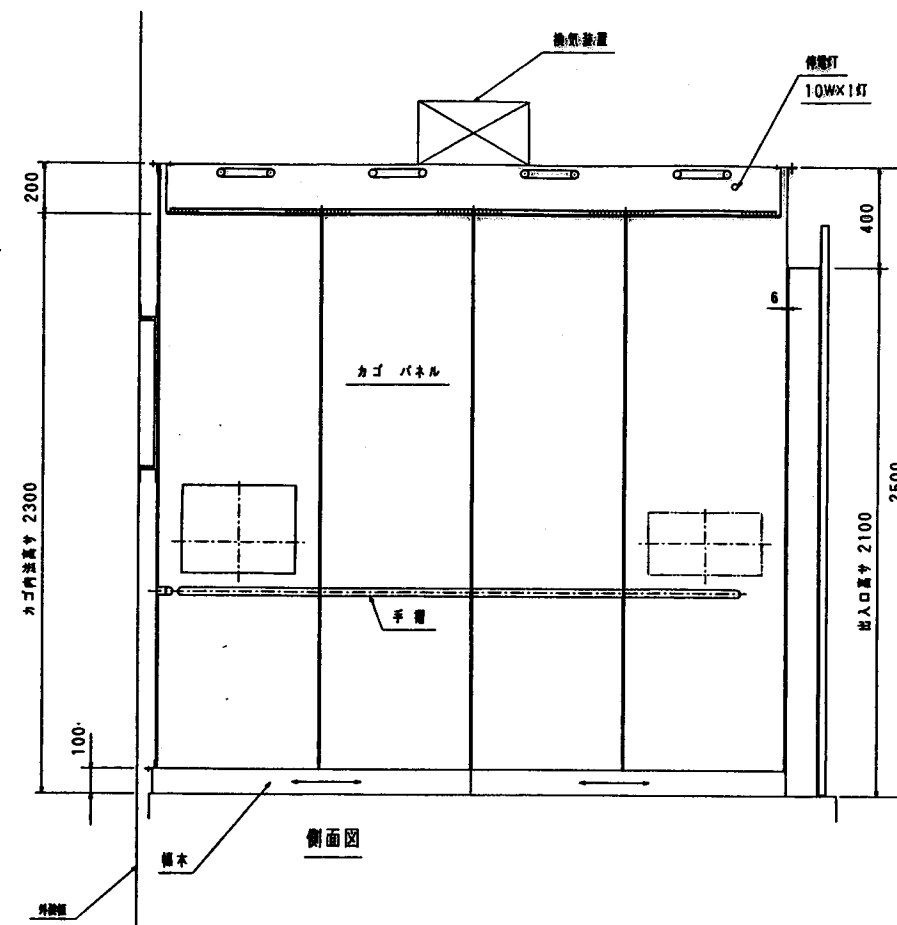
断面A-A (1/3)



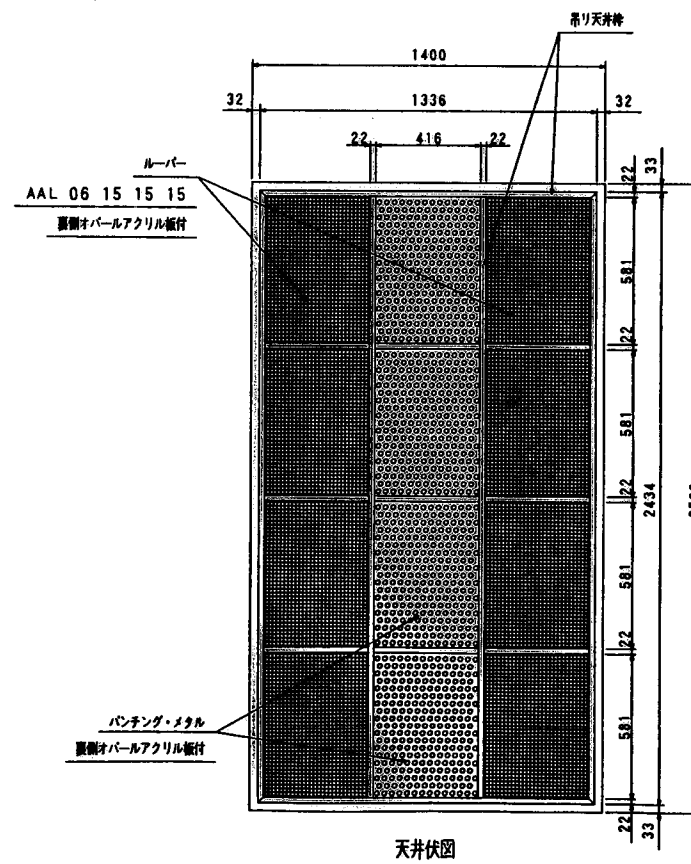
背面図



平面図

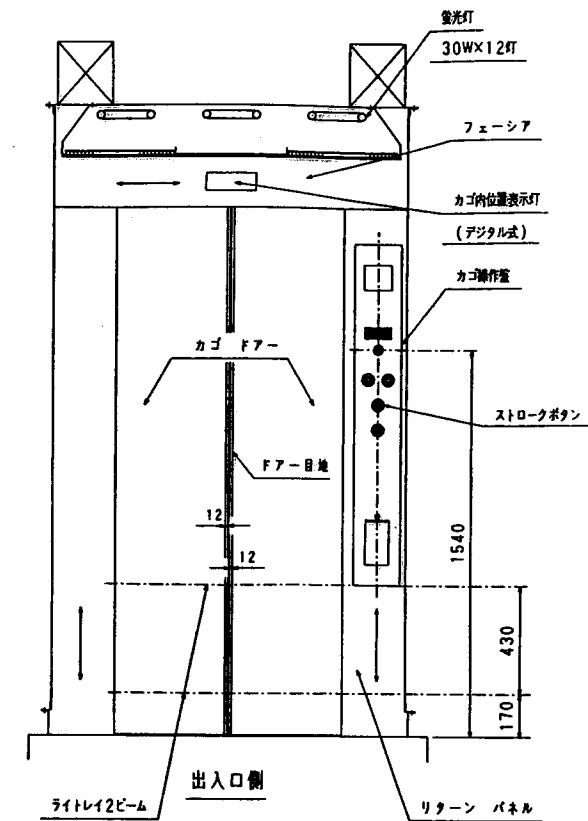


側面図

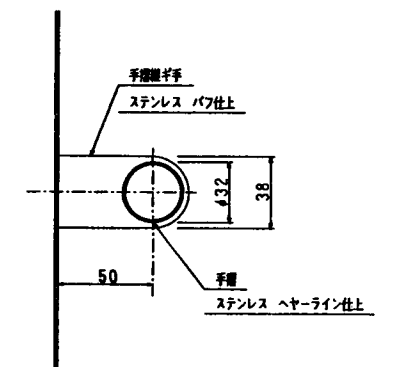


天井伏図

カゴ意匠図 (1/15)



出入口側

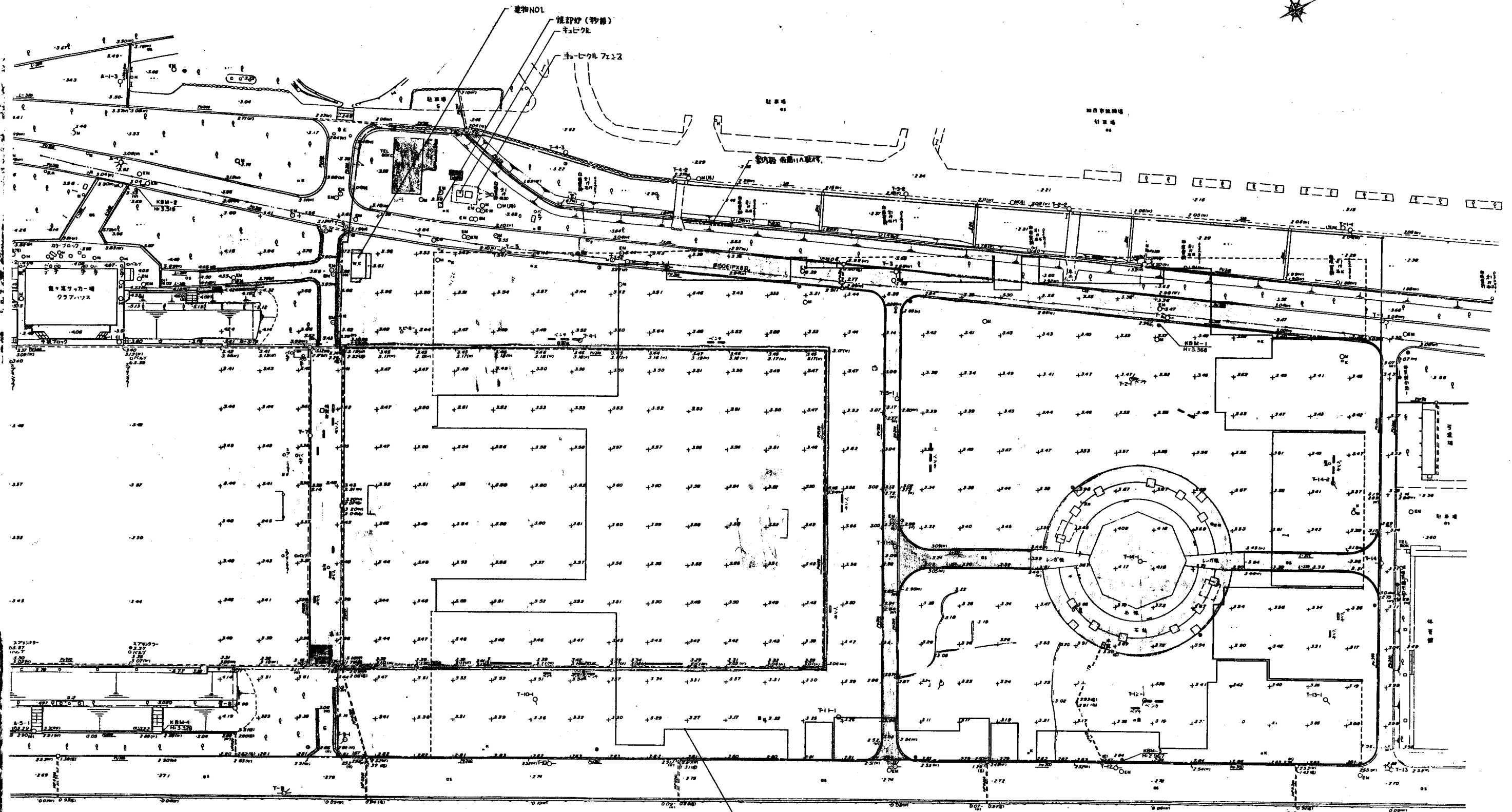


手摺部詳細 (1/2)

カゴ仕様要項		
名称	材質	仕上
カゴ ドア	磨 鋼 板	ダイノック 貼付
カゴ パネル		ラッカー塗装
天 井	ステンレス スチール	ヘヤーライン
リターン パネル		
フェーシア		
ドア目地		
パネル目地		
側 板		
吊り天井枠	床	塩ビタイル 貼付
シキイ		
手 摺	φ32ステンレスパイプ	ヘヤーライン
手摺部手	ステンレス スチール	パ フ
外 装 板	磨 鋼 板	ラッカー塗装

現況平面図

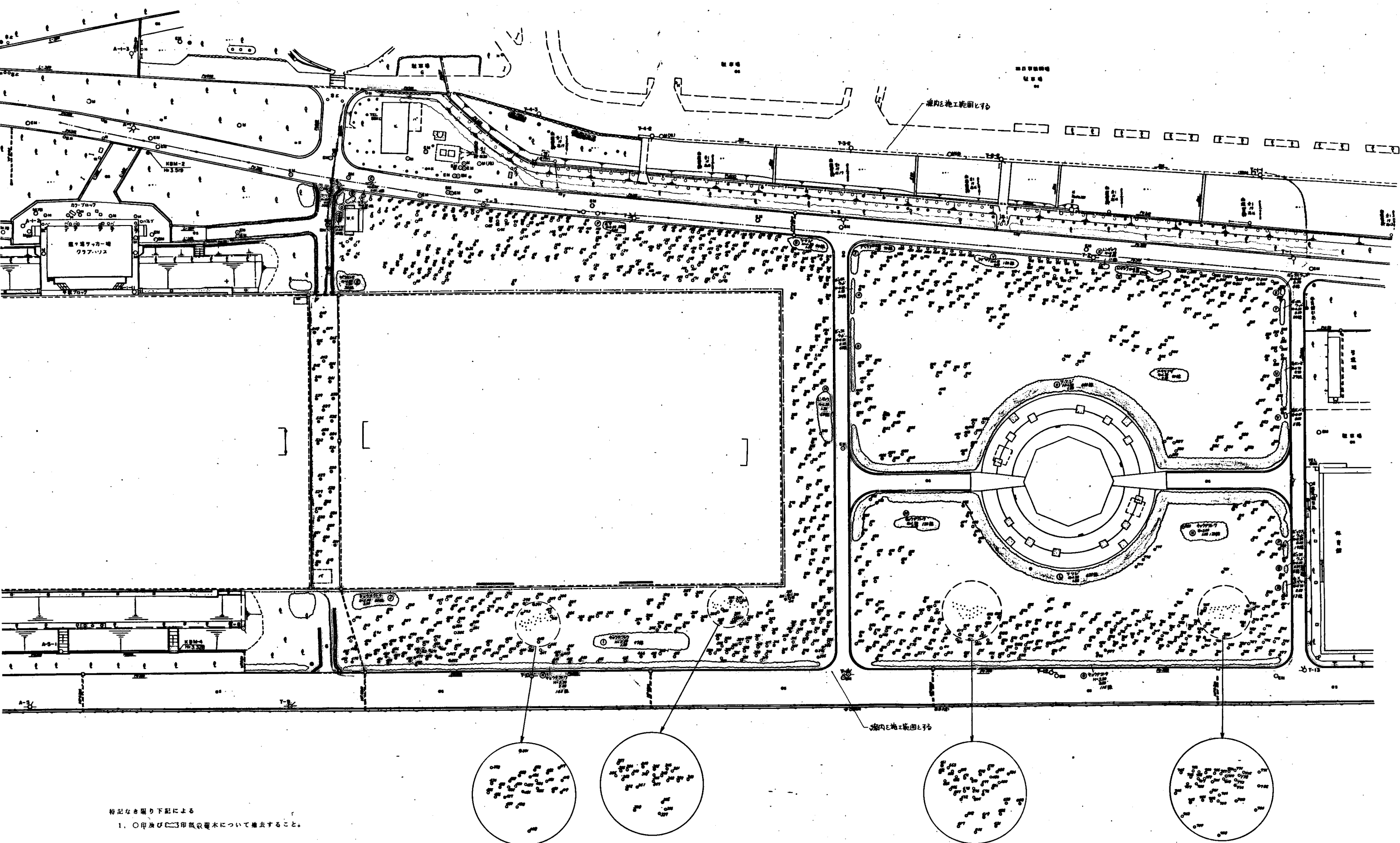
縮尺 1 : 500



計画建物敷地を示す。

下—地面内・建物、工作物、着床は、附帯施設区分。 —附帯施設区分。
 上—建物NO1主・ピクル及び主・ピクルフェンスは除く
 主・ピクル移設。移設場所はオ2野球場付近。

94.12	ホーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)	104
久米設計・梓設計 設計共同企業体	1:500	194072



特記なき限り下記による
 1. ○印及び□印の樹木について撤去すること。

訂正	久米設計・梓設計 設計共同企業体	目録 ドーム型多目的スポーツ施設建設工事（建築工事） 樹木撤去図 図尺 1:500 図面番号 建築 105 設計番号
-----------	-------------------------	--

新